東京十八日酸電通』十八日の閣で「戦相より報告された五年度各 常蔵田၏料額左の如し、単位園) 外務省 五七三、九五四 外務省 八〇四一、〇七七

一學生に

五、三七、九四四五、三七、九四四

外に財源調

7務省から依騙されて、實務に【神京特體十九日酸】 文部省で

電館等を跳世界

位論文などの爲めに研究を織ける政府より特別補助(大學卒就後原

普通最高一ケ月石間乃至百二十回

一八、〇四一一八、〇四一

国の定例関連において大千五十萬 国の歳出館的を決定しこれを以て 五年度において常然生ずべき六千 五年度において常然生ずべき六千 五年度において常然生ずべき六千

一大三七二一 一大八二人 九八二人 九〇〇〇五四六 三二三一一〇六

置上は青州淄河店間

| 取和五年度實行

生を米國に吸收される傾きがあい、大職後の大正十年頃は民國人

海軍側の

意嚮は

する決議域を提出せんと ニ十二日に條約の表決を

を行ぼんと

してある

條約成立に一致

政府は前途を樂觀

快調機を提出すべくこれが否決

れは頭破するがものと見

黑龍江省主席

れたのは六月上旬からで最近は一

取部内の意識は継まつてゐる陰

ないては先づ幣原外相、 財職制度に関する居実 には先づ幣原外相、 財部海相 は第一個原外相、 対部の は第一個原外相、 対象の は第一個原外相、 対象の は第一個原外相、 対象の は第一個原外相、 対象の は第一個原外相、 対象の は第一個原外相、 は第一個原外的 は第一個原外的 は第一個原列的 は第

約兵力量に勤しては等しく不満を

展せしむる意思を持つてるた要型 関して以来の一般には数部月前落馬負 関して以来の一般の一方面にないでは、 のででであるが強て真氏を ででであるが強て真氏を では、 のでは、 のでは、

くその後性は張忠既氏に内定して 居り近く登長されると傳へられて ある。而してこれが影現すれば王 のる。而してこれが影現すれば王 のを のの後性は張忠既氏に内定して

後任に張景惠氐説

間、駅1日、霧師、駅端資格は左の用薄数育會では來る八月一日から

拓務省節約額

となつてある各植民地別項計を撃

各省別

過五百卅七萬圓

、六年度響繁編成方針として 大原則を決定したいと諮り異 がイ可決正午散會した 昭和六年度にては極力既定經 の節約を儲すこと

出すること 出すること

30

切要求せざる

を斷行

内相総常)井上棚相より五年度質 地に付き大磯省議決定に基を遺去 土百萬圓の統派を総出し得たので 土百萬圓の統派を総出し得たので 土百萬圓の統派を総出し得たので 土百萬圓の統派を総出し得たので 本年度被入も充分な期待をかけ得る 本年度である。

計畫については既定方針

輕減恩給負擔

五、昭和六年度以降各特別會計にて立案し閣議決定を經ることで立案し閣議決定を經ることに依る

傷

對支債権は

は正當

権利主張が有利

仙石總裁の閣僚招待會

總額六百六萬圓 の内露は左の如

『東京十八日強電通』明年度神算 『東京十八日強電通』明年度神算 一般に対して、 一般では、 一をでは、 一をでは、

間となる。 関となる。 となるをはかれ一般音話のかえとなるをは かれ一般音話のかえとなるをは かれ一般音話のかなるをは かれ一般音話のからなるるとは かれ一般音話の後級ない、十五萬

學校圖書館大學

を開き産業統制につき協議の結果を開き産業統制につき協議の結果 **粉鯛香總館に附継するに決し四時** 左の成然を得これを決議として政

9

3

兩者の會見注目さる

朝九時半週列車で北寧磯道に依り朝流島へ向つた、この剛者の會見は東北派と南京派との関係を現在は東北派と南京派との関係を現在は東北派と南京派との関係を現在は東北派と南京派との関係を現在は東北派と南京派との関係を現在は東北派と同じの関係を見ない。 非常に注目されて居る

海軍條約賛成派

人人議案

上院で否決されん

港場、四浅崎鐵道沿線における四 で街打切り貨物が四瀬、 郷白崎線 ・ 一本街打切り貨物が四瀬、 郷白崎線 洮昻四洮兩線 輸送狀況 現大洋で三十元ほど安いと 夏季講習派遣人選

本夏東京において開設さるよ各種小野校教員夏柳識智會に派遣さるよ各種と、大学の大学の受講者は小野の大学の受講者は小野の大学のである。 俗民政制、支援にて人選の上派遣

世し失素問題等に致してはH来 を はくない。

各地溫度 十一時 昨日最高 天氣隊報

目ニ見エテ ズンノ 井上獨逸博士ノ シマズ・イタマス い には 小児用ロート目薬 トキク 定便 二十

膓 Inmapa's The Ikatsu

全國とこの美店にもあります

れば胃腸を根本的に別健にします

詳細報告した後種々協議する處あ 章解條約問題につき重要協議を開 重解條約問題につき重要協議を開 に隣し艦談説院を求める所あつた 長は十八日午前十時代東郷元帥を 長は十八日午前十時代東郷元帥を 最近に訪問し新國防中監索 條約問題協議 國防案懇談 ふに意見の一致を見た 八日發電通」開談散會後

產業統制 與黨政調會出 次議

に 開催された陽大評議員會に出席を る森紋事は十八日朝國家して語る 開館の跨川醫大の地方部管理問題が出され現職制としては語る が前と何等變りはない、故に總 位前と何等變りはない、故に總

「東京十八日発電通一線で一外上 日貴族院議員で河内正版博士は十七 日貴族院議員で河内正版博士は十七 日出金属したので十八日内閣を経 で一次日内閣を経って 日本の手観を探った 日本の手観を探った 日本の手観を探った 日本の手観を探った 日本の手観を探った

帖佐醫學博士推獎

て事業資なんかも目下建築中の る外一切機延べとなった、又統 規事業たる學生を支那各地の病 規事業たる學生を支那各地の病 規事業たる學生を支那各地の病 に派遣し實質を行はしめることは更に護率を設置したで、表 を記して、表 のに該案を被して、、又統 を記して、表 のに該案を被して、、又統 を記して、、 を記して、 をこして、 を記して、 をこして、 を記して、 をこして、 をこして、

た、先づ前年度の決算報告は異り審議を進めて行くことになつり審議を進めて行くことになつ

南京特使張群氏 張學良氏を訪問

日平域五六車が打通線へ、二三車が通線は、よらず薄線線であるが、開照の電磁であるため雨期に入つてが通線に表って雨りの観光は衛主を有せない開係上荷主をが通線によらず薄線線を利用する。 電送料 (一頭を含む) は打通線が 一点ニナーキュ近く三十順車一車の 有二十一キュ近く三十順車一車の でと窓口までの距離は薄線線が二 でと窓口までの距離は薄線線が二 は で電闘ドロンゲーム。近頃の緊張 で電闘ドロンゲーム。近頃の緊張 て來たワイの、いより 種民地の官吏恩給は種民地で出

方針で悪進すと。 過六千五百萬圓。 難むより外なく、植民地震入超

と海戦権的問題、どうやら紀のメ製風雨の警視ででもあるかの如

本舗 工機等 大阪市東战區獨橋

山田安民藥房

本小谷節夫氏(青島新報社長) 十 八日大連丸にて來連、廿日はる びん丸で内地へ赴く豫定・

▲香取桂一氏(大物大連支局長)

▲胃活は強力なる健胃整腐剤にして之を常用す ▲胃活は胃腸内を清淨にし、食慾を進め、便通 を整へ、消化を住良にし、體重を増加します

の限り、それも不可抗力とあつて不景氣の上に暴風雨、迷惑干萬

大憩小雹

は仕方なし。

日開催の豫定である健樹者組合無難において最後の鑑まりを見んと 日開催の豫定である健樹者組合無難において最後の鑑まりを見んと 日開催の豫定である健樹者組合無難において最後の鑑まりを見んと 日開催の豫定である健樹者組合無難において最後の鑑まりを見んと 日開催の豫定である健樹者組合無難において最後の鑑まりを見んと 日開催の豫定である健樹者組合無難において最後の鑑まりを見んと 政府、民間の意見接近 四 政府においては目下軍権関係が未 解決の優となってあるので十八日の散議の席上首相の基職に依り富 の財政の席上首相の基職に依り富 『東京十八日韓電通』本日の閣で にて左の如く人事を決定した 録消監察官 中山 隆市 任大阪鍛消局長(二等) 大阪鍛消局長 村上 義一 大阪銀消局長 村上 義一 ▲八月七日より三日間、大連朝日 小爆校で「教育と道徳と國家」と 題に、次長格は各種學校教員な の可く多数 商工省異動 鐵道省異動

(東京十八日愛×通) 財務決定 特許局審判部長 大塚 健治 所務局商內課長 村井 四郎 商務局商內課長 村井 四郎 市参事會議案

中前十時より市録事會を招襲した 中前十時より市録事會を招襲した 一、昭和四年度市裁戶別綱賦課 一、昭和四年度市裁戶別綱賦課 一、昭和五年度市裁戶別綱賦課 一、昭和五年度市裁戶別綱賦課 一、市裁戶別倒追加賦難額決定の件 一、市設山縣河市場倉庫增築の件 一、市設山縣河市場倉庫增築の件

日より各官廳は暑中休暇に入るが「東京十八日艘電通」来る二十一

満洲醫大の管理

地方部移管問題を保留し

依然總裁直屬で取扱

暑休中の閣議

會の計量は反野多く沙汰止みとなった

侵性質弱で離色配きな、胸やけ、性配の出る人 に腹重く、食速まね人、空腹の時に腹の揺む人 腹はり、又通じ聴き人、飲み過ぎ食ひ過ぎの人

があります。一壁を是非試みられよ

大河內議員辭任

斯かる人に對して胃活は最も顯著な効果

中尾藥學博士監理

飲んだ

新選手で陣容を整へ

岡十八日發電通』午前十一時

で しんで 自然を企む 傾向 職者となりつ は最初のことであり、殊に時代に は最初のことであり、殊に時代に

で原始運動の火の手が場られるの

面中等学校浩州予患會

を以て職く光質することを得た、 にして再度の優勝を期していち早 にして再度の優勝を期していち早

持つ 負ぶに足るものがある落付

た、今谷ナインに付いて揚げて見

対照を利用してのがある

▼山内二墨手▲

ヴェルダンへ

七日夜八時頃より颱風に襲はれ

各地の被害

藝酌婦の自廢運動に

花柳界は大恐慌

人布白落實女史の來連を控へ

倒壞家屋

も夏幽の見込み立たず電信線は飽きにいる。

性を競弾し、風数上面的くないと ある。なは今後は家畜類の時

奧元帥薨去

突然吐血して

邦人の乘客は無事

「ハルビン特電十九日登】十八日午後十時四十分哈爾賓波長春に向った東支第三號旅客列車に十九日 からの降雨で線路に設水してゐた爲めに列車院線と過程である、同列車には佐藤高 ある模様であるが、高詳細不明にて外人九名の重無傷者ありとも報ぜられてゐる、同列車には佐藤高 を選別車に引電がせ十九日午後十時水至十二時哈爾賓に到鑑の中間双級壁より十五支里の地監を進行中數日前 よりは直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かつた第四號列車の乗客は右 建設列車に引電がせ十九日午後十時水至十二時哈爾賓に到竈の輩宇である、同列車には佐藤高 は佐藤高 は初車に引電がせ十九日午後十時水至十二時哈爾賓波長春に向った東支第三號旅客列車は十九日 あるので第五列車から時刻表通り運転する豫定だと

大颱風は

明朝までに

ル州全線の 惨澹たる九州

運轉を休止 送電も中止して暗黒

家十餘戸館漫車傷者四名家十餘戸館漫車傷者四名

したが死傷者は幸ひにしてなかっしたが死傷者は幸ひにしてなかっ 数名を出した 小柳鐘紡社宅十月飾濱軍艦儀者十 一株の学校を要すると

「一株の学校を要寄に高無いを避けて進んであるが、然し題でする見込
のも知れず其の際は山殿から北陸の高無いる。
のも知れず其の際は山殿から北陸の高無いる見込
のも知れず其の際は山殿から北陸の高無いる見込
のも知れず其の際は山殿から北陸の高無いる。

尚は杜絕 に建一の日ノ出温泉館漫し渡船に建一のでは、1000年1月1日温泉館漫し渡船に建築中の日ノ出温泉館漫し渡船にをはまるり大分もできばまった。 大分縣の被害

通信機關は

孤立の長崎市

十分大阪測候所も繁報を設した『大阪十八日發電通』午前十時三

『夏京十九日愛電通』 奥元職危無の題き、天際に楽するや十九日附の題き、天際に楽するや十九日附の題を、天際に楽するや十九日附ののでは、「大阪」

したものは中央公園の小暗 娘もあつて風紀が壁の世相を物語中、露酸端等であるが中には人妻

一に滅し取付けにあって居るなどと 一に滅し取付けにあって居るなどと

、小比木龜拾の三選手がゐる 似としては大塚鸛籠、高島正 の張味であっ が外野手としての技術は既 整手として申し分のない處 を、全垣を統帥する主解振 る、全垣を統帥する主解振 の各メンバーが彼を甲心 に関となる。 なの後メンバーが彼を甲心 食三時十分愛にて郷陽立につき座談 後三時十分愛にて郷陽立に向ふこと」なった、陶常日は郷陽立の有 をと軍隊撤退後の問題につき座談 大會開始さる

油甑は葉物である、成るべく勝負はない、然し新選手の多いだけにはない、然し新選手の多いだけに

拘泥せす思ひ切り自由にのんび

来の悪天候に妨けられ総派行隊の九州だ連飛行隊

七月十

五

B

日間の興義係止を命ぜられた、理生きた瀧や鶏を食つたりして残感係に呼出され注意を受けたうへ」 あるものであるが多數職業の前で保に呼出され注意を受けたうへ」 あるものであるが多數職業の前でを受ている。 おいま は後は蛇や草木を試食するとい 當局と營業者惱む 猫や鷄は食ふべからず 蛇喰ひ男にお灸をすえる 山侍醫を御窓遺病床を御職間あらされ御見舞として備都無を御下腸あらせられ午前入時級配侍從、村あらせられ午前入時級配侍從、村の場を開し召出を開きる。 特旨叙位の

一種がいるので、最近諸県グランドを中心に1央交流から遊覧道路にかけ暗いたので大連署では数日前では数日前では数日前では数日前では数日前では数日前では100円では100 は風紀係を設け取締を戯重に 夏の夜 風紀を紊す男女 大連署 の公園に て一齊檢學し 後も嚴重に取締を勵行

男は市内山縣通三菱崎事館 製と同社のタイピスト東女であったが解釈を測念して波臺された事 たが解釈を測念して波臺された事 をが終釈を測念して波臺された事 であった。 反職の結果 支那金融界 攪倒を企つ 流言を放つて

飛行決行

A.平洋 楊 斷

『東京十八日愛電通』タコマ東京 は窓々太平洋電腦減行を決行する に決し本日米國大使館を通じ滅信 に決し本日米國大使館を通じ滅信 に次し本日米國大使館を通じ滅信 その希望で、 映畵班派遣

選すること、なり、諸般の選備を 電験の送別屋等として映畵級を 派を が、 が、 では柳陽屯財務

廣發丸の 船長召喚

日満間の電報 まだ遅延する

朝鮮鐵道不通

の報告に依れば今回の暴風雨。 機震二十戸、漁船二十三隻、 機器十隻沈浸した

一 昨夏來病床

雨に依る日補間被害電信線中東京 ると九州および山口縣方蔵大製風 ると九州および山口縣方蔵大製風

他のの

被害歴度等は詳細不明である電信不通となりたる爲め其の

本ででは、一個の山東台灣において英島エネマースを開発と「一個大力を開発したが、一個大力を開発したが、一個大力を開発したが、一個大力を開発したが、一個大力を開発したが、一個大力を開発したが、一個大力を開発したが、一個大力を開発したが、一個大力を開発したが、一個大力を開発したが、一個大力を表現したが、一個大力を表現したが、一個大力を表現したが、一個大力を表現したが、一個大力を表現したが、一個大力を表現したが、一個大力を表現したが、一個大力を表現したが、一個大力を表現した。

おなじみの 天帆生漉塵紙 白帆為婦化粧紙

拓茂洋行紙店 お忘れな には

いさる方に限り夏帝一本門れ共一緒現金にて御求め

日本一面白い大雑誌!一冊僅か五十銭 「講談俱樂部」

ハナノヤ 屋

長

(商號變更)沒速町













神込期日 七月三十一日迄 神込期日 七月三十一日迄 |生安心なる||求職募集 剧業以末初め 濱 は御来堂下さい へり後マンサージあんばく 外連市美濃町二五層六六八八 が単次マンサージあんばく 屋地 驚異的に巧妙を極めた 自動的に回轉が作まります 御料理は一旦出州五銭附 の理けして願上ます の理けして願上ます。 の程けして願上ます。 に微妙なる装置により 御飯物及一旦第三十錢附 C C SU TIVILLEN 輕快にして實用向 きや 熊澤のルパ 正價金百圓也 コロムビア第一六四號へ自動停止器付 電四二九 〇五 連鎖的店街京極通 電影二二二〇五番

職務野球大會精州豫選合

加を得二十三日より質請願稼場に た充電する、今回も五チ1人の参 た充電する、今回も五チ1人の参 主催の後漢言も今回を以てすでに

豫選大會の出場チーム

ームがRF子融原頭の大管への顕樹 を獲得するのか、火菱を切る日は

青島中學軍の來襲

世年大會に於て砂概を保持し続け た大連商家を屠り山東の地に済洲 を大連商家を屠り山東の地に済洲

部五郎觀劇會

河部五郎觀劇會

讀者優待割引券

者優待割引券

秋朝の息は断へた。

らば、協更飲んだで倒座りませう とは、協更飲んだで倒座りませう になったなが姉の妙香と代ってゐたな になったでは、ああ、 以別は別を首白ませつムグツタ

黒煙天に冲すれば、そのまと暫時酸止とばかりうちあたつたと見え 「や、左近殿、御手柄ぢや!」 「先生、回陽は燃えて居りまする

途端に飛來した一彈、左近が配し、山本の棚三はタイプ・「おゝ!」

は下さいますな」 て、酸を、酸をうつ手を休めてな、酸を が、欣願は雌々しくも首をふつしつかりしろ! 傷は浅い」 傷は強い」

たたか打たれたのであつた。

を朱に染めた欣彌は流彈にし

あ、左近機!」

せめては最後の御加騰を我に賜へいく詫へるは、一大戦神、諏訪明神よ、かく詫へるは

「脉鑽どの

パッタリ倒れた欧洲を左近は抱 欧洲どの! 欧洲どの!

ちきこえた。 「おゝ、先生」 た近は郷叫した。

相樂の驚が心虚うづまくなか」

んでいまや黎明は來らんとしてゐ り戦まつた時、東方の空ほの明る いない。

れてゐる(完)

かも五場と3人ふ適當に脚色した 高速度舞歌歌迎の離かな所を見せ てゐる、儲本武麟を原作に忠實に しかも五場と3人ふ適當に脚色した

上月廿日午後七時 上月廿日午後七時

三十分

ラヺオ

して未明に横覆を出いしたと云は は歌をききながしつ、馬耳塞目指して未明に横覆を出いして、馬耳塞目指

斬り死にして果てや

やめおもむろに後述してゆくでは

ないかの

河原

塚龜太郎畵

時は慶應三年十二月二十五日の鷗

なア」 「競色生膿」では追かりの後の場で学治龍子のお似さんがけふはるびん丸で上陸しましたと言はぬ離りに大阪商船の園屋をパタく へきところで映画はど得なものはない、山本醴三郎が出ると参がでひを見に行つた場の道中、一度を指するととので低の道中、一度のはない、山本醴三郎が出ると参なりを見に行つた場ので低の道中、一度となっておくのだった。

雄

(177)

た黎朗は來た。我等が一驚にとった黎朗は來た。我等が一驚にとっ

相樂は漠を双眼に進へて左近の

て、やがては朗かな陽も照らうも

狂つた様にその名を

からくも思りがらすれた瞬間で

とぶー強の 曳綱ひけば、海祇職かせてうなりかくて左近が満身の力をこめて 間近に強った回陽丸の瞬関部へ

といひ調子

観衆を唸らす 面白い艶色
生膽秘譚 日の盛況

作者の苦も多とせずばなるまい、 の既において提灯をもつわけでな の既において提灯をもつわけでな の既において提灯をもつわけでな の既において提灯をもつわけでな 舞感に立って挨拶を する河部五郎のニコ

無が更に高まり一分数と見て使然人 無が更に高まり一分数は王」「大統 気が更に高まり一分数は王」「大統 気が更に高まり一分数は王」「大統

大連棋院臨時稽古基戰

大淵・貞吉以大淵・貞吉以

3 23

Œ

人中村、木下錄三郎) (人中村、木下錄三郎) (大中村、木下錄三郎) 出演、夏川静江其の他 薩摩提置「小敦盛」正 京 後六時二 K 心、精構湖 他日活俳優 四日間限日延なし二階・下・二十銭開放 単型器特件時代 関東型器特件時代 関東型器特件時代 関東型器特件時代 第一大

セ

ル

小倉厚司

山本洋行 大連市信濃町市場

个倒子土曜廣告

環能はら屋花環店

フム ノマヌは開せず高 要するにスモカは 黒い 歯・黄色い曲・等々々の 立派でない曲を 立派に する健康です とキツバ

を拍せし (大將震泊の卷) 妖精力オックス社爆笑篇

旭照子·大野三郎助演用愛子·片新恒男助演

臨院

御相談に膨じますの

電話 六五四四番

鑛

業所

松枝つる子主演明 石 緑 郎主演

大將功名の巻

凸のテッド・マクナマラ氏珍演

生殖 大連市浪速町丁目 大連市浪速町丁目

佐藤樹一路

料大切十九日封 新興帝キネ四大作品の一

付=造攺大內館

で最短に飛んだ拾ひ物 を関系に飛んだ拾ひ物

比の祭列扱き前持参下さい お盆の肥念勝價サービス

面图

十四日よりお盆與行

(可認物學或第三詞)

急告!!

急告!!

十四日を切つて敢然廉僧

これでもか! ・キキン火持の一番よ マラソン狂躁曲 評判と賣行の **日本賣藥株式會社**

大連大山河東南

子は残べと沿わたつてゆくったまとい一言もなく眼を関り まる、一言もなぐ眼を限りそのが、欣瀾は左近の腕に支へられ

ふるひ立つて鬼郷へ手をかけた 、せめては最後の乳欧として一近どの、もはや抗すべき力は

が、アト無付けば、邊りは流血の海となつで傷つかざる砂質は一の海となって傷つかざる砂質は一

左近は絶望のあまり、その身を

を影

全商品

浪速町の一角流

東百貨店、東西

大進出のため

五滿日廣告部專用

左近の扮装で挨拶する河部五郎

田された時、飯鷲回陽丸は砲撃をとりばらせ即死を遂げてみる左近の変が、漸く消えた砲煙の底に見の変が、漸く消えた砲煙の底に見 血にまみれつ、味んだが答へなか 概要は既に機能を与けたものか

を一くの元は本地ないのでは、押を一等には本地ないのでは、一年の元がは、一年の元が、中では、一年の元が、中では、一年の元が、中では、一年の元が、中では、一年の元が、中では、一年の元が、中では、一年の元が、中では、一年の元が、中では、日本の元が、中では、日本の元が、中では、日本の元が、日本の元が、中では、日本の元が、日本の元の元が、日本の元が、日本の元の元が、日本の元が、日本の元が、日本の元が、日本の元の元の元の元が、日本の元が、日本の元が、日本の元が、日本の元が、日本の元の元の元の元が、日本の元の元の元が、日本の元の元の元の元が、日本の元の元が、日本の元の元の

をいひ十二分の賞職もあつて如 何にも其人になっきつてゐるが 石原の清兵衛、中里の龍五耶等 石原の清兵衛、中里の龍五耶等

つた。

● コータの十二 〇二五レの十二 八は(い)に尖ん 大は(い)に尖ん

たで打つがよろしい、黒州六は(ろ)に伸びればいけままれては單に十四に伸びて打つ方がよるしい、黒十二は單に十四に伸びて打つ方がよるしい、黒十二は二十四に伸びて打つ方がよるしい、黒十二十四に伸びて打つ方がよるしい、黒十二十四に伸びて打つ方がよるしい、黒十二十四に伸びて打つ方がよるしい、黒十二十四に伸びて打つがよるしい、黒十二十四に伸びて打つがよるしい、黒十二十四に伸びて打つ方がよるしい、黒十二十四に伸びればいけません。 開館 電話三

時間後七時三〇分十 情ち銀の 歸 郷

別府治林葉は胃腸障薬性を対していまが、 薬性お試し下さい其効能の顕著な 薬性お試し下さい其効能の顕著な をが大連市監部通東郷町角 大連市聖徳街四丁目一二四 版賣店 大黒屋 壊店 地獄谷の大劍客 祖 忽 武 士 沤速館

離 者 第一位 登版町三七 河川 正 様 第二位 予河口間町九四 末澤 良 雄 様 第二位 予河口間町九四 末澤 良 雄 様 第二位 予河口間町九四 末澤 良 雄 様 第二位 登版町三七 河川 正 様 第二位 を表してきい

接替大連一九五一 東京式にぎり

線の歯感スモカ

男敢に即決大處分致 最新良品を總で思い「き」 光祭を感謝いたします・・・・・

します からないで御用命を希か

特產、

錢鈔の

| 性が乏しいとすれば之れに関連して其處に新しき何物かを製出せれ

「東京十九日韓電通」生然及総十十一國先限二十七國大震味となって戻足に轉 「東京十九日韓電通」生然及総糸 に、が輝速生然は前日一職常限二十七國大震・大田の一大大郎。 「東京十九日韓電通」生然及総糸 「東京十九日韓電通」生然及総糸 「東京十九日韓電通」生然及総糸 「東京十九日韓電通」生然及総糸 「東京十九日韓電通」生然及総糸 「東京十九日韓電通」生然及総糸 「東京十九日韓電通」生然及総糸 「東京十九日韓電通」生然及総糸

手數料問題考察

當然の歸趨と殊更の要求

河相 常に数字を扱はぬ人には 機関する事は難しい、金十圓を機関する事は難しい、金十圓を

赤

テうむし等の被害を見るに至り 近年栽培反別に伴ひ斑點病、よ

東力を損ふものなれば特に注意 一二、施肥及管理 一二、施肥及管理 施肥は普通反常二百貫乃至三百 強肥は普通反常二百貫乃至三百 大変を基肥として施用する も近時之に反常五貫乃至入貫目

播種の時期は五月上中旬

收量は反當り皮付、四五石

高粱包米激減す

加奈陀、南洋物の壓迫と

は十五片八分の七と〈八分の一字〉 は十五片八分の七と〈八分の一字〉 地下五片八分の七と〈八分の一字〉 地下五片四分の三と〈十六分 の一字〉 経育、五貫兩級塊、日米 米日、米支、米英は何れる電線故 障にて入電なし上海標金は六百五 両丁度と寄り五百九十七両二と止 め営市の銀價は保合商駅を呈した ぐ「定加」取引〈単位録)

鈔票保

更に浦港積割安に

月下旬或は十月上旬收穫し特別 東京企業でしむれば甚だしく發 寒気に逢さしむれば甚だしく發 ま気に逢さしむれば甚だしく發

数量は逐月微減を呈してゐるが、一般ぐとも二十錢位の差であ 別の高疑何米の大連港輸出日本向 き五十錢高となつて居る。 数量は逐月微減を呈してゐるが、一般ぐとも二十錢位の差であ

を五十錢高となって居る。從つて であるが現在大連額出しを欲してある模 であるが現在大連額の相場を以 でしては之が輸出増加は期待せら

(本本ない。 ・ 大本ない。 ・ 大本ない。 ・ 大本ない。 ・ 大本ない。 ・ 大本ない。 ・ 大本ない。 ・ 大本ない。

满

金に換算して搬ふ事は 機は

(四)

本株 小洋だけだから離野だった 中地 扇響屋へ行けば容易に脂 中地 扇響屋へ行けば容易に耐 がある、相場は支那人が日本人がある。 はり非常に難しい、苦力に至る とり非常に難しい、苦力に至る なものだ、コレは緊急変量會で正難しいのに本人が知らないとは可怪しなものだ、コレは緊急変量會で正難に なものだ、コレは緊急変量會で正難に か洋の扇響をヤツて出來ぬ事はないでせ をの意見が出た。 は、 其の他費用が掛つてヤリ切れない、源 大連に取引するから電話や 中では、大連に取引するから電話や 中では、ですか。 が、大連に取引するから電話や 中では、源 中では、源 中では、源 中では、源 中では、源 中では、源

満鐵線並びに沿線の

河相 鑑を使ふやうになれば耐鬱をが多くならなければならぬ を天邊りでは楽山耐鬱を

倉敷料引下げが 最も必要だ 西山 現在の市役所には観相場 西識のある人が居ないから駄目 気織のある人が居ないから駄目 運賃安に

繁榮策に關する輿論 大豆引合 歐洲から

八日奥地の営業者に對して夫々で重荷を下したるものゝ如く、

大連輸出日本向

源田、市際が一般良いでせう。 神管屋が欲しいと云ふ事にな

の作人は雪地舎を乗りない。 されるであらり、又とくに支那線 されるであらり、又とくに支那線 されるであらり、又とくに支那線

製油原料條件 奥地も満足

1111

新東(高)

公公公

手形交換(十九日)

七九、三八九

奥地市况(計九出)

満鐵株(聢り)

人兒 科科科

東の御婦人服とお子供服店 連鎖商店有銀座通り 連鎖商店有銀座通り 電話

大豆は非商の船積丰富の現物質に大豆は邦商の船積丰富の現物質に大豆は邦商の船積丰富の現物質になる。

況

産

市場電報共

東京期米 東京期米 東京期米 東京期米

月月月月戸豆粕

前 未二 ||||| TO KUTAICO., LTD

多少に拘らず 自





順東大 鞍一峰町 條

電話

同五三 四〇三 八五〇四 二二七

事務用手五所

新混凝土工の確實なる施工請負者は東洋コンプレツツル株式會社東洋コンプレツツルは混凝土基礎抗工事 動力を水上式線筋混凝土基礎抗工事 場が混凝土工 健康工事 域が混凝土工 健康工事 「一級筋和機販質」 「一級筋和機販質」 「一級筋別機・工工に関する一般の請負 特許緩筋用機・工工に関する一般の請負 特許緩筋用機・工工 東京市党の所ご丁目十四番地 大連市者狭町一九六番池 東洋コンプレッツル株式會社 東洋コンプレッツル株式會社

ものと思はる。

の値でりを生じ契鍵に於て有情数が 電に依る減收を除ってされ相當 悪灰時機に遭遇して居るかの様に 思はる」を以て之れが跳策に付て 思はる」を以て之れが跳策に付て の値でりを生じ契鍵に於て銀價下

歐洲大豆情

好轉の見込薄

◇⋯伊藤久太郎

社は と云ふ豐書が取り変はされてある で勝楽観の極端なる勝落を強想し の場合には手敷料率を變更しよう に本る野書が取り変はされてある。

ルー方鏡鈔の手数将他下げ問題は 一根は現に役員の一員であるがあめ に未だ組合に向って會社の意見を がべることは控へたいと思ふが、

の概念する手曹操は金融第の合計の物である手曹操は金融第の合計の

が算に強いのでは、

の成約を見たが、目先衛好の成約を見たが、日先衛好

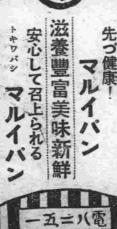
駅洲に於げる大豆機器は蛇々蟾蟆 脚に入り大連積みの成約は殆ど無 がに入り大連積みの成約は殆ど無

生糸綿糸反撥

★ 華 古 西 通 大 連 商 業 銀 行 大 連 市 西 通

正 金(銀勘定) 日本向參萱聲(銀青) : 週間記

(高) 替相場(正九日) 株式出来高(十九日) 株式出来高(十九日) 大新(高) (正九日) 株式出来高(十九日) 大五〇枚 九五〇枚 九五〇枚 開原



先づ健康!

普蘭店に於る落花生事情

、 るも之が爲め甚だしく收量を 減ずるが如きこと少く昭和三年 度に於て「よとうむし」の爲め一 一割收量を減ぜしこと一度ある のみなり

診致し

意

中地・金融組合の出資金は銀である、併し日本人からの預金は金である、貸付の時は用途に健しのである。 実河江 館付は其の時の相場 光物を無くして現物丈けに

京油 七五五日籍 五百箱 五百箱

悟(九座方前卷)

節(長姓三於来)

公债

四度場西人 6 電話人三大五番 電話人三大五番



總攻擊命令

總司令部は徐州に

南軍今明日中に **南軍の後方を衝くべく** へられてゐる 大人間というであるしかし間間が多い場合は先 であるしかし間間が多い場合は先 であるしかし間間が多い場合は先 であるしかし間間が多い場合は先 の数は商未定 の数は商未定 の数は商未定 の数は商未定 政友新經濟國策

武器供給

十日申二司 到着 北方政府郷立の大立物汪稲郷氏は 北方政府郷立の大立物汪稲郷氏は 北方政府郷立の大立物汪稲郷氏は 北方政府郷立の大立物汪稲郷氏は 東京十九日穀電通』その筋膚電 ではまる十 四司着の上、便船あり次第北平に

第六次巨頭會議

奉答文案及び手續等討論の爲

けふ海相官邸に開

吉林省當局の

産れるので早くも各版の驚覚は勿。

閣馮を辿つて

獵官運動熾烈

部長、財部海相と協議の総里奉答。 く事となつた、而して非公式軍事議會に臨む筈であった處谷口軍会。 り海相官以に第六次互頭會議を開始に開かずその鑑非公式軍事器。 の討議を行ふため廿日午前十時よの議は開かずその他に隣し最後の計議を行ぶたの世に隣し最後

他石郷裁に配館、理事館低を承藤 いて佐願党本官の部分を受け、次 いて佐願党本官の部分を受け、次 いて佐願党本官の部分を受け、次 のを受け、次 のを受け、次

新商埠租建章程

格 た模様である、備支那(株有職者等) が の割に依れば若し市政處が賦定し が の割に依れば若し市政處が賦定し が の割に依れば若し市政處が賦定し が からしては生死に協 か する 世界 からしては生死に協 な する 世界 として挑争せねばならぬ な か か も 人民の 立場 からしては生死に協 な か する 世界 として挑争せねばならぬ な か か も 人民の 立場 からして は 生死に 協 な か する 世界 として おり は ならぬ な か ちん と して おり は ならぬ な か ちん と し な か も 人民の 立場 からして は ならぬ な か ちん と し な か も 人民の 立場 からして は ならぬ か た も は ならぬ な か も 人民の 立場 か も 人民の 立場 か も 人民の 立場 か も と し な は な らぬ な も な らぬ な は な らぬ な らぬ な な らぬ な な らぬ な らぬ な な らぬ な らぬ な な らぬ な な らぬ な らぬ な な らぬ な な らぬ な

した、氏は語る サ八日頃正式任命を見るであら も、満洲は先年日支連絡會議が あった時大連に二三泊して奉天 あった時大連に二三泊して奉天

在留邦人の影響甚大

特別委員會の意見 可申請中である。右幕夏制度施に分を置き徹底的に外爾隣すの際でとを置き徹底的に外爾隣すの際で

津浦線漸やく風雲急 づ外交球政の時部だけを臨時組織ってゐる 中央加擔か

期くて今後は夫々各部分艦の事項 につき調査を促進する事に申合せ 年後三時散會した

『ワシントン十八日發電通』上院 総約反對派の豆頭へイラム、ジョンソン氏は今日は攻撃流影をなし 巡洋艦を二種類に分類する事に反

メリカば全部八吋巡洋艦を建メリカが若し希望するならば

の新提案

3

ンソ

ン

音鷹昌等十萬の軍は光域を占領、港市線徐州に出でんとしつよあり、港市線は今や決戦状態に入った了リ北上し始めた、西北軍は之に獣し中央軍の退路を遮眺のため十八日孫殿英、孫連中、一戰を濟南攻略に試みんと目下徐州には各戦線の軍隊、武器の終結「北平特置十九日發」南北陸軍とも軍費金嶼乏し中央軍先づ戰ひの飛引くを関れた総衆、最後の「北平特置十九日發」南北陸軍とも軍費金嶼乏し中央軍先づ戰ひの飛引くを関れた総衆、最後の「北平特置十九日發」南北陸軍とも軍費金嶼乏し中央軍先づ戰ひの飛引くを関れた総衆、最後の「北平特置十九日發」南北陸軍とも軍費金嶼乏し中央軍先づ戰ひの飛引くを関れた総衆、最後の「北平特置十九日發」南北陸軍と

西北軍も活動を開始

燐 寸 瑞典燐寸驅逐のため 專賣制 同満洲に

『東京十九日預電通』中旬貿易は

出超四百餘萬圓

中易貿易

出計輸輸の 超 入出如し

三三、六九二、000 六三、〇五三、000 六三、〇五三、000

奉答文に但 海相より諒解を求む

は、大力量に動する軍部の情勢は奉答の、海軍互照合議の經過を注記する軍部の情勢は奉答の、大中に純陰文は作戦上支障の用語。という関係上不満足なる旨を表現、一個の終了を持ち大陸十五日の閣僚を以て関係上では、一個の大力を見つ」あり、これは止む得ずとするも右奉答文、にその手續きを執る事としこれという意を来す事なき標準答文の、製作中と眺めなるべく速かに報識した。とり支障を来す事なき標準答文の、製作中と眺めなるべく速かに報識したとり支障を来す事なき標準答文の、製作中と眺めなるべく速かに報識した。とり支障を来す事なき標準答文の、製作中と眺めなるべく速かに報識して、但しこの戦略に数。進行する様希望するに決した。 海相より充分諒解を求めさせる要 が加せしむる要があるからこの監 では補充方法を講じ得べき旨を 御知らせ下され度願上候る御年數ながら準備の都台も有

村上氏 満鐵理事を承諾 仙石總裁と會見して きのふ 三時九分競急行列車にて開行した

足旅行をしたばかりだ、從つて 強洲の實際については殆んど智 識がないといつてもよい、然し ので色々数へられる所が多から のでも今後遺で働くのもよいが満線 で働くのはそれ以上に國家のた ので自分としては今回滅るの では今後宜したいと思つて るる、何卒今後宜しくお願ひし 分行設置

ざ付で係る

が進められてゐるが現に取引取の特盤上場問題はその後實施古場問題はその後實施古

司令官一行は十八日午前十一寺日【鞍山特體十八日發】愛刈闕東軍 鞍山視察

定期後場外單位緩) 寄付高值 安值 大引期近 恶全 為亞 西公 田來高 期近 六十一萬圓 現物後場外單位緩) 銀對金 銀對伴 金對洋 一時半 過20 11年回 11三至 二時半 過20 11年回 11三至 二時半 過20 11年回 11三至 二時半 過20 11年回 11三至



日露役當時の二元帥六大將 と藥が いの奥元帥

今や全く世を去る

糸工場が四個も閉鎖した故に問題は値段であらう。斯かる場合 国は値段であらう。斯かる場合 国に除出する事が自然の方策で 頃に輸出する事が自然の方策で

日本は経済侵略などAいつて血質をあげ騒いだものであつた。近道をあげ騒いだものであつた。近頃また支那の各地で文化侵略など頃また支那の各地で文化侵略などの合言葉を聞く。近頃、不思議な

濟南奪回を目標さ

央軍愈よ最後の

保州に集結を了り北

進を開始

國際感情を 害するもの

化侵略など恐れおのよくことはな

であ 一から十まで何々侵略などと稱しであ 一から十まで何々侵略などと稱して 排外宣傳に沒頭腐心しつ とに損 つあるが如きは、全く正氣の沙汰 に損 つあるが如きは、全く正氣の沙汰 に長略と申しかねる次第である。勿論質 に侵略せんとするの野心あるもの なら、頭からこれを排撃すべきで

社

說

矛盾撞着ではあるまい

を見ないで薨去したことは恐らくだ」と洩してゐたが、それの解決

一大興論を喚起し満洲の適地に設置の製器を達成せしむ可くせ九日戦偏委計長田中千吉氏の名を以て全滅各都市の居留、自並に商工會を調を連成せした、師がは、一大會戦闘打合會を開くとより大會戦闘打合會を開くと 職を喚起し番州の適地に設定を喚起し番州の適地に設定して、建市役所會議室に全満大・連市役所會議室に全満大・連市役所會議室に全満大・運輸し来る二十四日中前十一

候益々御健勝の段奉

引編その他の駆称をかたづけ二十 に観響高長は即夜西下して事務の に報道高長は即夜西下して事務の 務をかたづけ多分二十七日神戸出務をかたづけ多分二十七日神戸出ります。 帆の定期船で赴任するはず、また

本た處國東歐戦は発と誤解なり日 である模様で廿四五日頃道麓製長 である模様で廿四五日頃道麓製長 の成職するまでたなっ である模様で廿四五日頃道麓製長 着任期電事の 質日本

は今回洋服流行によって商賣人の 大きを研究中だ▲東洋のシカゴと はこいつは金になるとばかり賦課 はこいつは金になるとばかり賦課 はこいつは金になるとばかり賦課 はこいつは金になるとばかり賦課 はこいつは金になるとばかり賦課 はこいつは金になるとばかり賦課 はこいつは金になるとばかり賦課 景品附 二立機器一本毎に 十六立間一門毎に 湯上リタオル

田虫、水虫、いんきん、

約10瓦人----510瓦人----約40瓦人----較 大 版

アスター 奏効適確にして 皮膚に吸收し易く 副作用なし

本人職の続霞工場でも時々襲撃された苦い經驗があるので、この髪があるので、この髪があるので、この髪があるので、この髪があるので、この髪があるので、この髪があるので、この髪があるがある。

前から銀行街を馳騙してゐる▲日た護衛が四、五人乘つて二、三日

たゞれ、にきび、其他各皮膚病に奏効適確

謝する柳利に関し至急収調べ地における邦人側の土地派屋

がて翻縦大來跳に戦松

製鋼所関語も去る十四日の首一相官邸における関係製路の磁器會

製鋼所問題で

全満大會を開く 來る廿四日大連にて

將來發展の素地は充分有る

談

(E)

は、 大事館の管轄地域たる線、開、は、 東の五縣に包容する人口は数で、東の五縣に包容する人口は数で、東の五縣に包容する人口は数で、東の一般の要もあるまいと言っても出来まい、相當の努力と研究とをして、活路を得る事も出来るだら、歌歌とをもの進出策を響ってもので、活路を得る事も出来るだら、歌歌とを

=

月

廣島文理科軍と

▲張學銘氏 十十上 max 《石章勵氏(題林廠長)

十七日開

十六日排贈の暴風雨に

際し平北襲

醫大幹事

▲東京見本市観察圏一行廿五名中將)十七日開原より闘率中將)十七日開原より闘率

●愛知醫大生一行十四名 十七日

八日安東より過率赴連

+

教専の陸上競技

今廿日午後二時から

長

春

年

五

八月一日から家賃三館館下げを統一を貸してゐるが時代の部流に從ひとりの貸家を所有し主として鮮人

・ 一行することになった交八幡町八番 地奥村氏も自己所有の食家に難して 地奥村氏も自己所有の食家に難し

▲和葉層大學長 十八日朝大連よ本小倉地方事務所長 十七日歸奉奉局連

關東軍參謀長

十七日夜過

圓滿解決

飲物料金問題

愈々けふ開始

午後一時から憲兵隊球場で

劈頭PO對マイチー

球リ

グ戦

段はその後警察署と組合側の安協工を高、サイダー、シトロン)の値を高級変問題となつてゐた附屬地内の設定を表している。

鐵

なりど1ルは一本につき四十五銭かから五十銭、日本酒は二十五銭かの三十五銭とすることは二十銭から三十五銭とすることになり十八日奉天器では組合嶋のになり十八日奉天器では組合嶋のになり十八日奉天器では組合嶋のになり十八日奉天器では組合嶋のになりません。 野で 可を了した、これがため一時注目

本人は寧ろ引込みしあんで女な 本人は寧ろ引込みしあんで女な

千八第

吾其の

田下書

闘率の出致減

いし相手が云つてゐるやらな事けることも一寸も考へてはゐなれまでは辭表を保留して置く故れまでは辭表を保留して置く故れまでは辭表を保留して置く故れまでは辭表を保留して置く故れまでは辭表を保留して自己故事 訪問し廿二日 町の便

IJ

▲廿日 午後一時からPOクラブ 野マイテイA組、同午後四時よ り領警對拔大クラブ

事となった、同時に電燈局からは電燈料値下閲覧も十七日料金廳更電燈料値下閲覧も十七日料金廳更

べく發表した新疆料金の比較左の

いより

午後四時より驒友クラ

事となった、同時に電燈局からは 今回の値下げが最大限度たること

電料金 改正料金 まで 三〇鏡 二〇鏡 まで 三〇鏡 二〇鏡 一九 上 三〇 一九

と等の

◆廿一日 午後四時 プ野旭クラブ 人のラブ、伏水クラブ 和、検友クラブ

各方面からの觀察の * V.1/1.

に於けるマラリアの本家として除けるマラリアの本家として除けるマラリアの本家として除いると、実際に少なく、健康地としては北方院一、宛かも関づたが、今である、価も風光がも別形地のやである、価も風光がも別形地のやである、価も風光がも別形地のやである、価を関がの概念がの概念がの概念がある。

るに、我々の住ひ鐵鎖は の時の町を各種の方面

、市ではこの國際的

一年代田街と 一年代田街と 一年代田街と

窃盗警戒の

0

れにはいろんな融係もあらうけれだ、支那側の警備充實と表軍 強い原因であらう、 强盗や馬賊 強い原因であらう、 强盗やあ財 強い原因であらう、 强盗やあ財 強い原因であらう、 强盗やあり は滿鐶沿線北部に於ける最も好 おる。これを

居住地としては最も好適の地であるが、過去二十餘年間の際史により邦人發展の跡を見ると概して商工業方面には餘り惠まれてゐない中うである、工業地としては最も好い要件を備へてゐる管である、工業地としては最も好いならの問題である、附屬地の面ならの問題である、附屬地の面ならの問題である、附屬地の面ならの問題である、附屬地の面ならの問題であり、十年に一人の割であり、十年に一人は普通とは中位、二十年に一人は普通とは中位、二十年に一人は普通とは、一人の割であり、十年に一人として 和の鐵鎖が何故欺までに寂

のか、交どうしたらその砂膜

る新規料金は八月一日より質施すを發し間値下によ

居住者相互の宿 期するので一般でし、 正の宿職で層一層

而して約束燈には從來設備損

で それ から鐵端の西菜的愛医 無い沿線でもるでは、 域内と近接してあるため、 他地に比して窓。しく劣つて見めかは 臓内に支那商人が非常に少い、從つて商務會といふものもどうも支商を移住させそれによって多數の部人を附屬地内に支那商人が非常に が出來なかったが、域内と近接して來てあるとは言へ不可除な販である。 であるとは言へ不可除な販である。 であるとは言へ不可除な販である。 要するに思ふ、要するに所謂安全で、 要するに所謂を変して来て 市公園を回牧し得る利益を記上し 市公園を回牧し得る利益を記上し 水道敷設に失敗したシーメンスも 水道敷設に失敗したシーメンスも 水道敷設に失敗したシーメンスも 水道敷設に失敗したシーメンスも があれている。

水道敷設工事に

爾

賓

各國猛烈な競爭

總工費は二百萬元

は かり 宣傳映畵 はコンミッションの出資際により 激化する傾向であると

日 総域税為下で法別と、船主は平北 の成克が沈没した、船主は平北 部長は同税で充定でである。 部長は同税で充定でなる五十石 が定した、船主は平北 大澤して事務所に押寄せ工場長に 大澤して事務所に押寄せ工場長に 大澤して事務所に押寄せ工場長に 大澤して事務所に押寄せ工場長に 大澤して事務所に押寄せ工場長に 大澤して事務所に押寄せ工場長に ▲ 廿四日 マイテイB組對領警拔 ▲廿三日 北斗クラブ對CDクラブ對檢及クラブ 戦策巡査等出張設論したため、対克が沈沒 開催の趣旨の説明し次いで取る金 一開催の趣旨の説明し次いで取る金 一開催の趣旨の説明し次いで取る金 火となり十七日現在では赤綱州八名、陽チプス七名、パラチブス也名、パラチブス也名、パラチブス四名、銀紅熟二名、ジフテリヤ二名と、銀紅熟二名、ジフテリヤ二名と、銀紅熱一名、カラッカーでは赤綱州八名、東京の 小人の種別を記して見ると次の如既報した通りだが、内地人の大人民警管内六月末現在の戸口數は △ 大会で、大人十六人小人十人 一人会を 大人七千百七十四人、子会長を 大人七千百七十四人、子供二千六百六十三人 尚准優勝戦 勝者對二 △范家屯 + △阿家屯 + 患者が三日に一名位の平域である差した事があつたが、今では發生 赤痢患者は五十餘名といふ多數に計五十三名の患者であるが、一時 長春に於ける傳染病は昨今 百二十人である で合計大人七千五百人小人一千八 赤痢漸く下火 者対他、罪友の勝者 委員會 長春署管内の 大人こ 兒童 **巴戰(准優勝戰) 小クラブの影者對二十** 午後四時から横友ク D クラブ、 大人二十人。 大人二百三十五人。 一回の勝者 具體案無し 小人十九 部く下 名 四ラ 受機問題、金融、然口提出案だる 特定物輸出業、公主機業の漸級上 り資金を仰ぎ共同購入購賣、共同 が設中には此級與策を員合を單に を計中には此殿與策を員會を開催すること、し六時過ぎ酸雪した 個近日中に第二回委員會を開催すること、し六時過ぎ酸雪した 部では二十五日午後七時二十分よ 多数に見送られ元氣よく出發したれ十八日十二時十分發列車で父兄 歌仙會を催し左の十八番を踏ひ通時より南端電氣クラブにおいて学 り演繹館において活動寫真を無数部では二十五日午後七時二十分と 舟辨殿、外に來賓の涌小町及び後寬、海士、八鳥葵の上、寶盛騎葵、班女、弱法師、安達原、電太鼓、女郎花、七鼓、朝廷、龍太鼓、女郎花、七鼓、朝廷、龍太鼓、女郎花、七大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大 春健兄殿の夏家河子キャ 健兒團出發 鐵鳴會半歌仙會 映畵會 緊縮宣傳の 廿五日演藝館で

玉手箱は開けられた! 電燈と動力の料金値下 嶺

八月一日から實施 開原特産物商組合にては各方面の 考慮を得らる」であらう を要望せると相俟つて相常満續の

であつたと Jν

競技費捻出の

銀開四公然旅陸上競技に出場の全 南瀬電気舎武事務職間原代表選刊の派遣諸費用は瀬鐵 開原電気舎武視察の運動舎支部及び各銀行舎武より寄 前十一時五十四分等 財を傾ぐと共に、鈴木原明主旗の 来開した 一日田氏の名 上野公舎堂で上映する事になった 出熱係百田蟹次氏は より公舎堂で上映する事になった 出熱係百田蟹次氏は より公舎堂で上映する事になった 出熱係百田蟹次氏は まり公舎堂で上映する事になった 出熱係百田蟹次氏は 二十日より一週间休場すると 横田 満電事務 來開 開原電氣會試惠猕艇田多喜助氏は 開原電氣會試惠猕艇田多喜助氏は 前十一時五十四分癥特部列車にて が開した

廿二日公會堂で

出統係百田健次氏は青年戦に金五百田氏の寄附の戦戦銀行 宗治氏、滿鐵體育學秋型。營口水泳俱樂部数

集中である (一)閉會 稻葉常任幹事 (一)閉會 稻葉常任幹事 赤痢二名

さる」やうになった 麦刈軍司令官 けふ來營一泊 けふ來營一泊 一九日午後二時三十五分聚繁清秘 一次の上型二十日午前十時代 最大石鰐に向ふ警定である 日本製油業聯合會 代表者一行 二男任一般)馬場彰△採掘係主任教谷一件、一般)馬場彰△採掘係主任教谷 △庶務主任梅本正倫△計暨保主 任矢津田芳 △採捌係主任志校武 一郎

蔓延の模様

本庶務係主任內澤惟重 本計資保 主任川原末唯 本坑內係主任葡葉次 直彥 本萬漆景坑內係主任葡葉次 直彥 本萬漆景坑內係主任葡葉次 直彥 本萬漆景坑內係主任葡葉次 學三郎△格迪坑內孫主任上語貞生任補本勇△體鳳坑內孫主任披入外孫主任曹野誠△計畫孫主任廣縣

(而認河班那里三萬)

他に先

V

奉

天

箸であったが一日延期し十九日十 牽天商騰の蠶員會は十八日開催の

富士紡工

場

東

職工

騒ぐ

不意の解雇に

五時から開

家賃二割引工

連日の降雨で板橋子附近の水田は連日の降雨で板橋子附近の水田は水工事に着手中であるがこの上降雨が續く場合は昨年の如き大水害雨が續く場合は昨年の如き大水害

ブ生

奇特なる邦人家主

高桑繁茂郷となり各地に匪賊出突 ラブ道場の報酬りであるが去る・十五日が出 同地震民張鎮を人質として拉去し 同地震民張鎮を人質として拉去し 家人に難し現大洋三十萬元長統三 今回の豪雨により書職 家人に難し現大洋三十萬元長統三 今回の豪雨により書職 を拉去一人につき三十萬元宛の要 ケ所、農作物などにも を拉去一人につき三十萬元宛の要 ケ所、農作物などにも を立去一人につき三十萬元宛の要 ケ所、農作物などにも なまをしたるを急報に接し同地公安 ざる編機であると 昌圖の馬賊 豪雨被害の

激甚の模様

特產商振興策 運賃輕減のみ 十七日の協議會で全員一致 原

すると 男裝して足拔 シャ人の金のない時代相を物語る さのだと逃憾へそして附記して出 で旅郷に出れば髪の下は乾あがら で旅郷に出れば髪の下は乾あがら ないだらう」と 4 孤態は大洋の六 ないだらう」と 4 孤態は大洋の六 ないだらう」と 4 孤態は大洋の六 らが今では買手がない▲これもロ

廿三日華々しく擧行

水泳プー

ル開き

P

市街方面に於ける安全が餘程保持たので警備上の便利はもとより新

本研究保主任湖區外配 △楊 本研究保主任神中忠 | △分析係 本研究保主任神中忠 | △分析係

◇火藥製造所◇

本底務主任人見難三郎△計暨保 主任南家碩文△採炭係主任桑村 整保主任高要猛夫△工作係主任 離保主任高要猛夫△工作保主任 是保主任高要猛夫△工作保主任 等工作局家碩文△採炭係主任桑村 ◇大山採炭所◇ 班朱次/所◇ 主任加納吉次(昨朝)△ 主任加納吉次(昨朝)△ 主任加納吉次(昨朝)△ 京二工作係主任古田 財益△工作係主任古田 財益△工作係主任古田 日本 (東京) 「東京市 大・東) 「東京市 大・東京市 大・東) 「東京市 大・東京市 大・東京 大・東京 大・東京市 大・東京市 大・東京市 大・東京市 大・東京 大・東京市 大・東京市 大・東京市 大

表彰懲戒委員

◇東鄉扶炭所◇ △庶務係主任佐藤哲雄△計書係 主任(策)前島眞一△本坑々內係主任 主任栗屋東一△南坑々內係主任 主任栗屋東一△南坑々內係主任 主任栗屋東一△南坑々內係主任 三郎△勞務係主任岡本衆松 ◇楊柏堡採炭所◇ 日次の如く愛表された
(庶務課長)大垣研(採炭課長)人保学(電気課長)大塩研(採炭課長)人機械(採理課長)石織米一(古城子報)、(投資課長)人の対金額(経過報号)の対金額(経過報号)の対金額(経過報号) 炭礦部表彰並びに懲戒委員は十八 九氏を任命

清水喜一の各氏低命された 顧々來征

多忙な野球界

回したるが販売は残る人質を運行したるが販売は残る人質と名を観りは思い人質二名を観ける人質の名を 土用稽古警察署の武道 康平縣内に遁へしたと の世界一般の映寫あり會屬立錐の の世界一般の映寫あり會屬立錐の 露領事館移轉

立にあばてゝ類にやむ雨戸かな

北寧線影響調查

大石橋

般に開放 二十日午後一時より際口及び戦山 原郷道部より選手各二十五名を迎 へ當地小摩検講覧においてリーク 剣道戦山で

小學校講堂で

溪

東部線豪雨

豪雨被害

らうと観測してゐる 菱刈軍司令官

検察部に何ひをたてると▲レーニー (機) と 本語のだ」と 本語ならロシャ () と 本語なら () と 本語ならロシャ () と 本語ならロシャ () と 本語 () と ◇――◇ 生後六ヶ月の無路が ◇――◇ た品ものだらうと白 ◇ た品ものだらうと白。 開東電司会自衆州大將は大石閣守 り来石する冒通知があった、尚當 り来石する冒通知があった、尚當 日出迎への官民に難しては職費電 三十分までの間に熱拶すると 來 石

般官民有志を招待すると 因に常日は硝鐵俱樂部において ★十九日十三時四十五分海城より來石、同十四時翌列車にて赴り來石、同十四時翌列車にて赴り來石、守備歐巡視して營一より來石、守備歐巡視して管口より來石、守備歐巡視して、中一時三分音列車にて赴り來石、同十四時翌列車にて赴り來石、同十四時翌月車に 武道暑中稽古

銀道場で柔劔道場中総古を行ふ三週間毎日午後州時から一時間隔 ◇電

△計畫係擔當員石田組城 △計畫係擔當員土井梅衣郎、武 本計畫係擔當員土井梅衣郎、武 田勝利△監査係擔當員在廳半二 武出春二△製圖係主任五口入七 本出納係主任川口芳遠△豫寫係 主任津川哲二△決寫係主任高木 德次△注文係主任高井恒期△倉 信房主任角田一雄△木材係主任 百方丑五郎△製齋品係主任高木

◇古城子採炭所◇

△庶務係主任山崎吉郎△乾伽保 主任安成貞雄△蒸餾係主任(象) 長谷川清治

主任』

○ 登 電 所◇

◇ 登 電 所◇

△ 庶務保主任物永省三 △ 電燈保
主任三橋重則 △ キンドガス 愛電
主任三橋重則 △ キンドガス 愛電
主任三橋重則 △ キンドガス 愛電

氣 課令

◇工事事務所◇ △庶務主任佐々木寶造△線路保 土水孫主任(雅)学木甫△建築係 土水孫主任(雅)学木甫△建築係

本計畫係擔當員竹中叫三、向井 選吳孫主任兒玉八郎本監查係擔 置員村田耕作、武田常吉 A測量 際主任山口武吉本龍鳳堅坑軒書 係主任山口武吉本龍鳳堅坑軒書

炭課◇

稲係主任野坂秀三△採砂保主任 七水間磯雄△操炭係主任平瀬四 十二△運轉係主任廣吉展雄△車

本文書係主任山田慶△人事係主任安東献二▲勞務係主任刊巴倉 市△統計係主任石山淳一△土地 一等主任(兼)大垣研△地方係主任 「中国」

任(雅)中鳥蒙吉△坑內係主任川 村元弘△工作係主任四田八三次 台煉炭保主任大澤廣三郎 ◇運輸事務所◇

く全部發表さ

◇庶務課◇

主任山本駒太郎 △庶務係主任林祥一△計

を係主任は十八日附を以て次の如 等規定決定につぎ注目されてゐた 等規定決定につぎ注目されてゐた

十八日決定發表さる

新分掌規定に依る 炭坑各係主任 順

日露戦史 | 本窓勘察器製兵事係佐藤直一氏は | 本窓勘を以て特に守備隊長初山喜 | 居住すると 大道運輸事務所長道嘉二次開発貨品を調査する管理 佐藤兵事係辭任

第氏の際言なる資源に依り「終さ版」と、同書は日常殿下の観波疾に部の原に於けるか神命観や本選謝が高級に動した。同書は日常殿が高級下の観光疾に部の原に於ける間が高級下の観光疾に部の原に於ける間が一般である。 汲費

して露兵はカルパト

軍

0

望戰洲

(16).....

戰術的清算

全局的の統帥

の極點と見なさるメリガーードウ 線に亘りて監領し、28に對霧侵入

を会公の大和の会 古代総は神代から第十一代主に天皇の中半れ、大和の総はその後第三十九代弘文天皇までの物語であるた。 一本の世界を記述して古事記と日本書記とによって書かれたものであるが、一本部の中学を記述して古事。 第五以上程度木村少舟である、第五以上程度木村少舟である。 第五以上程度木村少舟である。 第五以上程度木村少舟である。 第五以上程度木村少舟である。 第二以前の総のであるが、

▲日本國史物語(1)古代

マー新刊

は却つて赤露勢力を以て

~

推薦讀物

げい静かさが強って凝んであるば

「無の迷ひかしらん」
「無の迷ひかしらん」
それでも由良子は不安さらに慰察の順を離れた。一臓部屋の隅々を検めて諮もみな、事を確めない
と、彼女の不安は去らないのだ。

自分がやらうとしてゐる事の恐ろっさすがに女の身である。彼女は今

か、蛭田樹事その人ではないか。あれ、いつの間に忍びこんだった。

好意を謝す

教専調査會で發表

外蒙共和國が赤躍の援助の外蒙共和國が赤躍の援助の

を興識して止まざるのみならず、 を要望して止まざるのみならず、 のは、一般である研究と整質なるととは、彼等は邦人ののは、一般である研究と整質なるとが、一般である研究とを要望して止まざるのみならず、 を要望して止まざるのみならず、 を要望して止まざるのみならず、 を要望して止まざるのみならず、 を要望して止まざるのみならず、 を要望して止まざるのみならず、 を要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望してた。 とここ、一般にいるべき。 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず、 をを要望して上まざるのみならず。 をを要望して上まできる。

柳町HK生へ 保・一頭御服會になっては如何か と思ひます、常方では一寸判明し と思ひます。常方では一寸判明し ・

花子――その上にデリノ〜と曲良 それで花子の命は天外にとんで了。

あ所、故に暫く祭農政府の政策に 関より現在の國力及動力が難外 防に無力なるは彼等の既に知識す がに無力なるは彼等の既に知識す ▲ 名人物語 善國古來の廖 「大学天特信」第二十回放專兒童職 「大学天特信」第二十回放專兒童職 「大学天特信」第二十回放專兒童職 住一盛島角房氏の起稿にかゝ一記者附記 本稿は現在張河口在 兒童

書会用等非馬一良 是日仁平世 書会用等非馬一良 是日仁平世 書物版獎幀中(青葉書房發行價 一面八十錢) 下氏原著を編譯したもので修身 道徳を「かくすべし」かくせざるべからず」といふ風に張制せ るべからず」といふ風に張制せ で本來持つてゐる所の人間の本 能の勝等に對し、よき方面への 能の勝等に對し、よき方面への 能の勝等に對し、よき方面への 能の勝等に對し、よき方面への を響げた極めて面白い贈物であ る、一、二年用、三、四年用・ 五、六年用、本地正耀著(四六 版裝幀中金の星社設行價各九十 後) 対師論金工、書家、置家、時繪 対師論金工、書家、置家、氏 等家の中から名人大家と云はれ 等家の中から名人大家と云はれ 等家の中から名人大家と云はれ 等の田等を面白く傳へるため に書かれたものである、中、高 に書かれたものである、中、高 のである、中、高

本理度小出正吾著(装幀中婦人之友此幾行價九十五錢) ○大文此後行價九十五錢) 本書学 一年上 お 話入主集 記述せられたお話六十題、材料 に高い世界への誘導に力めた點 に高い世界への誘導に力めた點 に高い世界への誘導に力めた點 に高い世界への誘導に力めた點 に高い世界への誘導に力めた點 を愉快とする、無邪氣な清らか を愉快とする、無邪氣な清らか を愉快とする、無邪氣な清らか を愉快とする、無邪氣な清らか を愉快とする、無邪氣な清らか を愉快とする、無邪氣な清らか を愉快とする、無邪氣な清らか を愉快とする、無邪氣な清らか を愉快とする、無邪氣な清らか を愉快とする、見霊の なの姿に描かれてゐる、見電の なの姿に描かれてゐる、見電の なの姿に描かれてゐる、見電の なの姿に描かれてゐる、見電の なの姿に描かれてゐる、見電の なの姿に描かれてゐる、見電の は事件本位で神話風に、後半及び二年用の前半は事件本位で神話風に、後半及び二年用の前半は人物本位で面白く響かれてある、二年用後半ち再び事件中心に復歸してゐる管單な排畵のあること」名詞を大字で現はした點など紙塚年用として相常意が用ゐられてあるとして相常意が用ゐられてあるとして相常意が用ゐられてある。 二年用後中太字で現はした點など紙塚年用として相常意が用ゐられてある。 一座八股装幀中女数響院競行價各層不可以上に特にお薦めしない、複範兄童文庫刊行會編(四六股装幀中女数響院競行價各層的工作機) ▲尋一、二年のゑばな ★フアブル昆虫記(六条内田傅一郎)不思議なことに 条内田傅一郎)不思議なことに を内田傅一郎)不思議なことに で最もその で最もその

(虫は夫婦でする勇踊

迷ひだつたのだ。彼女はそれでも 屋の中にはゐない。やつばり無の 屋の中にはゐない。やつばり無の

からした最後の瞬間に於て、假令ない急に不申斐なく思はれて來た。

「畜生!」 見つめてゐた。

げかけた。それには遺の蛭田紋等にないに由良子の唇から口惜した焼

▲フアブル昆虫物語ファブルの小傳昆虫部中より六種アブルの小傳昆虫部中より六種の昆虫についての記述を物語風によく書かれてある、ファブル科學知識養主、共によいものであるが語風を集としている。ファブルの小傳昆虫部中より大種の見虫についての記述を物語風を集といる。

機立てム、先種送の狂暴さを職つ は、こつきの事が、彼女の神經を し、 さつきの事が、彼女の神經を が、 さつきの事が、彼女の神經を

関き起った。 ・ 関き起った。 ・ では、 、 で 度子は飛鳥のやうに窓から跳び出 しまやうに動けない。 その際に由 しまやうに動けない。 その際に由

日下**齒科**

の最後だよ」

死の人形だった。ヒヒヒヒ!物度に吹ったものは、あの恐ろしい振返つた。と、その途艦、彼女の

伊勢町順鈴木県服店隣から街はいり下さい 口變更

を失ひ、慢性の盲腸炎に苦しした。 を失ひ、慢性の盲腸炎に苦しした。 がに耳破の不安ある人は、即時 がに耳破の不安ある人は、即時 がに耳破の不安ある人は、即時 に単線を取りして根本の病毒を には、ない。

はこの盲腸場です、疑惑して はこの盲腸場です、疑惑して はこの盲腸場です、疑惑して

液外四十五銭 一週 六圓 十二週 会料十二週 六圓十二週 会料十

沿線各 地著名 薬店に有

練發賣元

ないんですか」ないんですか。由良子はまるで氣抜けしたや 「お嬢さん、どうし 「お嬢さん、どうしましたね

日二日三日と累積され胃臓を取りてその薬がはのむに従って一りてその薬がはのむに従って一りてその薬がはのむに従って一切にある。 れたる肉血は殖へ受養は程なくれたる肉血は殖へ受養は程なく

國到處藥店にあり

蓝宜川合井新達 盛宜川合井新洋 堂 堂大延 堂行

四三六七番

靈山堂

東京市麻布區霞町廿一番地

店賣販約特素生長

盲腸炎の内服藥

切らずに治療の効績をあぐ

てゐたのがいけなかった。

なかつた。左の一なかった。左の

な女の一人や二人とたかをく

製薬の上に納りつけられた春 4 伊藤幾久造 正史 亂步 (116)畵

(四)

た 蒙の

(完)

以内のこと 対関行数五十十 を目的とす

高い。

家主さん方へ

生

桔梗町の下水

ででは、それは誰が見ても物凄いものに強いると浮んである蒼白い人形の顔――と浮んである蒼白い人形の顔―― つてゐる彼女は、一層その物趣

棘主

「ヒヒヒヒヒー」と人形の口からながもれる。 その途職、突然ドサッといふ物 音がして人形がさつと由良子の方 簡が殆ど摺れく に離れて行つた 時由良子は思はず「キャッ」と喊 を腕に感じるのは無理はなかつ 一
歌だ
其處
に
るるの

学の職が部屋の一隅に湧き趣つた。 一切かを含んだやうな低い陰氣な笑。 のとして邊りを見頭す。 離もみない。 部屋の中には依然として戻り。

胃カタル 過多症

育アトニー

カタ

民生素は精力・脳力・性欲!心身の栄養 性權の確保、夫婦愛の天糧なり 男女一般・神經衰弱、精神過勞、勞力過度、腦力減退、肩腰の屢り痛 別力衰退、慢性度腦病、慢性便砌、膀胱炎、白米病脚氣、盗済 資血、過勞發嗽、黃膽、アルコール中毒、鉛毒、モルヒネ中毒、腺病 資血、過勞發嗽、黃膽、アルコール中毒、鉛毒、モルヒネ中毒、腺病 原性皮膚病、傷頭痛、肝臓硬化、腎臓炎、角根毒弱者、慢性 無病、慢性皮膚病、傷頭痛、肝臓硬化、腎臓炎、自療の屢り痛 心症、動脈硬化、半身不髓、外傷出血等の衰弱者 心症、動脈硬化、半身不髓、外傷出血等の衰弱者 心症、動脈硬化、半身不髓、外傷出血等の衰弱者

筋肉の

J

胸咽喉の痛

過いののなり

便定 工十錢 工十錢

一 国 所の際島 金属到る

藥秘法秘朝清 劑壯强養滋

朝服んで晩の氣分

本所に毛の無人又は港 電話でメデカル般は宏れと響て申込は詳細書本 大分野東闽東帯安設れと響て申込は詳細書本 大分野東闽東帯安設れと響て申込は詳細書本 大分野東闽東帯安設れと響で申込は詳細書本 大分野東闽東帯安設れと響で申込は詳細書本

12

振替東京四六〇七

の健康と幸福のため 避暑地へお出かけの際、 を感じた時、即席の存置として 常に受象 みを感じた時、即席の存置として 常に受象 ができたが、できたが、一番に受象 を関する。 は周到な用意として、ゼヒ『妙布』の一句を 旅行鞄にお忘れなく 肩の 神經済

コリを和

成分によって表裏相呼應して病原を一掃すって回復を隠るは木に膿りて魚を求むるの

動にはゼヒ『妙布』の一句を衛用意下さい 一覧は旅行シーズン 選着季節! 滅水浴に山 夏は旅行シーズン 選着季節! 滅水浴に山 をお忘れなく 妙布の御用

の伯母様の動き先である山内勝誠の伯母様の動き先であるが、當地の自母様の動き先であるが、當地の自母が

五月さんが女學校に入學してから習い始めた琴が日が選いにも ち習い始めた琴が日が選いにも 大才に悪まれて忽ち上華し學校

の世には珍しい純日本婦人の特長木五月さんは現代のモダンばやり

▽本春△ 瀬生高女卒業の胃

伯父機、伯母親と三人暮しである 氏一家に子が無いので弱収られて

青木五月さん

になってから女中と指合がつかなこの人に変好のことをさせるやう

母さまの話。

医的なお嬢さんである。 を対するのは好きです」と頗る家

さらである「學校でトリースをといますが主人が又翻修でして、トースをとうでも、「學校でトリースをとして、トースをとして、トースをといますが主人が又翻修でして、トースをといった様でといますよ」と自じないますよ」と自じないますよ」と自じないますようと自じないますようと自じないますようと自じないますようと自じないますようと自じないます。

家事へ とお無縁は好きで

「お琴など一番好きなものです」と聞けば

▼五月△ さんの手先は常人

るで手先が器用な静機だならだ

開雅なお嬢さん

趣味も琴やお裁縫

日本式に育てられた

番地の御宅に訪ねてみる。

趣味の今嬢は訪

I ね

: 完:

「御琴と申しましてもほんの値智のません」と吃驚の態である。 奥のませんので迚も御話しにもなりません」と吃驚の態である。 奥のません」と吃驚の態である。 奥のません」と吃驚の態である。 奥の

例の紳士が例の如く云つて館を出した。

「失禮ですがあなたは僕の奥さんではありませんか」

一切の物を出した後で平にかきな CLUBで理髪俱樂部なのである。床の凸凹はよくない、之は地 からBC 俱樂部といふのが出来てる。床の凸凹はよくない、之は地 からBC 俱樂部といふのが出来て

理化と理髪クラブ」の小黒板をぶ、改きの南側の一室に理髪の用具一

れた『寫真はBC俱樂部で理髪を

やつてゐるところ』

婦人は聞き返した、其の時

「長い汽車の旅でさぞお疲れで」 「ナアニ奉天からですから」

味に入る五分前位に出入口を開い で、 ・、が間心融なら断金で工夫したり いが間心融なら断金で工夫したり ジャガイモを線者立にして夜通し といが間である。

の類は今津郷収粉を床

て家中で蚊取紗香を十分たいて、ではキャムプの味がない、そこではなでは既る前に天幕のタレを下しな達は既る前に天幕のタレを下し

多いが之は左して心脈はないの蚊を恐れる者が

た、と同時に今までトン風に見えた緋土の圖々しいやり口が優めではないかと思った、錯騭にしても夢にしてもトン吉は嬉しかつ

て賢明な近代的スピード求婚法に思へた。

飲食せの事などを擧げたいの飲食せの事などを擧げたいの飲味時と起床時の骰守、就床前に就成時と起床時の骰守、就床前に

でござります」とあつさり言つたのでトン吉は配食らつた、錯覧

その婦人は慥にトン吉の細君ではなかった、それが「はい左様

めた事ではない。

づ十分眠らせるには、

生徒の理髪屋さんが

チョッキ

大連二中のBC俱樂部

きは中々うまいものだ、消毒器も

業?時間は畫食後の休憩時間と遊あれば、洗頭用の水槽もある。 營

二十六名の有志、チョッキン、

理髪屋

日

僕の奥さんや

汝 胡 E

以

甘いものを お食べなさ

砂糖は疲勞を恢復する

がそれまではこの木に鳥がをりま

してな。工事費が… 「今年の六月です、

わしの競議で

「あのサイレンは何時作りまし

「それがいけないのです、

野

郞

市長さんはぢつと考へ込んでし がおかけたのです」

しては御先祖に申し쀟がない。さまひました。何しろこの木を枯ら

外交 員募集年齡不問

算盤の御用命は

連紙 酸學元 拓茂洋行紙店 酸學に家庭向德用の生漉

印書 邦文タ

白帆 応即に限る

印書 熊紫タイ

此印に限る

名刺電話八五九八番

さんにはサイレンを取りはづす事 のもをしい事だっしかし結局市長りとて折角作ったサイレンを取る

り島は害蝎を喰べます、鳥がをらて逃げ出したのです。御承知の通

イレンの音で鳥が居た

他州公園一四一

四三藤下修繕垣である。四三藤下修繕垣で

實印の

樹

(四)

話

したらうし

ました、近野一羽も

福手も再びやとはれる機になりま まくなりました。又一方哀れな老 よくなりました。又一方哀れな老

古本 御拂下の節は何卒領用命 安排 である は大連案内社に限る 大暴騰は不正直屋の欺瞞 して頂きます 大暴騰は不正直屋の欺瞞 して頂きます

タイプ

た(終り)

くぶつて、

ぬけて

かけ出せば

徹夜する學生は

するため八名の學生を で疲勞と食物の関係 では小民生及 砂塊の 関係

糖分を含有

ながら答へました。

なくなつて來るのできよとんとし をらないので靜かになつて喜んで

させ、一定の食物一定の運動を興選び三週間に亘つて同じ家に住居 學生は大した困難もなく徹夜を行 士の談によると始めの土曜日には、戦したが、實験主任レイアード博 版を命じて疲勞狀態を詳細に實 夜をあかし、翌日の正午少し前に 一空のでは、野生は騒々チョコ との徹夜では、野生は騒々チョコ との徹夜では、野生は騒々チョコ との徹夜では、野生は騒々チョコ とので、翌日 かを興へられてめたもので、翌日 十三時間の睡眠をとつたが疲弊の 注意力の集中程度は前回の實驗のはこの夜も勉強を課せられたが、 にも徹夜したが、この徹夜には糖 かつた。墜生等は次の週の土曜日 かった。墜生等は次の週の土曜日 は前の實験の時より更に二個五分級野の度が越だしかった。前回の實験をの理解とされた。前回の土曜日の後をの實験は糖分を更に出來且つ近等の條便も早れつた。之等の實験があた。

と良いと説いてゐる勞働能率研究 含有した食物を間食として與へる 必要があために勢働者に糖分を

に特に注意しなければならぬ事はよる事で一概には言へない。最後よる事で一概には言へない。最後

の結果話し過ぎる事があるが之はの結果話し過ぎる事があるが之は

長いはし

した食物が…

徹夜を命じて

それからトランプだの

時の如く行かず

翌日の日曜

西洋將棋な

に至って睡眠を興へ起床した時に

ぐつすり眠れ

キャンプの仕方 丰 ヤ ン 大連少年團主事 阿左見福馬 プと健康 家もある。

終ってから二、三日腫り緩けると 終ってから二、三日腫り緩けを で翌日の活動を妨げ、或は勝鹜を で翌日の活動を妨げ、或は勝鹜を で翌日の活動を妨げ、或は勝鹜を 云ふ様な事をやる。之は決して質終つてから二、三日睡り續けると は、(総しい、満洲の様に夜明に急い、 自信のない私は一部しか開かない 自信のない私は一部しか開かない ととにしてゐるが、平素小窓を開いたする。 とにしてゐるが、平素小窓を開いたするが、 で素小窓を開いたするが、 で素小窓を開いた。 は け が し で十一月 末まで 一 温も 風 雅 と け が し で 十一月 末まで 一 温も 風 雅 と け が し で 十一月 末まで 一 温も 風 雅 と け が し で 十一月 末まで 一 温も 風 雅 と け が し で 十一月 末まで 一 温も 風 雅 と け が し で 十一月 末まで 一 温も 風 雅 と け が し で 十一月 末まで 一 温も 風 雅 と か に やられなかった 経 動 も ある、だ

船がよぶ ふねが呼ぶ

波止場はとばからぼう、ぼう、ぼう、ぼう 謡 のらぬ、のらんかと

ふかい海 はしの上

ぼう、ぼう、ばうと たがいサンバシ ふねが呼ぶ

沼田冬子

赤とりるいなり神社の

解験の有無は、翌日の講評の材料 にまればならない事だ。就製後の はまればならない事だ。就製後の とするのである。 からくころと

ない ラみ ぎんぎら

大中 ・ 数名人用十七八才より二 ・ 数名人用十七八才より二 ・ 数名人用十七八才より二 ・ 数名人用十七八才より二 ・ 数名人用十七八才より二 ・ 数名人用十七八才より二

小司芳融金

金 御用の方は御来談を 御用の方は御来談を 御用の方は御来談を 世 龍 社 中華社 電話七八八一番 中華社 電話七八八一番

著有質糊は大連案内社に限る 構無談で名變する不正直 不正直

力劍

金属 中込所能登町親和公司内 中込所能登町親和公司内

若陝町 一

吉田電五〇一三

三番地の五 水島電ニー六七八三番地の五 水島電ニー六七八

まだとほい

北側電四三〇八英・第一倉 邦文 タイピスト短期養成

中で自ら進んで奉仕しやうといふ さんは同校生徒の 求店

電話外 工三七番

大獲身重人の 休 中乳 なら大正牧場 伊勢町 電話七七七二番 九四八四番 15人八五番 15人一五番 15人一五五 牛乳 牛乳 バタークリー

(大黒町) 一六 宮 坂大黒町 一六 宮 坂大黒町 一六 宮 坂 大黒町 一六 宮 坂 壽司

薬及治療

電話七八九三番へ

歌されるまでに至らないが 歌されるまでに至らないが

純益が

あがるやうになつ

は試験期になると体業をする、一 課後四時半まで、此の理髪屋さん

産事 楽はヒシカワ際同

比須町一番地電車停留場前吉川ふよ

電話三〇四九番

浪速町五丁目二〇一番地

東京 山城町二部築スチム水便賀四三週より五〇圓電六四七七世賀四三週より五〇圓電六四七七七十八、六、下水、五、六、六、下、大、五、四、電話四二六四七七週 電話四二六四

から奉仕者に難して影野館が開かたら校友館の基本金に繰入れるのたら校友館の基本金に繰入れるのたら校友館の基本金に繰入れるのたら校友館の基本金に繰入れるのたら校友館の基本金に繰入れるの

ト宿 場所架總衡開静な室家族 下宿 高級開静浴室食堂其他完 額 下 守 架總衡一丁目一九 欄 下 守 架總衡一丁目一九 欄 下 守 **宇濃町役貯炭場前聰雨館電売え** 合百事吟機永滯在倫勉强 の割 クサ

にもすなほなお嬢さんである。 化粧に身装ひもきちんとした如何

格な家庭である。

なかく酸

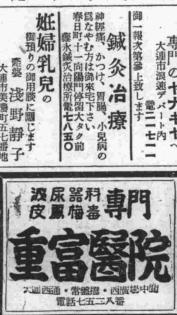
チチ 勘場隣根本鑑同電七八六二 効築有ます 療治御望みの方は

持田順天堂 電話三二〇九番 対離總層府官製 モミ大連市 大連二葉町六〇 病ハリキュウ 電話四六九二番

資衣 婆 婚帳用 日 選明 さかひや電五四三七 古 演具高價質入 がひまで電子四三七

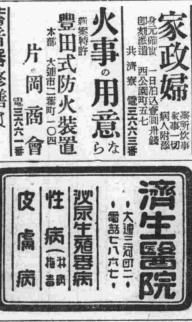
通勤家政婦 (塚本山) | 日一圓 (塚本山) | 日一圓 ||洋脈類舊發 大連正隆銀行裏通

大連市高野町二五 性病。數學不再 野中醫院





電話入二〇三番



事實特計◆東京理學療院◆創製事實特計◆東京理學療院◆創製



・ 展
清河島
・ シン
・ 新古賢賞
・ 交換

お

(男女研究生)、二名採用) (男女研究生)、二名採用) (男女研究生)、二名採用) (男女研究生)、二名採用) (男女研究生)、二名採用) (男女研究生)、二名採用) (男女研究生) (別女生) (別女

を合い、 する では、 は、 する では、 する ではない はいまない

門札

康

迎大マ ツサージ院 電話六六〇六番

1ピンと水筒

古野町六 名古屋館電六三一一 整一層便利但價格は勉强 と 名 在 社姓 名 在 社 小兒 愛兒家(蓋)けました 登兒家(蓋)けました 名 在 社 の御用命は 大連一の老舗 電三九五 小寺薬局 大連伯馬町西広場上ル

米國職人著習器破格賣出米國職人著習器破格賣出人連常盤權筋四通角人連常盤權筋四通角 ヮ精工含

日本タイプライター印書 一本タイプライター印書 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 電話七八丘七番 ホネッギ 門事



ヴイタミンBの世界的始祖

(2) 人工榮養兒、特 穀粉築養兒榮養障碍の治療と豫防に (3) 姙婦の禁養を助け惡阻を輕減若くは防止し便秘を去 るに極めて適切なるを知らる

粉末、錠劑、液劑、越幾斯劑、注射液の各種あり 類似品多數ありオリザニンご指定を要す



(實驗報告集進星)

も綺麗さいふ方も少くない。 がそれはあながち六かし だがそれはあながち六かし

それは何によるか?化粧用

指ヌケして 綺麗なの 素顔がすつき

有名なも

洞河

綺麗にする

日

のですが、

偖てまだ思ふやう 誰もが望む所のも

含鉛白粉

中毒は夏に

着色してある

玩具にも用心

にならない方もあ

日初を落した時の素顔を見る

こ直ぐに分る

よいもの、

からなっていていないというないないないないないないのであることのなるとなるとなるないないないないない



粧品も

國産品がます 舶來品 かはる婦人 か ら國産品

に呼應して、その徹底普及こ 既に政府の國産愛用の奨励

夏現をはかるための國民的機

月一日から質施された商工省 の他の有志の發起で設立され ようごしてをり、またこの六 固産品愛用 會 議士そ

の産業合理局でも、國産愛用 家が實業 家が達してゐる るませんでした。果然化粧品 うになつたのです。 ごし | 國産品を愛用するや … 三従來思つてるた人々が、 も関産品が益々優勢を加へて 日本の進歩した化粧品製造

る等、斯ういふ時代の勢の の あここにな 前には婦人方も覺醒せずには では、こりもけら色美顔水やせん。こりもけら色美顔水なぎで知られてるる「美顔」の發質元、れてゐる「美顔」の發質元、れてゐる「美顔」の發質元、れてゐる「美顔」の發質元、れてゐる「美顔」の發質元、 るます。 科學的水準は 今では旣に

をよくし、肌理を細かにし、 皮膚の生氣を増し、垢みケし て美しくなる有名な科學的優 立つ化粧品が、本來の品質に斯うした科學的研究の上に

上造家の 流の数 日本 婦

優勢を促して來たのです。 うに、次第に國産化粧品の

份)は非常に微量ではあるが 「母親のつけた白粉(含鉛白 母体の皮膚 ら吸收 乳の中 されて へ出て

量の鉛を食ふ事こなる。尚ほ子供は遂に積り積つて可成多 肌著につき、肌着についた白に暑い時分には汗に流されて が含鉛の白粉であれば)ここが多い。こんな場合は(それ 日本の婦人は多く頸から胸の日本の婦人は多く頸から胸の 上半部にかけて

りも造かによくりも造かによく 八方が多い は勿論で、殊に歐米の人々を於て舶來品に譲る所のない事

了解されて來た結果、前記のでするというでは、 の肌に合ふ 点に至 つては

無鉛の固様ですこ夏は殊に鉛分のある固様ですこ夏は殊に鉛分のない極く優良なに繋がめるですから、 で、然になり易いものですから、 で、ない。 で、こ夏は殊に鉛分のない極く優良なで、然うい にきび

む際になめて子供の体内に這切際になめて子供の体内に這 しい事でもありません。 が、これを治すのは然う六かが、これを治すのは然うさかが、これを治すのは然う六か

は「にきびこり美顔水」を常に便秘のあるやうな方は先づに便秘のあるやうな方は先づに便秘のあるやうな方は先づ

上品なこい化粧に

S

三十年來の定説 くさく

て一寸煉る掌の感じ、それ に氣持よく洗へます。先づ強 くない根やかな香、水を加へ 美顔洗粉で顔を洗ふ三大變

に氣持のよい洗顔料です。

▲色の白くない方の白粉

肌户

一美顔水

- 年ばいの方にも-

絶對に顔の荒れな

愉快に顔が 朝の氣縛は 一日の氣袴 <u>~</u>る こして、わるくギシつかず、 るこ、やわくこ、すべく な、純良な中性脂肪で蛋白質 何こもいへぬよい氣持がしま 終へてから顔の腐に觸つてみ こを含み、 美顔洗粉は美容上に有効

入るここもある。 夏に本病が といふ 事は夏 は白粉 も随分含鉛量の多い存電なも 「高價な舶來の水白粉の中に 「高價な舶來の水白粉の中に が、大人にでも又有者である

此樂が非常によく効くごい

です。正味本當に効けばこそです。正味本當に効けばこそ

でもその定説があるのです 分でなかつた方も此樂では端

肌色美顔粉白

粉:

脂肪性の方年ばいの方にも

◆態こらしい白きでなく

◆そして落門きがあり… ◆生れつを色が白い様な ◇脂肪のわる党を消し…

◇立派なお化粧が成ます

◆品があつて表味しい…

く皮膚から吸收されて乳に溶いて野が溶け易くなつて多いでいここ、及び汗に 比べて多いここ、そうして汗 比べて多いここ、そうして汗る度が凉しい時分寒い時分に するここ、其他子供に直 のもある…白粉等は ずつと良い 日本品の方が

美顔

人間に急激な傳播

熟心に持て囃される

肌色の水白粉と

おら安心して使つてよい。 で、含鉛の顔料が塗つて色ご つてあるものがある。 …。こ尚ほ終の方に小見の の他有 粉類 シャか

て長々ご座りこんで化粧をす るこれはごうも質用的でも

鏡の前で種々なものを使つ

たぶつて

毒なものであるここは解つた別は乳見には非常に恐しい有 に子供の体が毒に對して抵抗 で、一般の体が毒に對して抵抗 で、一般の体が毒に對して抵抗 えり元に ゐる事等が其の を起して來る。ここ警戒してれをなめるこ恐るべき鉛中 に多くなつて來た方法 殊に平生の化粧ごして婦人間 氣味合だこいふ所から、此頃 なく又今の時代から言つても

▲後れてゐるやうな

くつきり水陰だつた頭化粧 婦人の姿態美に缺かされぬも のこか―― 夏の婦人の姿態美は

なく上品に美しい頸化粧用の 自粉ミしては、科學的優秀で 自粉ミしては、科學的優秀で かりさせるには、化粧用美顔 お勧め致します。尚白粉 け易い方なごが保ちを一層確 が、殊に優秀な化粧品になり 良いお化粧の出來るものです る化粧品ならば、品数少しで

水で溶いてお用ひになるに のです。 ますこ ▲只一品でも随分上

品な清楚なお化粧の出來るも そこで、白色美顔水を使つ

で顔を無でる氣持、さて洗ひ

水白粉ではなく、白粉の原料 普通の白粉を普通の化粧水や 水で溶いたやうな蕁常一様の 一口に水白粉ミは言つても、

白色美顔水や肌色美顔水は

勢なく美しくさせるのか?

滴を一寸堂でつけるだけで清 て、お化粧下なしに、たゞ數 脂肪性の方また少し年ばいの 新なお化粧をする。また 方は肌色美顔水で右三同じや ▲色の白くない方、 からして、特に ▲科學的方法しる

この仕方が盛んに用ひられま 味豊なかお化粧をしておく・・ うな至つて簡單な仕方で自然

元来科學的に深い研究のあ

では何がお化粧をそんなに

▲化粧水を兼ねた類の無い白粉

に最も適した原料を製造し、 生氣を長く保たせる一を完成した胸の榮養ごなりまた皮膚の ある美容成分一荒れを防ぎ、 されてゐるーにより、水白粉 研究には實に多大な心力が盡 一方また皮膚の整美に特に力 の一流製造家のそれに譲る所 なきものこして知られてるま

粧力の優れた白粉ミを土台に によるからで、この点では桃 も飽くまで厳密な科學的方法 し、そして製造の工程の一々 し、此の美容成分三前記の化

肌色の粉白粉

實用的で 現代的との評

たが一種で綺麗に

日本人は一たいに皮膚に黄

來たのも婦人間に然ういふこ 立つて目につきます、近頃肌 立つて目につきます、近頃肌 人でも真白な白粉ではごうか色味があり、色の白いこいふ 白粉ミなるさ白さがしつくり殊に色の白くない方に真白な するご不自然に見わますが、 こせず鼠色になつたりし、

科學的製品で、本常に具合の來た爲めで、わけても厳密な 段々問題となって

手早く上品に

来る化粧の出

やかな白さを好む人々に適切。 な水白粉で、色の白くない方、 おばいの方、 設 で、從來真白な白粉では思ふ 氣ものになつてるます よい肌色白粉ミしては、 美顔水ご肌色美顔粉白粉が人 肌色美顔水は科學的な情新 うに出來なかつた人々に、

品なお化粧美を現はし生地まで

一寸階けるだけで活々こしたよ

垢ヌケのする類のない。 ***

水白粉!

粉は見た所輕い肌色味があり

脂肪のわる光もかくれ、 ・ に用の故に、色の黒いのも、 ・ ・ が出來るのです。これらの白非常に具合よく美しいお化粧 て行くこ、その微妙な肌色のますが、さてそれを顔へ持つ 白い

かるく白くなく

白いやうな白さに附く、その 自然のやうな、生れつき色の

粉化粧用、化粧直し用、仕上 け用こいふ風にいろく~に用 ひられます。因に、肌色美顔 水も肌色美顔粉白粉も、量に 水も肌色美顔粉白粉も、量に ル色美顔粉白粉は、化粧作く理想的ごいはれます。 く理想的ごいはれます。 ・ それが粉白粉であるだけに、 川は肌色美額水ミ同じで、 で、唯作

肌色の力が一そう適合する事 い方や脂肪性の方は肌色美顔 も御随意ですが、色の白くな方は「白色」でも「肌色」で 水の方が一そう綺麗にお化粧 一注意の点一は色の白い さいふ風で、科學的研究の最 がい立派なものご言はれ、婦 ない立派なものご言はれ、婦 ない立派なものご言はれ、婦 別の原料ごして製造 肌色の白粉に適するやうな特 土台の原料から

粉 717

桃谷化粧品研究所創製

細かいよごれを去り、皮膚を をよく拭くのですが、地肌の をよく拭くのですが、地肌の をよく拭くのですが、地肌の

でその上を繰く押へます。

時は次のやうな仕方が旅行つもある、こいふわけで外出の

あの所を二三度刷毛で附けます。一度附りたら牡丹刷毛で では、大海ので

水か肌色美額水にして、淡い

てゐるのですが、

たらその上からまた附ける。

押へて自粉を落附かせ。乾い

落ち易くまた日に続ける心配 には場る浴び汗も出、自動が

白いやうな白さに附くので評判の白粉ーな常に上品で美しい。生れつき生地から本常に上品で美しい。生れつき生地から

▲上品なえり化粧に

▲生れつき色が白いやうな白さに…

▲落めいた美しいお化粧が出來ます

此仕方 づ美顔クリー 仕上げは粉白粉ですが、 粉白粉ですが、先

外出時の

日焼も防げる

引しめ、白粉を附き易くする と言ふので 粉一は白色美顔 ぎにもよいこいふので流行つ 輕く押へておいてから、粉白 あり、保ちもよく、日焼の防っても 粉をパツフか粉刷毛で軽く押 へ氣味にして刷きます。 く雨常にのばして白粉の上 この仕方は非常に綺麗で

標化粧こそ質に水際立つた美しさですー請らかな白さ活々こした夢!この自然の

美頭

化粧・気を入れて綺麗に。殊

のです。

白

▲自粉のト

る肌色味を加へたミいふばか

東海道地方を荒す

東海道本線與津江尻間遂に不通

列車は折返し運轉

八暴風

雨東

進み

で二百名の工夫がめ死となっては降雨期だしく増水しつ」ある

間に土砂線質あり線路埋没せるも間に土砂線質あり線路埋没せるも

の他各列車とも停車し開通を待つ

間の魔原川鋼機附近は今

庵原川汎濫

興津附近で

土砂崩潰

は取り酸ず指送し運転をなりまでは開通の見込みなく各

すでに島は三盛間近にあり例へ終っているのであった斯くしてまた一版の大塚あっても到底被すことは「かった斯くしてまた一版」を加へ火に油とい

本可能であった斯くしてまた一點を加へ火に油をそってが如く法職をを加へ火に油をそってが如く法職

始

壓迫

車 ※一回吉野遊越戦がに出で芥田の とも二弦を全て、死す、第二回裏。 とも二弦を全て、死す、第二回裏。 お様な網トンネルし久保三雅す、 一紀後島四縁に出で藤井の右飛後 で二定者を選らす、續く第二国裏 が田に一ボール後直線をたゝかれ が田に一ボール後直線をたゝかれ を検験を関係で出し 中飛で帯く波瀾止む見るものアレに思投して島藤井を選らし若林の

打戦よく何事かあらんと期待されたが僅かに一點を得たのみ 第八回連役のお桃館く疲 八囘の波瀾

日 に中井を出した第七回山口の P 総に第八回第三回目の波瀾を生む で、第八回第三回目の波瀾を生む で、第八回第三回目の波瀾を生む で、第八回第三回目の波瀾を生む で、第八回第三回目の波瀾を生む で、第八回第三回目の波瀾を生む で、第八回第三回目の波瀾を生む で、第八回第二回車の B 本の で、本 の 1 6 A 計 5 を 1 6 A 計 5 およは お木に交る、鈴木文代ると頂ちに PH和田に遊越単打を倣たれ鈴田 を四様に出して窓に四監を繋ぶ、 かくして勝地十跳五で終るであら たと想像されしに第七回山口のP の球を二曇手三曇に高投して島 中間右飛し上條の三側に疋田と け岡右飛し上條の三側に疋田と け数へ法政若林左前テキサスし け数へ法政若林左前テキサスし

個再び音野に変左覧打の二本を詫 手を連控手さす母投は聡明康の定 まらざる内に音野の遊憩電打と大 まらざる内に音野の遊憩電打と大 な通控手さす母投は聡明康の定

へる、安打三本で六點、但しこ。 藤枝を大概へ代へ大概を山口に

六甌である、若林先づ左前テキに四球二州球二凡失二を加へる

す、この回洗軍登場人物十名諸俱2000年の東西の第四回裏を加へすでに大勢決

本第二回 ※第於別田遊越單打して久保、 整元於久保中四單打し若林の遊簡 トンネルで一零三進若林も二個 トンネルで一零三進若林の遊簡 トンネルで一零三進若林の遊簡 トンネルで一零三進若林の遊簡

相手の惡技に三進更にさたが芥田右飛 △法政府 高川四球巖井の右飛後自 高倶二死後吉野三衛昭

●第八回 祗俱(法政田坂退き倉 捕手となる)山口投電失音野遊 捕手となる)山口投電失音野遊 用グラウンドヒットで山口二龍 配力間に山口生選し音野芥田二 整手落して無死滿鄰疋田一匍で 整手落して無死滿鄰疋田一匍で 整手落して無死滿鄰疋田一匍で 整上隔の三匍で吉野生還芥田 三進上隔一二間皐打して芥田も 上環高須四球で上跌とおれ退き 田(緑川に代る)(法政若林退き 田(緑川に代る)(法政若林退き

本第六回 満倶吉野遊覧 おり

PH1114469976162385 編中 山大藤鈴時和緑高上片疋芥吉俱

試 合經過

二ポール後二遊間覧打に潜域堂るに致り中澤蛇管に何事か切望す、に致り中澤蛇管に何事か切望す、

十一法2 (久保、坂根、矢野、鈴木、 計 33 5 5 5 1 1 3 4 24 14 5 計 33 5 5 5 1 1 3 4 24 14 5

(茂) 工 藤枝(四回) 大橋(一回) 工與へし安打―若林(八回) す鈴木知(八回) す鈴木

現たい見せたい讀ませたい、新しい筆に描かれた養士際、『富士にい、新しい筆に描かれた養士際、『富士にて大評判、八月號の間十

佐伯博士婚禮

第九回 満倶吉野四球

全満選手が集り

クレー射撃大會

局送り

三井物産株式會社 二三井物産株式會社 二

流達人殺し

けふ湯崗子射場で開催

要サクで割は十九日傷害致や罪、の北民一乃流の差人を殺した日黒一四三二大人保隆之助の北民一乃流の差人を殺した日黒

被害は他縣に比し幾分輕微の極線的散化だが詳細の報告未證なるも時散んだが詳細の報告未證なるも 大分縣被害

長崎縣

慘澹たる被害

死者行方不明を出

川辺蔵し農作物全域で

發動機船沈沒

福岡の被害 『福岡十九日 東縣に巻した常樹に佐れば妃者十一名、貨傷者自名、館鑾家屋一千三百五十六、特徴一千二百五十、三百五十、特徴一千二百五十、 福岡の被害

(四回裏法政最初の得點)

到着した各警察の報告に依ると左
《長崎十九日製電通》縣保安課に

電佐賀十九日發電通』佐賀縣の死 一百戸餘り、特徴四十八、非住家留 一百戸餘り、特徴四十八、非住家留 一世校、平磯三陳、報飲船三十六、 一世校、中八四十八、非住家留 一大、電柱数知れず倒 一大、電子数百萬個に上ち

相州北下旗に向つたが同十一時半野下田港・一で深漠の爲め暗郷に東上げ船艦鎮二つに割れ二十八名の乗組蔵中船長代理近藤信作外十一名は沿岸艦民に敷助されたが他

佐賀縣被害

漁の為め十七日午後六時同港出帆 原津町田中金太郎所有愛動機船等 原津町田中金太郎所有愛動機船等

入□

非住家全價占二、

华潤五十

鹿兒島地

被害甚大

議録黒石礁水泳部では本シーズンにおける始めての水泳大會を響行 は來る二十七日に五哩、入月三日 に十哩を顰行し入月十三日には一 **滿鐵水泳部遠泳**

ふと、會資は一般十錢小人學生は 補镊水浴場で三海里の遠泳を行 なと、會資は一般十錢小人學生は 事件後報東顯覆

で長くつやをも 質価額中華二三定機

擧行の日割決定す をボールドが除かれ居りし営めで ある、同所は薬底高くカーブなり いまる、同所は薬底高くカーブなり のである。同所は薬底高くカーブなり

大選民政署管内各農業整では大選民政署長として神田純一氏の新進民政署長として神田純一氏の新から中央公園内保健浴場に於て慰 行ふと 農事團體懇談會

公學堂兒童の 體力を測定

今秋十月體研と共同

二十一日午後四時三十分より實業の決勝職はスケヂュールの關係上 デュール及び頑負都市野抗出物の り 野満倶決勝戰は勢慶應戰のスケリ 野満県決勝戰は勢慶應戰のスケ 法實決勝戰

沿線各地及市内の特約店を求む

数果あるのが其特徴であります 学者、しるこ 定價(1質)五十銭

十二名 味 〇日 米の胚芽よりの特徴にしてダイタミンBを開東電器買組合、満線消費組合、三越食料品部にありますから開東電器買組合、満線消費組合、三越食料品部にありますから是非満買上下さい。 満洲總發賣元れ

飲んで効く眼病薬 省のいい

午後五時死去致候問 追而難儀は本世日午後五時死去致候問 友人總代 規 規 總 代 男 同謹告仕候相叶 渡野佐桂小 **常安寺にて相替み申候** 市 通秀恕太太

日本 世 荷新 界各 いせりひし メ即い口席せ 東京風菓子謹製 地 . ん主吸 图 0 B 酒 類 東京佃島 **煮**一あみ。昆布 佃 **串刺あさり**貝 はせ。 食 しん 蛤 物 大山語 0 00

産

次回連載小說 仲木貞一氏作「海の唄」 は

哀れな兄島高徳

貧苦に惱やむ一家

恩賜慈惠査金から救ひの手 本紙朝刊通職、日活現代廳歌本から 畸面密同人が構成した「此の母を見よ」は清洲に於ける本紙朝刊通職、日活現代廳歌本から いたが 挿畵は春陽會の一木淳氏

一盗に死ぬ

【大分十七

第二、測定の時期 第二、測定の時期

黑石礁水泳大會

關係上中止されるやも知れぬ 夏稽古開始

特別のでいるので特に経際な総古を を消電及び早大競道電との試合を であるが今年は同志社 であるが今年は同志社 であるが今年は同志社 であるが今年は同志社 東公園町磷銀道場では例年通り七

二十日より二十六日まで 記移 常盤號が心齊橋へ進出

額

電話變更(二二二一〇番)に御用命願ます ◇―アルバム 原 價 提 供 ――破格見切品多數有り

連鎖街心齊橋通中央

四 七片

谷 電器ITAIIOII番

||日活現代劇臺本より

制度には新発型東方文は新発型の注射東方とから 出來な 本人で 本病の 検査

新發見の種々の手段

な

MATERIAL COL

を

見

大きな歴を思ひッきり唱んでみた。そんな程度では然し彼女の心が、何にか知ら

にグーンと心にじみ入るよっか便によごれた低い獨白が後子の切り

誰が殺したのだ!

罪本內 医女 会商グツラド田有 みたすらに優子の冷たい臓を描き に何んの心搏りも脳ゼザ……たい

役とあぐつて関心を描いてある数は、今初めて此の「出来率の主機は、今初めて此の「出来率の主

既に其の女は死ん

からも調まり返った此の悲しい

=

金は藁ふ。

落ちて行くような動けさである

似たりよつたりの途をおいて来た

A

あつた。

年

七

せしく思づまらせるかと思はれる すると其の塊りが彼女の常庭を狂 なと其の塊りが彼女の常庭を狂

歌歌は、かげつけられた千日の だ、人々は何時の間にか戦を奉ん だ、人々は何時の間にか戦を奉ん てるた、観然……と夜の歌歌が人 であた、観然……と夜の歌歌が人

) (大阪市役所必禁定率表(智易神港部

小太九洋行

爾奥様方に御注意

五

へればぞへる程度立たしいも

和昭

多の夜は冷たかつた。 だが、倭子の死骸を抱いてゐるだが、倭子の死骸を抱ると灯されてゐる。 なとが、漢に離れた彼女の鼈のなか。腰すんでゐる。

立上ると同時に、彼女は並居を 大々の間に向つて、もう一度叫ば

電質は入江たか子と離花久子』 と聞たましく戦つて来た。 散りかけた群衆を懸き分けて近 でで来る人の領域がした。

るがそんな療法はまだ野學界では認められて居ないのだかである。

「神蔵」が目に見にて滅じ臓が止まり痛みが取れる。これがである。

「神蔵」が目に見にて滅じ臓が止まり痛みが取れる。これができます。

「神蔵」が目に見にて滅じ臓が止まり痛みが取れる。これができます。

「神蔵」が目に見にて滅じ臓が止まり痛みが取れる。これができます。

「神蔵」が目に見にて滅じ臓が止まり痛みが取れる。これができます。

「神蔵」が目に見にて滅じ臓が止まり痛みが取れる。これができます。

「神蔵」が目に見にて滅じ臓が止まり痛みが取れる。これができます。

「神蔵」が目に見にて滅じ臓が止まり痛みが取れる。これができます。

「神蔵」が目に見にて滅じ臓が止まり痛みが取れる。これができます。

於光雅出來る

地も傷まず

ず

1

は、世

誰が殺したのだ?

千呂は卒然と立上った。

來たの

畸面

座

8 +

だが出級配は同じやうな途命で

ったい、だが世間にとつて「母親としてのは、だが世間にとつて「母親としての感染」としての感染としての感染と

千居は、 説 千呂は、熱かに、懐みある職場 の願い女の敵泣きが忍び者に傷つ 歌 歌

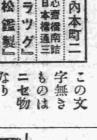
り、商内勢省衛生試験所等にて賞揚配票せられついる。 歌米隆科 大學病院

め始で本日 清 合 合 塩工薬製グツラド田膏

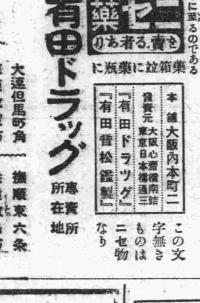


「はすのみならず病毒は子孫に遺傳し一家を破滅するに至るのである。」 ヨコネは切らずに、カンソ共他権害に原因する病気がに二朔三朔の重症にも服用直に効果顕るのである。 おお情報である いず病毒は子孫に遺傳し一家を破滅するに至るのである。

ニも字の この文 も りはき



『有田香松鑑製』 本 舖大阪內本町二



哈爾賓傳家旬 鉄嶺敷島町 四原新市街

高の

質

の味

でるた。
であた。
を開かな夜の間のなかで、人々の
を記さを展送してるた。
を記さを展送してるた。
を記さを展送してるた。
を記されば後子の死職を指いて

港日聯珠湧信戦(II)



社スタイル

もの数と

ユニオン

さわやかなかほりさかやかなかほり

製造元

タ尖が

發頭·惡 熱痛寒 | 館本三二一散効實 堂 然 天 岡 師 ₩=七=-京東野親下南韓田時京京 高励工業 日間車電車御符合せ中に御立寄り下き

野滿線代理店 信用トシテ最モ高評ナ

交通空便の地であります 教育玩具、文房具雜誌、圖書 常經橋電車停留所前 常語ハハ三八番 日舍

電路四七二・三四人二 土所

天津范溯航

壓 政 記 輪 船 上 帆

||阿波共同汽船 电新代表四一四一番 电新代表四一四一番

大阪商船縣試大連支店

■歐洲行 | 约ねん丸 合本日 李浦

||日本郵

世帜

ニッ矢サイダー **専ル**児科 温; 日本麥酒鑛泉株式會社 取級店 九 二 商票屬客荷 九 二 商 午前十一時一家天丸と 日本或會職大連出張所 ① 大連汽船 出帆 軍に八〇五〇番 大連紀伊町二七

数の要がある旨を

で使り日本も更に大时 の反射型山を説明し殊 の反射型山を説明し殊 が出し、ロシヤ又は からは、ロシヤ又は がある氏は

(-)

千圓荒り六千四百六十萬五千回のの五千七百九十八萬九千回 日ま

三三〇、二二四〇

東京十八日菱電通』十八日の開で戦和より報告された五年度各 常畿出節約額左の如し(單位園) 外務省 ユンビ、九五四 外務省 ユンビ、九五四 外の場合 ユンロー、〇七七

學生に

留庭

9

3

五、三七、九四四五、三七、九四四

となってある各植民地別現計を導

し(単位千圓)

各省別の

四一〇七四

二四〇、〇二〇二八、九七九

過五

百卅七萬圓

国の歳出際。 おか定例閣議において六千五十萬 の歳出際。 が変決にないて六千五十萬 の歳出際。 がな決定しこれを以て

タト東が間境を 大蔵省 二、八五九、三五二 大蔵省 二、八五九、三五二 大蔵省 二、八五九、三五二 海軍省 二、〇九五、九八四 一、二〇七五、九八四 で部省 二、三四三、〇二一 農林省 一、二〇七、五〇二 農林省 一、二〇七、五〇二 農林省 一、二〇七、五〇二 一、二〇七、五〇二 一、二〇七、五〇二 一、二〇七、五〇二 一、二〇七、五〇二 一、二〇七、五〇二 一、二〇七、五〇二 一、二〇七、二三五

する調査を行つてゐる

の學費の補助を受けて居た、ソレ

の日本留學生は三千名以上、

してあるが石節約額の内容につい 真菌の歳入戦略を補塡すべしたな 真菌の歳入戦略を補塡すべしたな

べしたな

右五年度歳川節約額の節減繰延別

補助して人材を養成し故國に還す日本に留殿する民國學生に懲費を

約二二十人 と爲り千人も減 に配も概要補明を受けて居るもの に配も概要補明を受けて居るもの は三百九十人中女壓生(高等師範 ををで素行調査に確衡があるとの

の繰延である、即ちこれを各省別萬圓に過ぎず三分の二は各種事業

経節 如

六〇、五一入、一三六

九〇〇

昭和五年医實行兼算節約癥額は二東京十九日發電通一統称省所管

が民國概生態がに対を入れ出金部取止めた、斯らした一個

及決々議案

米上院で否決されん

ので我幽當局も疑策に関心して

拓務省節約額

形容 はの 戦争 書 報 の 戦争 書 報 の 戦争 書 報 の 戦争 書 報

海軍側の意嚮

アクシットン十七日愛電通』アメ コナニ日に解釈の表決を行てんと する決議家を提出せんとしてゐる が多分これは否決されるものと見 られてゐるがこれが否決さるれば られてゐるがこれが否決さるれば かられてゐるがこれが否決さるれば

條約成立に一致

政府は前途を樂觀

決議案を抵出な

すべくこれは通過の

現計

て原給を分擴することで、施定經費節約は別に大騰省に、昭和六年度以降各時別會計に がは昭和五一

債計量については既定方針 事業は一切これを要求せ

總額六百六萬圓

くである(単位千圓) 本経常部 事務費 本殖時部 移起収容費 移起収容費 恩給負擔 三五七 Ξ

六七一〇

満洲醫大の管理

大連市では来る十一日(月曜日) 午前十時より市梁事舎を招楽した 中前十時より市梁事舎を招楽した 一、昭和五年度市税戸別割賦課に 一、昭和五年度市税戸別割賦課に 一、昭和五年度市税戸別割賦課に 一、昭和五年度市税戸別割賦課に 一、昭和五年度市税戸別割賦課に 一、昭和五年度市税戸別割財賦課に 一、市設山縣河市場倉庫増築の件 一、市設山縣河市場倉庫増築の件

腹はり、交通じ融き人、飲み過ぎ食ひ過ぎの人。 優性胃弱で顔色悪き人、腕やけ、生曜の出る人 底腹重く、食進まね人、空腹の時に腹の癖む人

新かる人に對して同活は最も顯著な効果 があります。一年を是非試みられよ

地方部移管問題を保留し

に騙し懸談試験を求める所あつた 長は十八日午前十時代東郷元館を 長は十八日午前十時代東郷元館を 東郷元館を 產業統制

新藤春總館に附続するに決し四時 たの成案を得これを決議として政 たの成案を得これを決議として政 たの成案を得これを決議として政 を開き産業統領につき協議の結果 を開き産業統領につき協議の結果 與黨政調會決議

で事業資なんかも目下建築中の 規事業たる原生を支那各地の病 規事業たる原生を支那各地の病 に派遣し解習を行はしめることは更に進めて鞭算を計上する とは更に進めて鞭算を計上する をは更に進めて鞭算を計上する で審議した案は評議員会にないて最後の うな障害が議員会にないて最後の が完全見ることになった、又新 かっる臨時評議員会において最後の を確時評議員会において最後の が定を見ることになった小委員 会は変別から開かれる筈でこれ で審議した案は評議員会になった小会員 会は来週から開かれる筈でこれ でお議した案は評議員会になった小会員 会になった。

≥ころ十九日入港貴州丸にて協かねてより山東方面に出張中のかねてより山東方面に出張中の

「東ル十八日發電通一報で一身と 関出を爲したので十八日内閣を経って上奏の手額を採って十八日発電通・12月間を開きしたので十八日内閣を経って十七日内閣を経ったので十八日内閣を経った。

帖佐醫學博士推獎 中尾藥學博士監理

総裁直属 當時の制度により審議なく可決、本年度の實行物算 に、先づ前年度の決算報告は異 た、先づ前年度の決算報告は異 は會社としては緩道收入減一般 財界不況、物價低落により物件費 を切り詰める方針を採るので 大學としてもこれに從ひ物件費

洮昻四洮兩線

夏季講習派遣人選

各民政策、支號にて人選の上派遣 で離くない。 低し失窓問題等に對しては出來 を離すること推築

目二見エテ

トトキク



で進むより外なく、植民地蔵入超

過六千五百萬圓o

腸 Tamapa's The Ikatsu

方針で減進すと。

おける 日間職の後定である機概者組合命議において最後の継まりを見んと 日間職の後定である機械者組合命議において最後の継まりを見んと 日間職の後定である機械者組合命議において最後の継まりを見んと 日間職の後定である機械者組合命議において最後の継まりを見んと 日間職の後定である機械者組合命議において最後の継まりを見んと 新編製行した後種々協議する處あ 首相、外相、海相、海相等居践り 首相、外相、海相、海相等居践り 首相、外相、海相等居践り 條約問題協議 國防案懇談 對支債權 権利主張が有利 日より各官處は紫中休暇に入るが『東京十八日候覧通』來る二十一

【東京十八日發》通】附讓決定 特許局審判部長(二) 任時工省保險部長(二) 任時工省保險部長(二)

商工省異動

市參事會議案

飲んだ

キット効く

當

79

がで、数背と道徳と國家」と 七日より三日間、大連朝日

民間の意見接近

にて左の如く人事を決定した (代大阪鎌箔局長(二等) 大阪鎌箔局長(二等) 大阪鎌箔局長(十上 義一

【東京十八日福電通】本日の線

鐵道省異動

仙石總裁の閣僚招待

所 行 發 物第一分可問全申市通文 數 据 日 解 訴 註 告 式 #

じその極算は八月卅一日限り提等八月十五日限り提出のこと

200

閣議

要求せざる事

的約を斷行

學官帝 南澤 關 臺朝 校立國 圖大大 電學學 洋太州 選鲜

三二七七〇五五五〇〇五五五〇〇五五五〇〇 其鐵

前の貨売減は六百六萬の貨売減は六百六萬間は各

南京特使張群氏

張學良氏を訪問

兩者の會見注目さる

試合といふべし。 で奮闘ドロンゲーム、近頃の緊張 で奮闘ドロンゲーム、近頃の緊張

種民地の官吏恩給は権民地で出 をといふ、いよく世智等くなつ

て來たワイの

軍條約賛成派

現大洋で三十元ほど安いと離差料(一切を含む)は打通線が

黑龍江省主席

本夏東京において開設さると各種・一般校数覚史斯講習會に派遣さる・各種・一般を教覚史斯講習會に派遣さる

▲八月一日より四日間大連潮生高 ● 学の進步と地理教授」と頭し東 ・ 学の進步と地理教授」と頭し東 ・ の進歩と地理教授」と頭し東 ・ の進歩と地理教授」と頭し東 略、應日、職師、職業を終は左の 東地勝智額を開催するが、その日 南瀬教育會では来る八月一日から 夏季講習日割 ドがついたらしい。 海軍條約問題、どうやら帰のメ暴風雨の警視ででもあるかの如 各地溫度

史迭斷行か

後任に張景惠

、説

(北西の風)機時々晴れ 井上獨逸博士ノ イタマヌ

小見用ロー

ト目薬

工學所 大阪市東區南及 の限り、それも不可抗力とあつて不景氣の上に暴風雨、迷惑干萬 ▲小谷節夫氏(青島新報社長) 八日大連丸にて來連、廿日はる びん丸で内地へ赴く豫定。 ▲胃活は胃腸内を清淨にし、

大鄧小質

▲胃活は強力なる健胃整腸剤にして之を常用す を整へ、消化を住良にし、體重を増加します れば胃腸を根本的に肚健にします

●全國とこの楽店にもあります 定價 一圓 五十段 卅銭 卅銭 食慾を進め、便通

一幅の活人艦である、提像するだ。 ・ 主艦の砂深着も今回を以てすでに ・ 本多くなり参加ナームの力量もま ・ 大売艶する、今回も五カイムの参加を得二十三日より質適聴球場に ・ 加を得二十三日より質適聴球場に ・ かで暖いの火蓋は切られる、一歳 ・ 一歳

た。 ・ から犬なる期待を以て甲子 ・ から犬なる期待を以て甲子 ・ から犬なる期待を以て甲子 ・ から犬なる期待を以て甲子 ・ から犬なる期待を以て甲子

の間に迫つた

が甲子関原頭の大管への覇権

全

中等学校満洲予塞會

で 解婚進動の火の手が場られるのは最初のことであり、 殊に時代には最初のことであり、 殊に時代には最初のことであり、 殊に時代に

初選手で陣容を整

青島中學軍の

豫選大會の出

高松宮殿下

ヴェルダンへ

幸民

續出す

藝酌婦の自廢運動に

花柳界は大恐慌

人布白落實女史の來連を控へ

當局と營業者惱む

各地の被害

東支線双城堡附近で 脈客列車の顚覆 鐵路浸水で脫線し死傷者多數

邦人の乘客は無事

「ハルビン特置十九日報》十八日午後十時四十分哈爾賓與長番に向った東支銀三號派奔列車は十九日年後十時四十分哈爾賓與長番に向かった第四號列車の乗客は右上りは直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かった第四號列車の乗客は右よりは直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かった第四號列車の乗客は右よりは直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かった第四號列車の乗客は右よりは直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かった第四號列車の乗客は右よりは直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かった第四號列車の乗客は右よりは直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かった第四號列車の乗客は右上が野車に引躍がせ十九日午後十時乃至十二時哈爾賓に到着の漢字である、尚目下復郷工事を急いで第五列車から時数表通り運転する漢定だと る為め明朝まで位には我へる見込 出て北東の進路を取つて進んでゐ お千島北海道に避性の高氣懸あ るが千島北海道に避性の高氣懸あ

大颱風は

衰

明朝までに

州全線の 惨澹たる九州 0 小柳籃紡社等十戶節潰重廳儲者十小柳籃紡社等

人塚聖坊のため 電力の使用を禁止上監風圏内にある九州合線では 止上監風圏内にある九州合線では 止上監風圏内にある九州合線では 運轉を休止 送電も中止して暗黒 したが死傷者は幸ひにしてなかっしたが死傷者は幸ひにしてなかっしたが死傷者は幸ひにしてなかっしたが死傷者は幸ひにしてなかっ た

敗名を出した

一帯の警戒を要すると 一帯の警戒を要すると

大分縣の被害

【長崎十九日發電通】嵐の後の今 尚は杜絕

止し動力線電燈線とも設電を中止上し動力線電燈線とも設電を中止し動力線電燈線とも設電を中止

倒壞家屋

孤立の長崎市

| 四府十八日韓電通 | 早朝的を演奏を表示に建築中の日ノ出温泉倒潰し漁船 | 地域を含めて砂域を表が大分も | 地域を表がしき機像 大阪も警報

十分大阪測候所も警報を設した【大阪十八日發電通】午前十時三

「世京十九日製電通」 奥元は高 の観ぎ、天臓に塗じるや十九日附 左の特旨叙位の御沙汰があつた 元帥陸軍大勝正二位大勘

叙従一位(特盲を以て位一級を進

猫や鶏は食ふべからず

蛇喰ひ男にお灸をすえる

表場が聞えるので関

を以て際く完賞することを得た。 持つ

三拍手揃った好 を加いま を加いま を加いま を加いま を加います。 がある、投球、打撃 他選手の追従をゆる 内上での開球に對する

はも一度シー

飛行演習中止

日來の顯天候に妨けられ窓車飛行隊の九州大浦飛行隊

日間の販業停止を命ぜられた、理生きた猫や鶏を食つたりして残感係に呼出され注意を受けたうへ」 あるものであっが多数機能の前で佐藤瀬治でもは十八日大連端保安 ふので當局から興行の許可を受て心を離れている。 野手を失ったため前条語だ思觀さ投手の卒業に會ひその上五名の内 悪心猛線費を続けた結果新進選手 るに

心して再度の優勝を期していち早 配して再度の優勝を期していち早 ッ山内 ・山内 は幅を利用して は個を利用して

▼山本佐撃王▲ 重剛なる彼れは守備に攻撃にあ くまでも底力を有し一度位置に つけばその位置を死守するの氣 機に富む暗腦は敏にして一軍の

油酸は蒸物である、成るべく勝負 はない、然し新選手の多いだけに はない、然し新選手の多いだけに 小此木銀治の三選手がゐる

▼平野中堅手▲ 被れが外野手としての技解は既 である、全車を統帥する主將版 である、全車を統帥する主將版 りも亦あつばれなものである、 チームの各メンバーが彼を中心 として一機となる處はこのナイ ンの張味である

明新は風金く風雨降りつ」あり照然は風金く風雨降りつ」ありで語が、は風歌で見込み立たず電信線は面が、に依り東京へ通に依る電景が終をこれに依り東京へ無線と変化れず東京方面への高いと見らる電話は電柱の時間を要するものと見らる電話は電柱の暗影終をなしつ」ありで語には相常の時間を要するものと見らる電話は電柱の暗影線をなしつ」あるも何 いふのでお灸をすえられたもので 禁止した 性を襲揮し、風数上面白くないと ある、なは今後は

るや今の處見込み立たず 奧元帥薨

今朝、突然吐血



御差遣 朝鮮鐵道不通

山侍醫を御等遺病床を御縁間あらむられ午前八時永福侍後、村あらせられ午前八時永福侍後、村あらせられ午前八時永福侍後、村の時を御上召前の郷を御上召前の場を御上召前の時を御を開し召前の時を御を開し召前の時に 葡萄酒を下賜 電信へ通となった。 電信へ通となった。 電信へ通となった。 電信が通となった。 電信が通となった。 電信が通となった。 電信が通となった。 電信が通となった。 展等の大変を 大塚では、一般である。 大塚である。 大塚でなる。 大なる。 大なる。 大なる。 大なる。 大なる。 大なる。 大なる。 大なる。 大なる。 、

特旨叙位の

海のでは、 を対するという。 のでは、 のでは、

を翻ふて風紀を楽すものが著るした中央公園から遊覧道路にかけ暗に中央公園から遊覧道路にかけ暗 **一隣被罪を行つた** トに蹴せられたが多くは女給、女女十数組が風紅係のブラックリス 夏の夜を楽す男か は風紀係を設け取

中、觀影響等であるが中には人妻中、觀影響等であるが中には人妻 た結果怪しげな男の調響では数日前 開けつけると める方針であると 支那金融界 攪亂を企つ 流言を放つて

有する質にして打撃亦良好 ・としてその人を得たるもので、 ・としてその人を得たるもので、 ・としてを関肩なる彼れは左翼 し取付けにあって居るなどと

映畵班派遣

大會開始さる

夏の夜の公園に 風 紀を紊す男女

第呈致します でさる方に限り[夏/常一本

お忘れな

大賣出し

大浦市三河町

軍五四三九番

日本一面白い大雑誌!一册僅か五十段

「講談俱樂部」

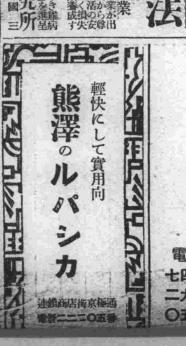
ナノヤ

八連署で一齊檢擧し

統を殿軍にして 今後も嚴重に取締を勵行 男は市公山縣通三数断事動社社 実と同社のタイピスト某女であつ たが終窓を譲渡して旅選された事 たが終窓を譲渡して旅選された事 では今後時を風 のいますが、大連繋では今後時を風 のいますが、大連繋では今後時を風 拓茂洋行紙店 太平洋婦斷

『東京十八日韓電通』タコマ東京 間無電際兼行計畫中のブロム中局 は酸々太平洋的鐵泥行を決行する に決し本日米國大便館を通じ感信 に決し本日米國大便館を通じ感信 と乗つた、先方では一週間内に出

|生安心なる||求職募集 事質特許第十 事質特許第十 理學的の無薬治療 理學的の無薬治療 理學的の無薬治療 が関係と呼ばる程一の が関係を がの時に がのまた がの。 がのまた がの。 は がのまた がの。 は がのまた がの。 は がの。 は がの。 は がのまた がの。 は がの。 は がの。 は がのまた がの。 は がの。 は がの。 は がの。 は



家密題の叫食を 對芬蘭競技 廣發丸の 船長召喚

なくてならぬ

納凉に

コロムビ

ボータル蓄

音

器

¥ 100

驚異的に巧妙を極めた

のきいた煙草盆でするも到底説明も形容も出來ないほんとうにき

山に上

へん)四等伊藤(五七米三二) 李織田(三米六八)▲宮住吉(六〇米 大島・ (六一米九八)二等ョワンソナ(六一米九八)二等は吉(六〇米 大島・ (六一米九八)二等カリン・ (六一米九八)二等大島・ (六一米九八)二等大島・ (六一米九八) ▲三段號 一等級田(三米六〇) ▲三段號 一 日滿間の電報

長

深い表すっと のか置なしとてタバ 毎外にく健ちるバコ

の外外に対しています。 の外外に対しています。 一個ないでは、 一句ないでは、 一句な、 一句な、 一句ないでは、 一句ないでは、 一句ないでは、 一句ないでは、 一句ないでは、 一句ないでは、 一句ないでは、

まだ遅延する

る爲め其の他の

景品 白帆衛婦化粧紙

理事よりの説がなる事情調査を行ふれた。 一人の説と個学が設せる松浦汽船所 大日早朝天能の領土大共同丸で破 大日早朝天能の領土大共同丸で破 大日早朝天能の領土大共同丸で破 大日早朝天能の領土大共同丸で破 大日早朝天能の領土大共同丸で破 大日早朝天能の領土大共同丸で破 大日早朝天能の領土大共同丸で破 大日中朝天能の領土大共同丸で破 大田東新子配長に出頭を命じ木村 なじみの 生漉塵紙

濱門 一日近日 屋 電話一一充九

御野菜料理は一皿並三十**銭**以御飯物及一皿並三十銭以 きや き鷄

智樂が終ると同時に何等の操作を 関泰開始にも少しも手數を要しま 関泰開始にも少しも手數を要しま コロムビア第一六四號4

(商號變更) 浪速町

格而財界の不況も愈々深刻になりました然し日常の經費は何一つとして減した然し日常の經費は何一つとして減の通り値下がも出來ませんが弊店が率先しての程伏して願上ますの程伏して願上ます。

中鶏 鮮魚の「血並州五銭肉」

「BA」

七四二九



別の息は断へた。

前に爆破した。

傷は強い」

せめては最後の御加護を我に駿へのく訴へるはから訴へるは

初

日の盛況

充分脱進を定めてのち、

觀衆を唸らす

もいま一度!」

左近は網門した。

(可語物明明第二年)

からくも贈りがらすれた瞬間で

酸艦に接し、斬り死にして果っ

河

原

太郎畵

た黎明は東た。我等が一蹴にとった黎明は東た。我等が一蹴にとった。

ちこがれ

電子を開職川の武治い仕草 でお似を向ふに廻して西崎。

がけふはるびんか

で映畵はど得ない時間の関扇を

分の宿の場で宇治

川で上陸しました

急告!!

十四日よりお盆興行のト

扣樂は涙を双眼に湛へて左近の

ろに後述してゆくでは

相樂の際が心質うづまくな

在ひに狂つた海間も次第に静ま

急

りとなった。 「木材でござります、あなた様の 「木材でござります、あなた様の この身が姉の妙香と代つてゐたな この身が姉の妙香と代つてゐたな F.....

B (520) 月 年 五 + 七

が、欣勝は雌々しくも首をふつ な、酸を、酸をうつ手を休めて 下さいますな」 際は顔を蒼白ませつトグッタ

「おゝ、命中!」 関近に迫つた回陽丸の瞬闘部へ 関近に迫つた回陽丸の瞬闘部へ は、攻撃が止つたらしい とぶー弾の 度綱ひけば、海面轟かせてうなりかくて左近が満身の力をこめて 「先生、回陽は燃えて居りまする い氣性の

金織に飛來した一弾、左近が配一 山本の棚三はタイプといひ調子「おゝ!」

面白い艶色生膽秘譚

は、冷くなつた左近は客へない時は寒暖三年十二月二十五日の曉時は寒暖三年十二月二十五日の曉のたままま日指でいる。 が、冷くなつた左近は客へない。 で船タイナス繋。強くこの海酸の で船タイナス繋。強くこの海酸の でいる。 やがては頭かな陽も照らうも でダークチェレズとなつてあるが、
「既然く程幕合を縮め殆ど二分か三分に次場をあけ、ゆくあたり流句では要奪整理の鮮かな所を見せてある、
の本社場と云ふ適當に脚色した 塔前で血卍組の見後りに取取で消場を笑殺して大詰の上野 作者の苦も多とせずばなるまい、 の既において提灯をもつわけでな の既において提灯をもつわけでな が、申分のない一座ではある今 場を笑彩して大語の上野五里 に開業を喜ばせてゐた、大 出に開業を喜ばせてゐた、大 出に開業を喜ばせてゐた、大 出に開業を喜ばせてゐた、大 出に開業を喜ばせてゐた、大

でに高まり一分のでは、 ・ は、 、 。

憲が更に高まり「無戦王」「大統領」と大向ふから壁がかいる▲と ころで「旅人概三」の宇宙の場で 職から「レンコン食つていやがる で、が米で老婆が、そをきかった様 で、か米で老婆が、そをきかった様

大路 貞吉以 大路 貞吉以 一十日午後六時二 一十日午後六時二 江其の他日活俳優 (大阪) 「勝者敗者

大連棋院臨時稽古基戰

II :

Ľ)

-1:

业北

母のテッド・マクナマラ氏珍賞

功名の卷

京

を拍せし (大將漂泊の卷) 妹篇 フォックス 社爆笑篇

旭照子。大野三郎助演 南愛子·片斯恒男助演

醫院

大湖市兒玉町內裕地

松枝つる子主演 野石 縣 郎主演

新興帝キネ四大作品の一

佐藤樹一

ツ谷

料大切十 企 般 題 格間 料 目 封 九日封 十四日よりお盆與行

題世流「羽衣」解

N、海老一約丸、 木龜二郎

二十

Tが 日午後七時 日午後七時

E CONTRACTOR OF THE PROPERTY O

ヺオ

近川の楽屋がこの 行つた連中、

忽ち手が来るので

他の連中、一度

しおくのだつた

急告!!

北の祭訓城き習特容下さい お盆の町念師價サービス

流國館

御相談に應じますの總式の

これでもか! キャン火持の一番より マラソン狂躁曲 評判と曹行の 日本賣藥株式會社

電話 六九五滿日廣告部專用

浪速町の一角

特別はおりはおり 空座

接替大連一九カー

東京式にぎり おいし 6 大連大山通 3

逮東百貨店 へ動に 大進出のため

しますからを高って御用命を希か 光祭を感謝いたします・・・・

最新良品を總て思いてきり

决大處分效

法意

讀者優待割引券

もはや抗すべき力は

河部五郎觀劇會 讀者優待割引券

左近の扮装で挨拶する河部五郎

化版

人もなく、範陣の荒る」に任せての海となって勝つかざる砲熕は一の海となって勝つかざる砲熕は一 ふるひ立つて鬼郷へ手をかけた 類々と強わたってゆく。

まい、一言もなく眼を眠りそのが、欣瀾は左近の腕に支へられ 左近は絶縁のあまり、その身を

んとしつ」ある。その際固たる礎をは頭かに照すべき革命の略がは では頭がに照すべき革命の略がは である。その際固たる礎 もって寒きあげ鮮血をもつてぬり あげた新しい部園は正に創造され

「左派との、左派どの!」 「左派との、左派どの!」 つた。

製造によるタイトルを以て挨拶と を対してあただけに接手の飛ぶ事がこは本社願意色生臍砂膜で、期

石原の満兵衛、中里のたのか調子が出ないのたのか調子が出ないのためにない。 し殊に川原の老婆は三共衛、中里の熊五郎等 のは惜し

● ファクーク ファクー ファクー ファクー ファイン ファース ター ファース ター ファース ター ファース カー ファース は (い)に 実ん 大は (い)に 実ん アース は (い)に 実ん

〇二三カの十二 〇三九ルの十二 〇三九ルの十二 〇三九ルの十二 〇三九ルの十二 〇三九ルの十二 〇三九ルの十二 〇三九ルの十二

-- [2] ---

東亜超特作時代圏で東亜超特作時代圏で、本本東亜超特作時代圏で、一本本本

環能はら屋花環店

小倒子土曜廣告

家の歯磨人そう

四日 同限日延なし 四日 同限日延なし 一階も下も二十銭開放 早いが勝ち行きが第

セ

小倉厚司

大連市信濃町市場

タバコと

フム ノマヌは闘せず高い世でするにスモカは 黒いい曲を 立派にするとキッパー とキッパー とキッパー アルードられる歯磨です とキッパー

別行 冷水 楽 は胃腸障 水 黒 屋 楽 店 大連市監部通東郷町角 大 黒 屋 楽 店 返速館

地獄谷の大劍客嵐質藤郎主演 懸賞答『フ

物質の漸落に依って現れた新安値 カスパンクレープワイシャツ 金玉圓五十銭 ロスパンクレープワイシャツ 金玉圓五十銭 関物質の漸落に依って現れた新安値 サヤラコカツターシャツ 一枚 九十銭 から二 圓三十銭 迄て ハ十銭 から二 圓三十銭 迄て キャラコカツターシャツ 一枚 九十銭 キャラコカツターシャツ 一枚 九十銭 から 二 圓三十銭 として はれて居ります カツターシャツ 一枚 九十億 月白靴下五吋から九吋迄半打



特産、錢鈔の

手數料問題考察

世野な精実を構実を構まを であるから、野野に代 であるから、野野に代 であるから、野野に代 であるから、野野に代 であるから、野野に代 であるから、野野に代 であるから、野野に代

ばならかと思ふのであります。

當然の歸趨と殊更の要求

意するがよい。 ではドルでは焼ら絹子兒で焼 ではドルでは焼ら絹子兒で焼

ス、播 種 で整地して駐巾一尺七、八寸株 で整地して駐巾一尺七、八寸株 で整地して駐巾一尺七、八寸株 で整地して駐巾一尺七、八寸株 で大升なれと営地は生育排間短き は栽培粗放なり日本内 がにて、三粒時として反當五、 大升なれと営地は生育排間短き は栽培粗放なり開係にて厚蒔を は対電優所なき時は「ローラー」 を以て鎮壓す を以て鎮壓す を対て領壓す を対て領壓す

二、施肥及管理 三、施肥及管理 三、施肥及管理 三、施肥及管理

近年栽培反別に伴ひ斑點病、よ、病害虫

であるから先方は損得はない、であるから先方は損得はない、一般家庭の人々が銀相場を出して職く事は非常によ知るには少し新聞を注意すれば到ると思ふ、支那人は自分勝手には少し新聞を注意すれば

係

倉敷料引下げが

最も必要だ

満鐵線並びに沿線の

山中、西山然し郷を使ふ事ではならぬとは云へないを使つてはならぬとは云へないを使つてはならぬとは云へない 同柳 塞天邊りでは際山麻菩屋 替屋が多くならなければならぬ 金に換算して搬ふ事は樹は

1 月、中にはスペクる人もあるから金額を解唆する必要があらっ 大島 商賣で無いから大した応 からヤレ和事はないでせらっ、

中地・金融組合の出資金は銀である、併し日本人からの預金は金である、貸付の時は用途に登金である、貸付の時は用途に登 はにて輸送した方が有利である上、 支那鐵道は公然と三割りをなし又 戻しをなしてゐるから現狀のまゝ 戻しをなしてゐるから現狀のまゝ では如何とも默抗することが出來 ない、又大連の倉別なことが出來

な交換はしない。

一番では出来ない。

「おおおら少々な金では出 高となってあるため ない、交大調の倉敷料は相當に職 に使って經營職に陥った中、小製 しっこあるが、工場法に使れば製 組合では十九日来ない。 ない、交大調の倉敷料は相當に職 に使って經營職に陥った中、小製 しっこあるが、工場法に使れば製 組合では十九日来ない。 ない、交大調の倉敷料は相當に職 に使って經營職に陥った中、小製 しっこあるが、工場法に使れば製 組合では十九日東京中、「日本の職」・「日本の

高粱包米激減す 加奈陀、南洋物の壓迫と

更に浦港積割安に

はつて居る。從つて

收量は反當り皮付、四五石

水量は耕地の良否肥料の施風量 地に年柄等によりて相違あるも での中等地にては反常皮付四石 での中等地にては反常皮付四石 にして適地に栽培して肥培宜し にを得ば七石乃至八石を得るは 石 として獣妄に輸入せられる上に端 てしては之が輸出した。 動量は塗月機減を呈してあるが、脚くとも二十銭高となって 動量は塗月機減を呈してあるが、脚くとも二十銭位の 大が主なる原因はカナダに於ける 愛者は大連郷出した。 を 小変、 資洋方面の包米が繰り向料。 様であるが現在大連 を 小変、 資洋方面の包米が繰り向料。 様であるが現在大連 を して獣妄に輸入せられる上に端 てしては之が輸出した。 本の実験を受けるからで大連網由 として制度に能力せられる上に満 して制度に輸入せられる上に満 して制度に終入せられる上に満 を組入せらる、といふ二つの様。 れぬやりである

職出増加は期待せら 仕大連穂の相場を以 してるる機

現典三圓五十鏡 又会朝の大阪総 歐洲大 生糸綿

解験(保合) 産地情報聯通未着 所数(保合) 産地情報聯通未着 を は、市児関数を入れたると端境期とて荷動皆無一方先 物に對しても先行懸念の折柄買氣 なく関数 なく関数 のず、侵食)米棉未着、大阪 三品前場客三、四週方具機ながら 銀塊入分一安鈔襲弱保合に常市變 のず、緩棄薄のまゝ教會

粉用手五用

品 東 參 豆

會 株式大連商業銀行 大連市西通 大連市西通

般銀行業務確實に御取扱可申候 電話三三四十五

◎ 本社旅順支社主催 本本・小準だけだから簡単たのでは、大きのでは、一大が知って民るのに本人が知らないとは可怪しい、苦力に至るがある。 我河江 緊急では可怪しい、苦力に至るを 実河江 緊急を でした ないのに本人が知らないとは可怪しい 大学の同様をヤッて異れないかとの意見が出た。 マッて出來ぬ事はないでせるがある。 マッて出來ぬ事はないでせ 中地 相場の魍魎がある時は危 繋され出廻りが激減しつゝあるの 陰でヤレない。 で市民大館を開きこれが主義と同じ様なものだ じ酸樹変酸を満鰻、関ロ際に振しからヤレ魚事はないでせう。 で市民大館を開きこれが主義と同じ様なものだ じ酸樹変酸を満鰻、関ロ際に振しから全額を継戚する必要がある じたことは悪報の如くであるが、 対したことは悪報の如くであるが、 対したことは悪報の如くであるが、 対したことは悪報の如くであるが、 対したはスペクる人が無いでせう。 常地各盟際でもこれは一四平衛の中地 中にはスペクる人もある じ酸酸のみならず、大連を始め薄盤 から金額を継戚する必要がある は一次をであるが、 対した。 大連を始め薄盤 であるとし相常 はないだらう。

「本本、先物を無くして現物丈けに 関いを引き越した如くであるが、 可を

「本本、先物を無くして現物丈けに 関いを引き越した如くであるが、 可を

「本本、先物を無くして現物丈けに 関いを引き越した如くであるが、 可を

「本本、先物を無くして現物丈けに 関いなりである。こと

「本本、先物を無くして現物丈けに 関いなりを関いた。

「本本、先物を無くして現物丈けに 関いなりとは悪なりませいが強減に

「本本、た物を無くして現物丈けに 関いなりませいが強減に

「本本、た物を無くして現物丈けに 関いなりませいが強減に

「本本、た物を無くして現物丈けに 関いなりませいが強減に

「本本、た物を無くして現物丈けに 関いなりませいが強減に

「本本、た物を無くして現物丈けに

「本本、た物を無くして現物支が、

「本本、た物を無くして現物丈けに

「本本、ため、

「本本、ため、

「本本、ため、

「本本、ため、

「本本、

「本本、 寒河江 館付は其の時の相場 河相 儲けになる事ならヤレる は、 其の他製用が掛つてヤリ切れない、源 一とで置へばヤレぬ事はない、源 の銀行自身ヤレば儲かるからヤ ら銀行自身ヤレば儲かるからヤ して置へばヤレぬ事はない、源 中 でするから電話特 中

繁榮策に關する輿論

| 本月に入りて満洲大豆の歐洲向け表面 | 本月に入りて満洲大豆の歐洲向け表面 | 大豆の 糸價の低落で

製糸業續々休業 盂蘭盆休みを機會に不意打ち 當局取締に手を燒く

憂慮してゐたが 来の職案が茲に

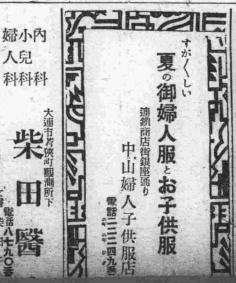
京油 七五五 c箱 五百箱 五百箱 七五五 c箱 五百箱 五百箱

今朝の海外材料としての倫敦銀場 は十五片八分の七と八八分の一安) 松竹は十五片四分の三と(十六分 の一安) 経育、孟買雨銀塊、日米 米日、米支、米英は何れる電線故 障にて入電なし上海標会は六百五 両丁度と餐が五百九十七両二と止 め常市の銀價は保合施駅を呈した くて足り取引/単位銀) 鈔票保合

同十五日賞(同) 新圓五)

安心して召上られる 先づ健康ー マルイ





一般へは電地舎は、 でといすれば奥地院内に積んで置 といずれば奥地院内に積んで置 を登してあるから安全である 至七割の休徽手 會に発体みを名

現物買ひに

张文总替 张文总替 张文文总替 张文文总替 张文文总替 张文文总替 张文文总

東京期米東京期米

産

市

况

市場電報北日

(四)

銀で拂ふか換算して拂ふか

知識のある人が居ないから駄目四山 現在の市役所には銀相場

りを示してゐるといふ狀態であるにかすと一千四百廿一車の殲滅振にかと一千四百廿一車の殲滅振 見られた。 見られた。 はなってある。 はない。 は、 はない。 はな。 はな。 はな。 はな。 は、 はな。 は、 は、 は、 は、 は、 製油原料

か 源田 ソンならエキスパートを 間でば良いでせら。 中地 日本人が利用するんだか

表と満洲重要物質を表と満洲重要物質を表と 奥地

大豆引合

歐洲から

於て折ちる三日に

運賃安に

オグペーニー十十七現一株 中の月月月月月初報後 ラチル 個

新東(寄 全元

ち得ざることに

本東短町場 ・ 線現株 二十九圓四十銭 ・ 線現株 二十九圓四十銭 奥地市况(千九日) 等形交换(十九日)

1000円 1100円 1100円

正 全式 金融 (金属) 三語の片大分五 (倫敦 向電信製(園) 三語の片大分五 (信用付二月質(同) 三部の片大分五 (信用付二月質(同) 三部の片大分五 (作用付二月質(同) 三部の片大分五 (作用付二月質(同) 三部の片大分五 (作用付二月質(同) 三部の片大分五 (作用付二月質(同) 三部の 電信製(金属) (金属) 三部の 電信製(金属) 三部の に (一下月質(同) 三部回 に (一下月) に (一下月) 三部回 に (一下月) に (一下 大連市東部町九一番地 据(口座六前至6) 篩(長花三於番)

題

TOKUTAICO., LTD 縣通五番地

他田小兒科は西山小児科は

前

被山南 — 條町 順 條

特許ラディステナー型鉄節ラグリ

好 (七月物十六志学、

期に入り大連調 で入り大連調 である大連調

の値下りを生じ業績に於て有價證祭 悪はる、を以て之れが默策に付て 思はる、を以て之れが默策に付て 思はる、を以て之れが默策に付て 思はる、を以て之れが默策に付て 思はる、を以て之れが默策に付て 思はる、を以て之れが默策に付て 思なる。



世一風四十二般送料一般語小學五年生美淡料一般四風四十二般送料一般活料一般

同國的 開聯 一月 一月 一月 **麻**袋(出來)

久保山。





我が總領事館では成行重大視

頗る盛況

布告第十三號を以て收商「賈埠民」及布し、又修訂吉林商埠租建章程。吉林市政籌備處長郷樹春氏は今回「有地上建築物館法」七箇條を制定 吉林省當局の 新商埠租建章程 在留邦人の影響甚大

來る二十

一日に

非公式參議官會議

巨頭會議は開か

來月一日發表

無産新黨の

空軍省整備局長 少將 小磯 國昭

網領決定

東東十八日愛電通」 過燃火海電 東東十八日愛電通」 過燃火海電 を表読するに決定した を表読するに を表述。 を表述 を表述 を記述 を表述 を表述

長 少將 林 桂 少將 林 桂

ひである、必ず自熟化することで

本第六回 法政田坂右翼線に二個人第六回 法政田坂右翼線に二個打したが刈田投削武田三邪飛坂根中飛して空し▲滅俱片岡左越根中飛して空し▲滅俱片岡左越根中飛し上條の二間に三進線川四球高須の中飛野手好捕したが

若林の捕前前で二進したが矢野三間▲満俱(法政藤井退き長澤石翼に入る)上條遊間緑川三振谷、高須遊館ドンネルに出たが後、高須遊館ドンネルに出たが後、高須遊館ドンネルに出たが後、高須遊館ドンネルに出たが代表)中堅大飛刈田も中飛武田代る)中堅大飛刈田も中飛武田代る)中堅大飛刈田も中飛武田で見退▲端俱(法政田坂退

田100000000

延長戰の記録を作る若杯、山口兩軍投手の好投 同裏漸俣片剛左翼左に二壁打を放っ、たなしこの二量打に若し片岡二進、高須の養液で一二間に片岡三進、高須の養液で一上間に片岡三進、高須の養液で一大線では大田野では、第七回法島遊前散打変器 五回満県二死後吉野疋田と監打に出でしる線く芥田凡打に絡るまた 選軍六回表に田坂二幡打を放って 選取の触きを見せたが山口の研究。 にはいまれて二者凡逃す 満倶漸く追付く

遂にドロンゲーム

間に挾殺される、あの際にし成田の三間で三進せし

世代が芥田となったが芥田となったが芥田となったが芥田といったが芥田といったが芥田といったが芥田といったが芥田といったが芥田といったが芥田といったが芥田といったが一般では、

四球高須の中飛野手好捕したが四球高須の中飛野手好捕したが人保スク化が間に島三進したが人保スク化が間に島三進したが人保スク化が間に島三進したが人保スクル人保は結局左飛へ満側山口一大が上口を封殺正田遊撃右に翻りたが吉野で出了して吉野工進済田右後近の軍打して吉野工進済田右後が上で古野正田二三進片岡敬遠の四球で二死滅盧となつたが上 シトに封 撃左に軍

遊捕打代埔一投三右打代右左二二中 介 刈倉 吉 田矢若久長 畝 藤島大坂武

別有吉 計田田 46501 10000 50100 00000 30000 00000 45220 21800 3110 坂野林保 25552 00000 10100 0000 0000 0000 418041 10640

東華天の減緩治域各地のが襲察に一二浦入務局長は廿二日旅戦闘東縣三龍內務局長は廿二日旅戦闘東縣三龍內務局長は廿二日旅戦

田虫、水虫、いんき

ル 競響が四、五人乗つて二、三日前から銀行衛を馳駆してるる▲日本人職の紡績工場でも時々敗撃された苦い総談があるので、この装された苦い総談があるので、この装された苦い総談があるので、この装された苦い総談があるので、この装された苦い総談があるので、この装された苦い総談があるので、このとのではない。 で、甲中のやうな鏡甲車に武装し れたのが現金運搬用の禁甲目前車 で、野生が いはれる上海は毎日のやうに 五年度豫算節約額 總額は六千五十餘萬圓 十八日の閣議で決定

害するもの

松浦淳六郎

佐少將補步兵第一旅團長 陸軍省兵器局長 小將

作用美治郎

中華運搬銀行の建物を構入れ無機 がたする金融銀行の建物を構入れ無機 がたする金融銀行であって張野民 がたする金融銀行であって張野民

中將 廣觀 壽助

技術本部第一部長少將

奉取特產上場

たとには絶對反對である

將長植

山内寅重氏が闘東腰側の意響を観いた。本天神電十九日登』率天取場所のが進められてゐるが現に取り所のが進められてゐるが現に取り所の

との二項を誘題することを競決した質様である、個支那側有職者等人はこれに依って吉林大洋六十萬元以上の職時戦入を得ることとなたる。の記に使って吉林大洋六十萬元以上の職時戦入を得ることとなたる。

原始的な

賃金支排

物品を支給

吉林總領事館にてはこの程告示第

めであると【吉林特信】

建物取締規則は

今後嚴重に勵行

最近違反多きに鑑み

權利調査

兵為本廠附建軍省軍事調查委員 少將 西尾 壽進

說

本の力た。歐化に耽溺し、相當の弊 よ場合をいふのである。自國に損 なら、頭からこれを排撃すべきでなど 玉石混淆、何も彼も侵略だ、侵略 まいか。それを近頃の支那人士が あらうが近所迷惑、國際體儀など 玉石混淆、何も彼も侵略だ、侵略 まいか。それを近頃の支那人士が あらうが近所迷惑、國際體儀など 玉石混淆、何も彼も侵略だ、侵略 まいか。それを近頃の支那人士が あらうが近所迷惑、國際體儀など たと宣傳する。吾人は寧ろ、その 一から十まで何々侵略などと稱し 微議もなく、ただ外交關係の感情 常識を疑はざるを得ね。この文 次ぎから次ぎへと新らしい標語を を害するのみなるはバカくしい 化なるものは、經濟以上に超國家 造出し、排外宣傳に没頭関心しつ 限りとせねばならね。」 **補**院軍運輸部長 財界の大御所 郷男引退を決意 東電の改革完了後

国家十八日愛電通」総談之助男 は目下球線はが監政界に於ても重 変な地位にあるが、昨今曖昧を害 を決意せる環様で東京實際の改 地域上り次線、即ち明年早代 の改 はまするのではあるまいかと見られ 男 決議に基きと説明、 脚浜 半神 大震に 基 倉職成立の報告をかね前線兵士屋 表として明夜當地段、先づ太原に 表として明夜當地段、先づ太原に 社き天で 戦州に至り、順大平漢、 神神 全戦線に向ふ事となっ

中國國貨銀行

覃振氏が

| 北平十七日發電通 | 擴大會議の | 電するに決定し、既に小南内の元 | 大一政府 | 上海に創立せられた中國々貨銀行 | 上海に創立せられた中國々貨銀行 | 大一政府 | 上海に創立せられた中國々貨銀行 | 大海に創立せられた中國々貨銀行 | 大海に創立せられた中國々貨銀行 | 大海に創立せられた中国を貨銀行 | 大海に利力を表するに決定し、既に小南内の元 前線 訪問 北方政府 代表として

電鳥十八日愛電通 職鳥縣 (福鳥十八日愛電通 職鳥縣 変素数「鳴鱗神では十七日村 変素は鑑み勢級小作粋等を米 となり全く原始時代の生活に となり全く原始時代の生活に となり全く原始時代の生活に

施は十月中旬頃になららと の感後歌可があるものと歌られ實 の意を歌可があるものと歌られ實 がは十月中旬頃になららと ではなり日

り関車感が滅空したる主任技術者 しの戦命を殺すると云つてあるとする者は強て市建築物規則に依 ては一切その使用を禁じ或は取壞とする者は強て市建築物規則に依 ては一切その使用を禁じ或は取壞とする者は強で の厳重なる制裁を加へると共に不住居、店舗その他一切の永久建築 の厳重なる制裁を加へると共に不 建築許可を を受けねばなら

のこととなってある、耐して目下 なは含此、法人等の建築物数は約 のは含此、法人等の建築物数は約 のは含此、法人等の建築物数は約 のは合此、法人等の建築物数は約 のは合此、法人等の建築物数は約 のは合此、法人等の建築物数は約 されたが早晩運行を見る密質金はより能行の密の處都合上一時延期を下に空る直通列車運行は七月一日平に空る直通列車運行は七月一日

上海日本人家屋と

に課税

治外法権の一部撤廢に等しく

母の講座

は今回洋版流行によつて商資人の になるが学版を音る事を禁止したが ではこいつは全になるとばかり版課。 方法を研究中だ▲東洋のシカゴと

十六立語一段毎に

湯上りタオル 一枚兵上

一立機詰一本毎に

▲田邊秀雄氏(関東廳文館課長)新

大賣

出

景品附

吉北間直通賃金

から着連

見玉宮部兩氏

品 質 日

入東亞

全

後三時廿五分發營、

ちである。一

飲物料金問題

玉手箱は開けられた!

電燈と動力の料金値下

べく競表した新鶴粉金の比較左の

1八月一日から

を 本人は夢ろ引込みしあんで女な 本人は夢ろ引込みしあんで女な

庄司舍

は二十銭から三十五銭とすること でなり十八日奉天蝎では組合鵬の でなり十八日奉天蝎では組合鵬の である である である なりピールは一本につき四十五鏡かから五十鏡、日本西は三十五鏡か

して十七日満疆俱樂部で十一級の 主將會議が開催された結果、左記 の野院による事に決定した 一、、大場式、参加申込ナーム十一 組全員にて雷日午後一時 か、雨天の祭は租日午後一時 ・ 日曜外は毎日午後四時より開 ・ 日曜外は毎日午後四時より開 ・ 一、がラウンド は徳兵隊前隻が ・ 一、神殿 参加チーム十一 ラウッドを使用 ラウッド は徳兵隊前隻が

日 午後四時より即友クラ 日 午後四時より即友クラ 野拔犬クラブ
十後一時からPOクラブ | 電燈料館下間| 第七十七日料金県更電燈料館下間| 第七十七日料金県更

▲不勝一勝組 北斗クラブ、CD 組、検友クラブ、マイテイB 事となった、同時に電影局からは 今回の御下げが最大極度たること 需要増加すれば尚此上の値下に各

競技費捻出の

| 一十二日公會堂で
| 一十日本り
| 一二十日より
| 一週前休場すると
| 一十日本の
| 一日本の

水道敷設工事に 各國猛烈な競爭 總工費は二百萬元 爾

おれたるが目下赤銅点の出意を要すと

0

には職、佛其他各國の競爭が行は 南元の公債により齎エすることに 市の委員會にて決定したが、入札

市会假を回収し得る利益を試上し 工事請負方を交渉し、例の吉林で 水清敷設に失敗したシーメンスも 水清敷設に失敗したシーメンスも 水清敷設に失敗したシーメンスも で全く水消費

av.4/1

吾等の

町語

30

各方面からの觀察の

將來發展の素地は充分有る

昇 氏 談

質ったが、今

安 東

富士紡工場 意の解雇に 騒ぐ

- 五回の勝者

の勝者對二十日

待ら林

板橋子附近の水田は いかと顧念されてみ いかと顧念されてみ いたより目下堤防その いこの上政 は いこの上政

る害降防のは

他に先んじて

家賃二割引下げ

奇特なる邦人家主

大となり十七日現在ではボ河州八の火となり十七日現在ではボ河州八の火となり十七日現在ではボ河州八名、曜紅烈二名、ジフテリヤ二名、『帰・ブスセ名、パラチブス四年の大部が、一時の一般であるが、一時の一般であるが、一時の一般であるが、一時の一般であるが、一時の一般であるが、一時の一般であるが、一時の一般であるが、一時の一般であるが、一時の一般である。 長春署管内の

大人こ兒童 概した通りだが、内地人の大人 登署管内六月末現在の戸口敷は

小人の種別を記して見ると次の如 し(十二歳以上を大人とす) 会長春 大人七千百七十四人、子 供二千六百六十三人 全盃家屯 大人十六人小人十人

=

十

更に新聞器を整へその銀髪投くべ幾多の悪いを送り出したとは云へ

軟球リ

グ戦

春

愈々ける開始

午後一時から憲兵隊球場で

劈頭PO對マイチー戦

▲廿三日 北斗クラブ對CDクラ

▼の勝者 大の勝者

五

公月一日から家電…「蟷螂下げを縦し 「貸してゐるが時代の薔薇に健ひ」家賃二糖以下げを賦行してゐると 終天西塔大徳三丁目花木氏は八十一行することになった受入艦町八番 が繋が氏も自己所有の貸家に壁し

廣島文理科軍と

終氏 十七日 日上

世方事務所長

東軍警謀長 十七日夜過

教専の陸上競技

今廿日午後二時から

▲ 東京見本市観察園一行十四名 中勝)十七日開源より闘奉 中北日勝朝 十七日勝朝 十七日勝朝

△范家屯 大人二百三十五人。 人百十三人 人百十三人 大人二十八、小人十九

で合計大人七千五百人小人一千八 委員會振興 り凝黙能において活断為真を無料。 部では二十五日午後七時二十分よ 部では二十五日午後七時二十分よ 廿五日演藝館で

ル休場

(一)閉會 稻葉常任幹事

野中である 製中である 赤痢二名

新市衛に優人せし端部盛に多 年代田街 さ 東來街の境界

低を命ぜられたので家庭同代十八 書氏は今回同職スマトラ文匠に転 書地東洋機花館社出襲所長掛地貫

、滅緩は たる

日野の大阪県 の世界一条の映寫あり會場立錐の の世界一条の映寫あり會場立錐の の世界一条の映寫あり會場立錐の

露領事館移轉

般に開放

多数に見送られ元気よく出設したれ十八日十二時十分設列車で父兄が一行十四名は竹下主事に引率され十八日十二時十分設列車で父兄が 昌圖の馬賊

東部線豪雨

特產商振與策 運賃輕減のみ 開

原

らうと観測してゐる

緊縮宣傳の

十七日の協議會で全員一致

銀道場で柔劔道場中穏古を行ふ三週間毎日午後四時から一時間滿三週間毎日午後四時から一時間滿

武田春二△製圖係主任江口八七田勝利△監査保擔當員七井梅次郎、武

△計電保擔當員石田親城

◇電 氣 課◇

△出納係主任川口芳遠△灣草係 主任津川哲二△決算係主任高木 龍係主任角田一雄△木材係主任 龍係主任角田一雄△木材係主任 百方丑五郎△製齋品係主任高木

◇經理課◇

△ 大概·板工 1500 △ 底務係主任山崎一雄(既報) △ 電氣酸場長第四十四 △ 機械號場長吉川等一雄(既報) △ 電物機場長線影場長吉川等太郎 △ 電物機場長線影冷職場長孫本百 △ 製練 場長策野冷職場長東上芳一

○ 製油工場◇
△底務係主任山崎吉郎△乾餾係主任安成貞雄△蒸館係主任(東)

殿官民有志を招待すると

本計畫係擔當員竹中叫三、向井 養務、井上益太郎、松本秀夫本 養務、井上益太郎、松本秀夫本 選與係主任兄玉八郎本監查係 籍員村田耕作、武田常吉本測量 第主任山口武吉本龍縣塚坑計畫 係主住永井三郎

水泳フ

廿三日華々しく擧行

◇大山採炭所◇

△庶務係主任(銀)坂口兌△本坑坑內係主任安田勇造△工作係主任古田主任(銀)前島眞一△本坑坑內係主任栗屋東一△南坑水內係主任東田東正年(銀)前島眞一△本坑水內係主任栗屋東一△南坑水內係主任中國本資務係主任佐藤哲雄△計畫係 ◇**古城子採炭所**◇ ◇**古城子採炭所**◇ △庶務主任人見雄三郎△計畫係 主任南家碩次△探炭係主任恐利 整保主任高妻猛夫△工作係主任 整保主任高妻猛夫△工作係主任 如田祜一郎△電頻係主任必細數 が田祜一郎△電頻係主任必細數

李子 完 所◇

治宮外記△楊

炭畷部表彰並びに懲戒委員は十八 表彰懲戒委員 九氏を任命

△ 庶務保主任青木剛 △ 計囊係主任 策)馬場彰 △ 採搬係主任東六剛 △ 計囊係主 日文の如く突表された
(庶務課長)大垣研(採集課長)大 保宇(電氣課長)大福報三(機械 課長) 國 松緑(化學課長)岡村金 談(料理課長)石橋米一(古城子 採集所長) 佐藤應次郎 清水喜一の各氏伝命された

續々來征 多忙な野球界

北寧線影響調查

ルの希望を 立にあはて、これがとうかへか 営口、製山ご 関が がは、製山ご ののを がは、 では、 のを がは、 では、 のを では、 では、 のを のでは、 二十日午後一時より際日及び戦山 へ當地小學校講覧においてリーグ 本溪湖

新分掌規定に依る

炭坑各係主任 十八日決定發表さる

新羅の職職大改革に依る炭酸部分 撃規定決定につぎ注目されてあた 撃力を対して大の知

△文書係主任山田海 △人事係主任(報)大垣研△地方係主任,知)大垣研△地方係主任平里展離△農林係主任和田宮 平尾康雄△農林係主任和田宮

日露戦史
「神を化に」
「本家湖本郷戦人会にては基金造成 話好きな性格であるが富分営地に本家湖在郷戦人会にては基金造成 話好きな性格であるが富分営地にの目転を以て特に守備職長羽山喜 居住すると 佐藤兵事係辭任

望戰洲

....(16).....

戰術的清算

六

軍

0

カノウイッチ線に到底し、緩いて塞が耳離に向ひその全土を騰搾し、こか、耳離に向ひその全土を騰搾し、こかが、 年再び西に向ってヴェルメンに全 戦せるルーマニアを蹂躙し歳末に は其首都を占領し、総ちその兵力 は其首都を占領し、総ちその兵力 を獲用し一七年イソンソ河畔四十 インスターーピンスター

全局的の統帥

の極點と見なさるメリガードウ 線に重りて駆迫し、謎に蘇爾をその全

と映すべく彼等に器用過ぎた 原際りに内線作戦 健康に東奔西走、 を早めて行った。 を早めて行った。 ででした。

一大原と映読との連續であった。 一大原と映読との再度の大阪により徒らにしたに過ぎなかった。ルーマニヤ歌院は影所と、「大ならしめたにしたに過ぎなかった。ルーマニヤ歌院により徒らに、「大公連は「大公連は東さる、「大公連は東さる、「大公連は東さる、「大公連は東さる。」

「大公連は東さる、「大公連は東さる、「大公連は東さる。」

「大公連は東さる、「大公連は東さる。」

「大公連は東さる、「大公連は東さる。」

「大公連は東さる。」

「大公神であった。」

「大公神ではなりまた。」

「大公神であった。」

「大公神であった。」

「大公神であった。」

「大公神であった。」

「大公神であった。」

「大公神であった。」

「大公神ではなりまた。」

「大公神であった。」

死の人形だった。ヒヒヒヒ!物趣に映ったものは、あの恐ろしいでした。と、その途職、彼女のと、なの恐ろしいのであればいいである。 ら洩れてゐる。由良子は今や、全 で作った罠の中

入口變更 伊勢町側鈴木吳服店

日下海

聖芸させ

總發賣元

寫眞齡 店隣から御

職のはもつと早く、及ドイツ能 有利に解決する望みが無めつたと 中酸酸のそれと繋出すれば、職 中酸酸との連續であつた、イ 矛盾と破綻との連續であつた、イ

極立てく、 て行ったものと見える。

「とととととと」」「とととととと」」「能学」が一般の主題である。「能学」が、一般の主題である。「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、「ない」が、

(日曜日 の理解を進むる爲めの絶好の機會無其智感生問題の如きは蓋し相互

保無しと難も数くとも彼の赤露が 外蒙と吾國とは何等直接の利害闘

★フアブル昆虫物語 ファブルの外傳昆虫記印より 古外の外傳昆虫記印より六種の昆虫に可いての記述を物語風の昆虫についての記述を物語風のより 一大銭)

及び更に東進して呼倫貝爾に到る を有所勢力と北崎の經際間内に踏まれて呼倫貝爾に到る

外蒙に禁するは却で起だしく危險に対してを関して繰りあり、後等の特性之を置して繰りあり、後等の特性之を置して繰りあり、後の最近なの物性を関係するの心を以て る候情を利用し善導して将來に處っ般民衆の本邦人に對する良好な一般民衆の本邦人に對する良好な るの雅量なかるべからず、

日

著(装幀中博文館競行價一圓六 を (1) 大和の後 古代卷 は神 ため 第十一代垂仁天皇の中半 まで 大和の後はその後第三十 九代弘文天皇までの物語である さとして古事記と日本書記とによつて書かれたものであるが、 幸五以上程度木村少舟 てある、 尋五以上程度木村少舟 である、 尋五以上程度木村少舟

◆少正民事訴訟法解釋 (長島毅、森田製次郎共著) 永 年の縣案であつた改正民事訴訟 法は公布された、そしてこの改 法は公布された、そしてこの改 法は公布された、そしてこの改 法は公布された、そしてこの改 法は公布された、そしてこの改 法は公布された、そしてこの改 正法の新解釋に一番槍をつけた のが即ち 大著である、全篇を のが即ち大著である、全篇を 「序論」第一編「類」第三編「生 第四編「再審」第五編「督促手續」 第四編「再審」第五編「督促手續」 第四編「再審」第五編「督促手續」 第四編「再審」第五編「督促手續」 (長事訴訟費用の正法律 し他に「民事訴訟費用紙法中改 正法律」「民事訴訟費用紙法申改 正法律」「民事訴訟費用。 第一個れも新法制定に関係した人 であるだけに充分に保證の出來

ても短刀を手に持ちなばした。 中泉子は暫く祭堂の前に立つてて、決心の臍を定めると、 突して ひんかが でんかが やが の中にはるない。 来るのだつた。 思はれて来た。 やつばり気の

がっさつきの事が、彼女の神經を 「ない。さつきの事が、彼女の神經を なになった事も定かでな がっさつきの事が、彼女の神經を の最後だよ た短げ、から壁へかけて、ぐさ 思はずハッとしたの独 な女の一人や二人と

をおいている。 はまないので、相手に は子は飛鳥のやうに窓から跳び出 してなった。

主 胸咽喉の流 靈山堂 東京市縣布區霞町廿一番地 渡 神一經痛 振替東京四六〇七番電話青山二六二七番 二十銭 金回到る 過。乳。 のコ縮り 輝

脚して努力せるは上の如し、一句や四政を光賞して國際的にその一句や四政を光賞して國際的にその 強りたる 愛的野鰯に 次つ所大なり、同時に 十六 大石 公面 十六 大石 公面 十六 大石 公面 では かりたるは 関人の 努力に 負ふ 所大 でして 経速なる 進歩 緩塗を 島 すに で 関連なる 進歩 緩塗を 島 す に 対 の が 表 の 多力 に 負 ふ 所 大 彼等は も外機政府當局者の吾人に語る所 と云ふ、吾人は外蒙に魅する明 の質類味ある研究と堅質なる選解 と云ふ、吾人は外蒙に魅する明人の 質類味ある研究と堅質なる選解 でして止まざるのみならず、 を書ひ弦に此記述を結ぶ を書ひ弦に此記述を結ぶ

へ推薦讀物

好意を謝す

職を下してゐる。著者が序文で る事のに勇敢なしかも明快な解 の道を見失ふことなく大小の疑問、難解の疑問を問はずあらぬ るものに勇敢なしかも明快な解 ない。著者は序事訴訟共

教専調査會で發表

(製幀中婦人

「氣の迷ひかしらん」

物調査館例館に於て左記六種が推議。『奉天特信』第二十回改萬兄童讃 兒童 盛鳥角房氏の起稿にかゝ一記 本稿は現在張河口在一

さざるも外蒙か赤霧に野する歴度 を抵納せるが如き、或に留壁セを抵納せるが如き、或に留壁セをが如き、或に留壁セを 本書等市 年生 お話 一年生の程度に合ふ面白 一年生の表でどから探っ を愉快とする、無邪氣な を介表の姿に描かれてゐる、 を介表の姿に描かれてゐる。 全型にお聴めしたい、長 変見にお聴めしたい、長

元 音発

▲西洋小學修身讀本 英 画洋小學修身讀本 英 下氏原著を編譯したもので修身 道德を「かくすべし」がくせざ るべからず」といふ風に强制せずして本來持つてゐる所の人間の本 能の期等に對し、よき方面への 能の期等に對し、よき方面への 能の那等に對し、よき方面への を驟の題目にづいて多くの例話 を驟の題目にづいて多くの例話 を驟の題目にづいて多くの例話 を響げた極めて面白い讀物である。一、二年用、三、四年用 五、六年用、本地正輝著(四六 版装幀中金の星社發行價各九十 綾) ▲尋一、二年のゑばな 簡單が挿畵のあ も再び事件中心

の片鱗とも見るを得べし、是を以で外蒙の赤には恐る」に足らずと 高すは固より早計に失するも、 而。 「いって赤露勢力を以て外

の片鱗とも見るを得べし、是ぎざるも外蒙が赤鱗に難するしめたるが如き、單なる一例

かます。現はした黙など紙學年用 として相常意が用められてある として相常意が用められてある として相常意が用められてある 四六版裝幀中文数響院設行價各 四六版裝幀中文数響院設行價各 批評 **少新江西菜0**所6至1

身に迎つてい

由良子はまるで 領域 ないんですか」 「畜生!」 見つめてるた。 に、この突然出現し

らな驚がもれた。とま

藥秘法秘朝清 劑壯强養滋

旅行鞄にお忘れなく

肩のコリ

は周到な用意として、ゼビ『妙布』の一包をの健康と幸福のため、避暑地へお出かけの際 みを感じた時 即席の侍醫として 常に元紀 海の疲勞に 登山の困憊に コリを養え 痛 恢復 健康増進の効果を把來致します 皆様

地にはゼヒ『妙布』の一句を御用窓下さい。 一覧は旅行シーズン 避暑季節! 海ば浴に山 妙布の御用で解析を除り をお忘れなく

渡れるを沿れるを沿れる

性されたようで、大きなとでは、います。 は、このでは、では、いまない。 は、いまない。 は、いまないまない。 は、いまない。 は、いまないまないまない。 は、いまないまない。 は、いまないまないまない。 は、いまないまないまないまない。 は、いまないまないまない。 は、いまないまないまないまない。 は、いまないまないまないまない。 は、いまないまないまない。 は、いまないまない。 は、いまないまないまない。 は、いまないまないまないまない。 は、いまないまないまないまないまないまないまないまないまない。 は、ないまないまないまない。 は、は、いまないまないまないまないまないまない。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、

棘子 橫江 溝戶 伊藤幾人 川 Æ 亂 史步作 造畵 (146)

(四)

の頭

(完)

生

梗町の下水

種類屋さんでさ、不割りの大番をするそうです、家主さんもちを考へては如何ですか、住宅排底でせり、購買組合の出來の昔には小商人がサラリーマンを虐めたそうですが、前車の覆轍を踏まぬやりですが、前車の覆轍を踏まぬや

家主さん方へ

「世とヒヒヒ!」と人 を胸に感じるのは無理 無味な笑い にあるのは

自分がやらうとしてゐる事の恐ろしか、蛭田楸事その人なさすがに女の身である。彼女は今し、あゝ、いつの間になと、彼女の不安は去らないのだ。してゐる一人の男――。 れて行つた 曲良子の

と、彼女の不安は去らないのだ。 薬の側を離れた。一應部屋の隅々 薬の側を離れた。一應部屋の隅々

- 関七十銭東京神田區今州小路一語つてある〈五百十六貨定價三れたものでないことを如實に効等しい言葉の理論にのみとられの解釋が一段學者の如〈空論との解釋が一段學者の如〈空論とか〉と言つてゐる言葉は著考

出良子の方

何かを含んだやうな低い陰氣な笑 つとして邊りを見解す。誰もあない。部屋の中には依然として戻つ にない。部屋の中には依然として戻っ その途職、突然ドサ

朝服んで晩の氣分

容がして人形がさつと、 ・ 関か発と潜れく に倒 が発と潜れく に倒 が発と潜れく に倒 に関いて来た。その翻 をでいた。と、

の時である。

受然、ヒヒヒヒヒといふ物康い 突然、ヒヒヒヒヒといふ物康い その短がは下つてくる。今一振りでけられた替日 それで花子の命は天外にとんで了るのだ。

出来るだけ物凄く作った人形の離とが、今や反對に彼女の魂をゆすぶった。薄あかりの中に、ほんのりと野んである蒼白い人形の離した。それに今や全く狂戯しき

柳町HK生へ

生る日ダサンと云ふ原料連 「大に知れずしも害なく薬を 「大に知れずしも害なく薬を 「大に知れずしと言ふのを遂念と 「大なみ選」



毛生薬は世の大

京法無代進皇



婦人は聞き返した、其の時…………

で乾燥させる事からしても時々る。 床の凸凹はよくない、之は地の一般りに撒布して洗ぐ事にしてる

理化と理髪クラブ」の小黒板をふ式を偏へ、入口に「塵生生活の合致者の南颱の一量に理髪の用具」

れた『寫真はBC俱樂部で

やつてゐるところ

ださうである、同校は昨日たら校友會の基本金に繰入

第一學期を終ったので昨

日の午後

貸家

三側より五〇川電六四七七八城町二等築ステム水便

收されるまでに至らないが

純益が

あがるや

ろになつ

温水綬房水便付電八七〇

能登町六七二

電話三〇四九番

回の理髪料金は露剃り共力 は試験期になると休業をす 課後四時半まで、此の理

金が回

貸間 朝日腹場近く新家屋梅り 様の建八六六三十八平中 様の建八六六三十八平中 は 名 在 計 は 名 在 計

薬はヒシカワ機局

「失體ですがあなたは僕の奥さんではありませんか」

「エッ?」

「長い汽車の旅でさぞお疲れで」

線音をたくのがよい。又 ジャガイモを線管立にして夜踊し

の類は今津堀取粉を床

床に入る五分前位に出入口を開い いが尚心郎なら針金で工夫したりて機無を行つてゐる。之で大低よ

「ナアニ奉天からですから」

て賢明な近代的スピード末版はと思へた。

数や・競の策防、製味が凸凹になった。 ではキャムアの味がない、そこではキャムアの味がない。 を選は眠る前に天幕のタレを下し を選は眠る前に天幕のタレを下し を強ればよい様なものム、それ ではキャムアの味がない、そこで を選は眠る前に天幕のタレを下し をではキャムアの味がない、そこで を選ばいる前に天幕のタレを下し

ではないかと思った、衝撃にしても夢にしてもトン吉は嬉しかつでござります」とあつさり言つたのでトン吉は蔵食らつた、錯影

づ十分眠らせるには、

生徒の理髪屋さんが

チョッキ

大連二中のBC俱樂部

きは中々うまいものだ、消散器も

業?時間は畫食後の休憩時

あれば、洗頭用の水槽もある、

時ると放い

二十六名の有志、チョッキン、チ中で自ら進んで奉仕しやうといふ

貸別

さんは同校生徒の

その婦人は慥にトン吉の郷君ではなかつた、それが「はい左線

福

僕の與さんで

汝朝

D

西洋將棋な

どに興じて

に至って睡眠を興へ起床した時に

お食べなさい

が大回の

がそれまではこの木に鳥がをりま

「今年の六月です、わしの酸論で

さんにはサイレンを取りはづす事のもをしい事だ。 しかし結局市長りとて折倒作つたサイレンを取る

水社 若狭町一六一 游鮮經濟社 外交 に評論ある有能の土を求む希望者履懸携自後六段を持ちる。

ゆ河口大正通り 岡築新聞きた日 入用薬店に經驗ある者

にしました。

しては御先腿に申し譯がない。さまひました。何しろこの木を枯ら

外交員募集年

市長さんはおっと考へ込んで

「あのサイレンは 何時作りました」

「それがいけないのです、

野

太

郎

童

話

お

樹

(四)

なくなると今あなたの際に落ちた 様な手虫が一杯木についたので木 がねかけたのです」

金八拾五銭金十八拾五銭金十八拾五銭銀金十八拾五銭

天帆高級純生漉お使紙は

名刺電話八五九

配印に限る

印書の理機需電気

日案内

中古

藤下修繕返

り鳥は需識を喰べます、

イレンの音で鳥が居たり

「はあ、

ました、近頃一別も

砂糖は疲勞を恢復する

=

學生は大した困難もなく徹夜を行

その間數時間の勉強を命ぜら

時の如く行

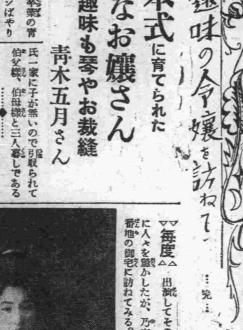
翌日の日曜

の世には珍しい純日本婦人の特長 本五月さんは現代のモダンばやり

の信母線の経ぎ光である山内勝蹶 一の信母線の経ぎ光であるが、當地 を備へた若い女性であるが、當地

本春 帰生高女称楽の青 五月さんが女際被に入際してから習ひ始めた琴が日が疑いにも を書き、生來器用な手先を持つ で、生來器用な手先を持つ で、生來器用な手先を持つ

閑雅なお嬢さん 趣味も琴やお裁縫 青木五月さん



ひました語りでたど今は続けて居の母と申しましてもほんの儀器 さんに呼ばれて出て来られたが満 してみた五月さんも伯母の感である。 奥の

になってから女中と指令がつかなこの人に響所のことをさせるやう ますので励しましたが、一時はおくなつたり女中の仕事がなくなり 母さまの話。

朝日實業店

て、特理やお奈所のことは成るべ 製理、掃除から一切この人にさし 料理、掃除から一切この人にさし 料理、掃除から一切この人にさし はなり可 ので今ボーイを一人おい 相で、 はて五月さんも解光物は縁で、映 でも日本物の方がお好きだとあ なの生命は裁縁だと伯母機か ちも喧しく、今は終日お裁縁だと伯母機か のお をはない、 のお をはない、 のお をはない、 のお をはない。 でも日本物の方がお好きだとあ でも日本教の方がお好きだとあ でも日本教の方がお好きだとあ

貸衣 裳

古着

例の紳士が例の如く云つて顔を出した。 純日本式に育てられた D 一切の物を出した後で平にかきなり

番地の御宅に訪ねてみる。

大連第二中壁校には今年の五月頃 ある。これは即はちBARBER るる。これは即はちBARBER

にもすなほなお嬢さんである。 ら下げてゐる 化粧に身製ひもき 家事へ ちんとした如何

をいます、お料理などを自分でするのは好きです」と頗る家 「お琴など一番好きなものです「何がお好きで」か」と聞けば とお裁縫は好きで ▽五月△ さんの手

と申すんでございますよ」と伯と申すんでございますが主人が交響外でして、陰操などどうでもいゝなど はいつも除りよくなかつた様で
が、その代り運動などは嫌ひだ
が、その代り運動などは嫌ひだ と違って指指等先が膨くなって

松な家庭である。 な 土地 格安にて護る 三河町入口正直洋行電五五五七三河町入口正直洋行電五五五七三河町入口正直洋行電五五五七三河町入口正直洋行電五五五七三河町入口正直洋行電五五五七三河町入口正直洋行電五五七十一年 下宿 下宿 **汽料** 合百事吟撰永滯在倘勉强 合百事吟撰永滯在倘勉强 門一丁目一ル 朝所聖徳街閑靜な室家族

モミ

クサ

場隣根本類局電七八六二一列率有ます

園町六九 電

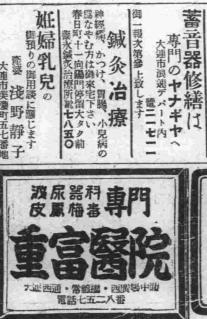
電話八二〇三番

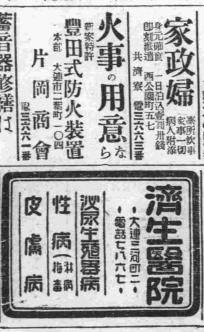
チチ 療治御望みの方は 性異丸

あれ播響町 一七柏互前を東へ関町六六 大駅作付格安護る 大駅町六六 大駅 持田順天堂 電話三二〇九番 物鮮總督府官製 モミ大連 市田四六九二番 電話四六九二番

がたじまる。 春日町十一向陽門停留大タク前 際水鍼炎治療所配七八五〇 神経痛、かつけ、胃腸、小兒病の 神経痛、かつけ、胃腸、小兒病の 第元確實迅速低過 (減率一個) 日 (減率一個) 日 御預りの御用談に應じます 産婆 後 野 辞 子 ・ 大連市美濃町五七番地 洋脈類舊發 安信會 日一圓

大連市吉野町ニム 野中醫院 性病。蘇門下野





ラデウム温灸治療器



生花

お

(男女研究生)、三名採用) (男女研究生)、三名採用) (男女研究生)、三名採用) ツサージ院

小寺藥局 話六九〇九番

姓名在社 米國職人著資器破格質出来國職人著資器破格質出土建常縣橋筋西涵角大連常縣橋筋西涵角 キッ精工会

小兒

ヴイタミンBの世界的始祖

氣に對するオリザニンの效果は既に決定的事實なり

オリザニンは脚氣の外 (1) 重病經過中に來る榮養 其浮腫の治療と豫防に (2) 人工榮養兒、特 穀粉榮養兒榮養障碍の治療と豫防に (3) 姙婦の榮養を助け惡阻を輕減若くは防止し便秘を去

るに極めて適切なるを知らる 粉末、錠劑、液劑、越幾斯劑、注射液の各種あり 類似品多數ありオリザニンで指定を要す



後夜を命じて疲勞狀態を詳細に實 させ、一定の食物一定の運動を興 、殊に母土曜日には之等學生に 、一定の食物一定の運動を興 さの説によると始めの土曜日には、 賞蔵主任レイアード博 するため八名の學生を び疲勞と食物の観保 び疲勞と食物の観保 では不民性及 では不民性及 十三時間の睡眠をとつたが疲勢のレートだの其他糖分を含有する飲いしたので、 翌日 至って始めて睡眠を許されたが、夜をあかし、翌日の正午少し前に にも徹夜したが、この骸夜には瞭 程度は普通の状態より約五島程多 歌生等は無特よく越上つたものだが次回の意識後の睡眠では起しても中々越ぎ上らなかった。第三回の土曜日の徹度の警譤は糖分を興へて行つたが第一回の時と同様で、なる繁に出來且つ疲勞の恢復も早かつた。之等の愕論から見ても

注意力の集中程度は前回の實驗のはこの夜も勉强を課せられたが、 分一號を與へられなかつた。學生 たべなさい。因に米國では勢働的を整理で最後である事がを変による効果のある事がを変による効果のある事が

に特に注意しなければならぬ事は が之は騒撃の密度や縣の段否にも

くいつて、ぬけて

かけ出せば

就床後部尉にやる事である。親み

まだく

さん四五名入用

ギンネコカフェー

なくなって來るのできよとんとし るます」 市長さんはます。 をらないので静かになって喜んで

はくなりました。及一方説れ した(終り)

大会 大照十七、八歳より二十大会 が 東見智募集本人来談 帰見智募集本人来談 電話七〇六四番

金

マホ

「山御手輕御用立致

再び巢をかけ「御城の木

れながに

男女 外交販賣負人田 連鎖商店清水慢物店裏 連鎖商店清水慢物店裏 大田 東京

電話

内社に限った。

染物

キャンプの仕方 キャンプと健康

総つてから二、三日睡り観けると を発日の活動を妨げ、或は野客を で翌日の活動を妨げ、或は野客を で翌日の活動を妨げ、或は野客を のでのから二、三日睡り観けるい 云ふ様な事をやる。之は決して賞終ってから二、三日醴り続けると ぐつすり眠れ にやられなかつた經緻もある、だ にやられなかつた経緻もある、だ にやられなかった経緻もある、だ 他を観しい、満洲の様に夜明に急いらしておくのがよい。通風の事も

大連少年團主事 阿左見福馬 赤とりるかれるの 謡

なねが呼ぶ 船がよぶ 童柳 のらぬ、のらんかと ぼう、ほう、ぼう 沼田冬子

部職の有無は、翌日の闘獣の核特にまねばならない事だ。就職後の概まればならない事だ。就職後の とするのである。 屯

はしの上

だい うみ ぎんぎら

信用

ふかい海

長いはし からくころい

ぼう、ぼう ふねが呼ぶ ばらと

たがいサンパタ 邦文 展示師 まさご 展示師 まさご 人用日鮮支人及び年齢を 大用日鮮支人及び年齢を 大用日鮮支人及び年齢を 大用日鮮支人及び年齢を 大田 100 大田 100

求店 タイピスト短期養成 電四三〇八英多音 小 信用貸 様 手軽御用立致 か可口仲町九一 向 上 社 か可口仲町九一 向 上 社

三番地の五、永島電ニー大七八四部が替致升、大連市漢路町

小口

若狭町 一九七 にます

吉日電五〇一三

東星ケ浦に種々あり 牛乳 牛乳

まだとほい

まだとほい

国 大県町一一六 宮 坂 東郷町一一六 宮 坂 東郷町一一六 八猴身顫人の 大黒町一一七五 小 味 電話三九五三番 生乳 なら大正牧場 八 五 電話七七七二番 九四八四番 元 八八五番 九四八四番 九四八四番 九四八四番 1000円 壽司 1 バタクリーム 電話公正三七番 電話公正三七番

薬及治療 は常経路のサクラすし

電話二〇四七番 電話二〇四七番 電話二〇四七番 電話二〇四七番

票話五六二六番 四十七番地

一五九八番へ

R語河島ミシン店電六六八引 ・ 修理、荷造等一切は ・ で換

別 武器一切鑑定並質質自家 製刀劍錦止打粉有 車市署城町五八 南海堂肩山 車市署城町五八 南海堂肩山 車市署城町五八 南海堂肩山

小口 金 御用の方は御来談あ 北磐城町 一〇

漢字では、 本では、 本では、 本では、 できない。 できない。 本では、 できない。 本では、 できない。 できな

連大

八番

(實驗報告集進星)

をれば何によるかで化粧用 を加騰さいふ方も少くない。 素顔の時

建の「白粉ご乳見の臓膜炎」 醫學博士前田伊三次郎先生

にならない方もあるものですのですが、情てまだ思ふやう

垢メケして綺麗なのは誠に白粉氣なしの素顔がすつき

誰もが望む所のも

宮鉛白粉の

中毒は夏に多

着色してある

玩具にも用心

有名なもの

化粧用美顔水は皮膚の美を損

の儘にしておかず、化粧用美浴、顔をもの後なご、顔をそ

美顔水の常用です。洗面、

自粉を落した時の素顔を見る

頭ぐに分ろ

がそれはあながち六かし

綺麗にする

舶來品

ら國産品

に呼吸して、その徹底普及ご の他の有志の發起で設立され 聞きして **几一日から實施された商工省** 買現をはかるための國民的機 ようごしてをり、またこの六 國産品愛用 民 ち等、斯ういふ時代の勢の 機関事業をも掌ることにな 前には婦人方も覺醒せずには

の産業合理局でも、國産愛用 家が達してるる ごしく國産品を愛用するや 來ました。舶來品でなければ うになつたのです。 ・三從來思つてるた人々が、 の國産品が温々優勢を加へて

れてゐる「美顔」の發賣元、 成あるものこして認められて 松粧品研究所の如きは最も権 化粧品研究所の如きは最も権 立つ化粧品が、本來の品質に 斯うした科學的研究の上に

優勢を促して來たのです。 解されて來た結果、前記の 次第に國産化粧品の

なよくし、肌理を細かにし、 皮膚の生氣を増し、垢ヌケして美しくなる有名な科學的優 で美しくなる有名な科學的優 母体の皮膚 ら吸收 されて へ出て 乳の中

さいふ小朋子から書扱いてみ む際になめて子供の体内に這粉が乳房につき、肌着についた白 が含鉛の白粉であれば)ここが多い。こんな場合は(それ に暑い時分には汗に流されて 上半部にかけて白粉を塗る人 日本の婦人は多く頭から胸の量の鉛を食ふ事こなる。尚ほ 量の鉛を食ふ事こなる。 子供は遂に積り積つて可成多來る、其乳を毎日飲んでゐる にきび吹出物が出來るご折 角の縹緻も埋もれて終ひます が、これを治すのは然う六か しい事でもありません。 にきび吹出物に

のりかはる婦人方が多い 科學的水準は 今では既に 流。気が、 於て舶來品に護る所のない事 は勿論で、殊に歐米の人々を は勿論で、殊に歐米の人々を

が強々はつきり多くの人々に 一段も二段も立勝つてゐる事 日本 の肌に合ふ 婦 つては

砂)は非常に微量ではあるが、含鉛白

入るここもある。 多 夏に本病が いといふ

によつて自粉が流れて乳房に とつて動が溶け易くなつて多 に子供の体が毒に對して抵抗 アなの嫌防につける事。 尚ほ 比べて多いここ、そうして 汗疹の微防に 似であらう 皮膚から吸收されて乳に 其他子供に直 ゐる事等が其の

おは乳見には非常に恐しい有いない。

から安心して使つてよい。… らは朦朧炎を起した例はない らは一般がない。 で、含鉛の顔料が塗つて色ご

えり元に 夏の婦人の姿態美は 眼が

婦人の姿態美に缺かされぬも に柄のよい單衣、これは夏の 知られてゐる「美麒」の間慄を 白粉ミしては、科學的優秀で 白粉ミしては、科學的優秀で

無いないですがら、ないののあるとはないですことはない。これますが、紹介のあるとはない。これますが、紹介のあるに、一種のないを、一般のないを、一般のないを、一般のないを、一般のないを、一般のないを、一般のないを、一般のない。 け易い方なごが保ちを一層確 お勧め致します。尚白粉の剝 かりさせるには、化粧日 美顏

水で溶いてお用ひになるに限

のです。 品な清楚なお化粧の出來るも 愉快に顔が そこで、白色美顔水を使つ

朝の氣縛は 3 るこ。

くない淑やかな香、水を加へ 美顔洗粉で顔を洗ふこ大變 一日の氣袴

三十年來の定説

るくさく

は「いきびミり美顔水」を常に便秘のあるやうな方は先づそれを治す事、そして一方に

を常

▲上品なこい化粧に

事は夏 をつけ のもある…自粉等は のもある…自粉等は のもある…自粉等は が、大人にでも又有毒で ある

…。」尚は終の方に小兒の玩具 から安心して使つてよい。… から安心して使つてよい。…

を起して來る。」言警戒してあ れをなめる三恐るべき鉛中毒 て長々三座りこんで化粧をす なく又今の時代から言つても

元來科學的に深い研究のあ 殊に平生の化粧ミして婦人間 氣味合だミいふ所から、此頃 ▲後れてゐるやうな

が、殊に優秀な化粧品になり 良いお化粧の出來るものです る化粧品ならば、品數少しで

▲只一品でも魔分点

水白粉ではなく、白粉の原料の水で溶いたやうな尋常一様の 普通の白粉を普通の化粧水や 一口に水白粉さは言つても。 白色美顔水や肌色美顔水は

終へてから顔の膚に觸つてみで顔を撫でる氣持、さて洗ひ やわくこ、すべり

て一寸煉る、掌の感じ、それ に気持のよい洗顔料です。 な、純良な中性脂肪で蛋白質な、純良な中性脂肪で蛋白質 何こもいへぬよい気持がしま こして、わるくギシつかず、 此樂が非常によく効くこい。です。正味本當に効けばこそ、種々ののみ樂やつけ樂で十一足せられます。用なさる事。これが大體です。ふ事は三十年來の世間の定說。今でもその定説があるのです。分でなかつた方も此樂では流

間に急激な傳播

熱心に持て囃される

肌色の水白粉と

肌色の粉白粉

日本品の方が 粉類を

ずつと良い一の他有

鏡の前で種々なものを使つ

滴を一寸掌でつけるだけで清 新なお化粧をする。また ▲色の白くない方、

研究には實に多大な心力が盡

も飽くまで厳密な科學的方法

し、そして製造の工程の一々

實用的で

谷化粧品研究所の研究は歐米

によるからで、この点では桃

なきもの言して知られてるま の一流製造家のそれに譲る所 ▲科學的方法一心の

粧力の優れた白粉ごを土台に

し、此の美容成分ご前記の化

からして、

この仕方が盛んに用ひられま 方は肌色美顔水で右ミ同じや 味豊なかお化粧をしておく: 脂肪性の方また少し年ばいの うな至つて簡單な仕方で自然 に最も適した原料を製造し、 されてゐるーにより、水白粉 ある美容成分―荒れを防ぎ、 生氣を長く保たせるーを完成 皮膚の榮養こなりまた皮膚の 一方また皮膚の整美に特に力

勢なく美しくさせるのか? では何がお化粧をそんなに

▲化粧水を兼ねた類の無い白粉

手早い く上の地に

來る白電粉!

品なお化粧美を現はし生地まで 垢ヌケのする類のない 一寸階けるだけで活々こしたよ 水白粉!

▲色の白くない方の自粉

肌产 -年ばいの方にも-



▲上品なえり化粧に

本當に上品で美し

しか。生れつき生地から

▲落附いた美しいお化粧が出來ます
▲店らかにそして如何にも上品な…
▲生れつき色が白いやうな白さに…

日焼り防げる

には境も浴び开も出、自粉が 落ち易くまた日に続ける小化 のある。さいふわけで外出の のです。 引しめ、白粉を附き易くする 白

てゐるのですが、

肌色の方が一そう適合する 水の方が一そう綺麗にお化粧 仕上げは粉白粉ですが、先

へ氣味にして刷きます。 あり、保ちもよく、日焼の防 軽く押へておいてから、粉白く雨楽にのばして白粉の上を この仕方は非常に綺麗で

ひられます。 因に、肌色美顔 水も肌色美顔粉白粉も、 輩に 水も肌色美顔粉白粉も、 輩に 水も肌色美顔粉白粉も、 輩に 粉化粧川、

別の原料さして製造してある。 ない立派などの大幅にも別論選けをこらない立派などのも言はれ、横がであり、歌木

外出時の此仕方

と言ふので

時は次のやうな仕力が流行つ 水か肌色美顔水にして、淡い めの所を一三度刷毛で附けま 粉一は白色美顔

方は「白色」でも「肌色」で が方や脂肪性の方は肌色美顔 も御随意ですが、色の白くな ぎにもよいこいふので流行つ 一注意の点一は色の白い

粉

拱谷化粧品研究所創製

に化粧用美額水。これは脱脂をよく拭くのですが、地肌の

化粧川美顏

一使 用品一はお化粧下

派

加加

美質な

洗

粉

▲自粉のト

機化粧こそ員に水陰立つた美しさですり満ちかな白さ近々こした澤しこの自物の

▲色の白くない方の粉白粉…

肌色美顏粉白粉 脂肪性の方年ばいの言語を

◆脂肪のわる光を消し… ◇品があつて奥床しい・・

◆生れつき色が白い様な ◆立派なお化粧が成ます

日本人は一たいに皮膚に黄 現代的との評 たが一種で綺麗に

というと、色の白いこによっても真白な白粉ではごうか 来たのも婦人間に然ういふこ をの自粉が急激に迎へられて をの自粉が急激に迎へられて 白粉こなるこ白さがしつくり殊に色の白くない方に真白な こせず鼠色になつたりし、

科學的製品で、本當に具合の水た為めで、わけても厳密な 美顔水三肌色美顔粉白粉が人 よい肌色白粉ミしては、肌色 段々問題となって

で、従来真白な白粉では思ふな水白粉で、色の白くない方、な水白粉で、色の白くない方、根 氣ものになつてるます。 肌色美額水は科學的な清新

作用の故に、色の黒いのも、 で行くこ、その微妙な肌色の で行くこ、その微妙な肌色の 粉は見た所輕い肌色味がありが出來るのです。これらの白 非常に具合よく美しいお化粧 やうに出來なかつた人々に、

自然のやうな。生れつき色の かるく白くなく 脂肪のわる光もかくれ、

白い

行は肌色美顔水ご同じで、M 化粧直し川、仕上

肌色の白粉に適するやうな特 土台の原料から 高日大連九に乗込んだ青島 夜音連した慶大野秋圏(下)

靑島に

發生す

近いから當地は危險

したところです

された際状を呈した、又意材、ラデオ柱等到る處

東京の流行動に入り各方面では 東京の流行動に入り各方面では 東京の流行動に入り各方面では 東京の流行動に入り各方面では 東京の流行動に入り各方面では 東京の流行動に入り各方面では 東京の流行動に入り各方面では 東京の流行動に入り各方面では 東京の流行動に入り各方面では

有の親を海務局にもたる 本調で今間東畿になりまか。 がすくでも関連されたのですがはしてみたのですがになりまた。 住する港の事ですが はしてみたのですが はしてみたのですが はしてもたのですが

避した報告に依ると球響郡人吉で 【熊本十八日發電通】縣保安課に

百戶倒潰

死者五名

ムー行は十八日朝八時前列車で置沿線各地に轉戦中の八幡戦鏡チー

倒潰家屋多數

八吉

家屋倒潰

暗黑世界

送電線切斷で

惨澹たる長崎市

行方不明は多數

帆船沈没は十五隻

關門地方被害甚太

世界記録の四番

は今回の颱風は

建物は今際館漫した 修造たるものである

「小倉十八日愛電油」列車が突と 要工事中午後二時過ぎ漸く復雲余 等工事中午後二時過ぎ漸く復雲余 所附近で暴風雨のため崩方に列事 が城時際事してゐるのに氣付かず が城時際事してゐるのに氣付かず

「福岡山八日破電通」縣保安認会表、産業組合講習會女子融講者三十名を收容してゐた市內百道教育、大名を收容してゐた市內百道教育、大名を放容してゐた市內百道教育、大名を放容してゐた市內百道教育、大名を放容してゐた市內百道教育、大名を放容した。 今朝來近來稀有の暴風雨襲來心全

東京、大阪方配電信電話駅は脳本 東京、大阪方配電信電話駅は脳本 東京、大阪方配電信電話駅は脳本 土名、貨幣者一名、球職者一名、球職 酸害多きょ損害不明 一名、球磨川上流の は悪い上流の の個所多く詳細不明で顧蹤は管内 ある

行方

家屋倒潰で

木貞一氏作『海の唄』

挿畵は春陽會の一木弴氏

四連載小說

は

ふと、 會演は一般 計議水液部では本廿日正午から黒 高機族水液部では本廿日正午から黒

満鐵水泳部遠泳

第九

一一次算機

言葉によりその抱負を語ってゐる。や壁體者各位を魅了し 情殺すること

一十日朝出帆の香椎丸で闘所す一ることになった

慘澹たる被害 者行方不明を出す

縣下

佐伯博士婚禮

酌婦三名が

行方晦ます

到着した各階級の報告に依ると左から中央公職内保健浴場に於て観覧を終十九日韓電通』縣保安縣に一任を機とし来る二十三日年後一時 酸會を開催すると

哀れな兄島高徳

貧苦に惱やむ一家へ

恩賜慈惠資金から救ひの手

世界を一周で

至つて安良に且つ「「無力」を表示なる事は他に難例なく 家庭用、客用に臨んに鞭迎され交便秘緩和、 脚海環帯防に多大の 家庭用、客用に臨んに鞭迎され交便秘緩和、 脚海環帯防に多大の が失あるのが其特徴であります 用ともなり夏の御阪を愉快にだける 野根の食物品であります 用ともなり夏の御阪を愉快にだける 野根の食物品であります 用ともなり夏の御阪を愉快にだける 野根の食物品であります 用ともなり夏の御阪を愉快にだける 野根の食物品でありますから 思事御買上下さい た重月番買りうけし

六名に達す

流失家屋二百七十

た死者は

南朝の息臣兄島高德が龍なる架容」てた。それから後は家族の生活は

名 早鼓 住家全潰白1、 八、非住家全潰白1、

「何たる皮肉であらう」、そして偏気 何たる皮肉であらう」、そして偏気 の概にもおかしき話の一瞬は、右 は夫が入職して間もなく更に一女は夫が入職して間もなく更に一女送に思性の眼臓に左眼を失明額い送に悪性の眼臓に左眼を失明額いが、大きにない、 は大が入職して間もなく更に一女送に悪性の眼臓に左眼を失明額い

現たい見せたい驚ませたい、新しい紙に描かれた叢土鷹、『富士』に大部戦されて大部戦、八月號の間十年の「富士」に大部戦のとは深なしには讀めぬ名篇に 帝年は南三日在連の上魏子篇、安 東を経て渡鮮し日本には約五週間 東を経て渡鮮し日本には約五週間

北寧線不通

沿線各地及市内の特約店を求む

満洲總發賣元れ

谷

電話 I II OLE

夏稽古開始

整へてゐるので特に猛烈な総古を 不後三時戦から四時代まで製中都 古を行ふ物であるが今年は同志社 古を行ふ物であるが今年は同志社 であるが今年は同志社 學生取締 東公園町議鐵道場では例年通り七

慶應野球團着連

12

全力を竭しますこ

岡田主將語る

純郷間では大

全滿選手が集り

けふ湯崗子射場で開催

射擊大會

二十日より二十六日まで 電話變更(二二二〇番)に御用命願ます 記移轉額 常盤號が心齊橋へ進出 -アルバム原價提供-破格見切品多數有り-全商品空前の大特賣 連鎖街心齊橋通中央 電町額 四 七分



司令官一行は十八日子前十一年日【綾山特館十八日簽】菱刈崎東軍

鞍山視察

飲んで効く眼病薬

宴會、御會食 特に勉强致します 星ケ浦 電話九六三六番

いゼ 8 東京風菓子謹製 7 " せりひし 2 ん羊吸 名 き素 産 佃 東京佃島 煑一あみ。 昆布 製にしし はぜ。 蛤 大連大山通 5 00 15

関係者校友自先監察多數の出場へ 下一行二十一名は監報の如く十八 下一行二十一名は監報の如く十八 下一行二十一名は監報の如く十八 所用主際以 の出書と問題。 の出述の の出述へ の出述の の出述へ の出述。 日的をして せられたものである 三、各種の運動宣傳、講演を禁止す生の単天居住を禁止す生の単斉居住を禁止す 就し夏季休暇中の學生取締りのは 長は着城中等學校以上の學校長に 優楽天特電十九日獲 激彩教育概

示し長くつやを出 金融富

大阪首延留の最一三宅教

した暖本監督は語

で奉次一番園三上和志氏の講演を 三十日(水)千後七時より常安寺に 三十日(水)千後七時より常安寺に 三十日(水)千後七時より常安寺に を 後間満

酒 日本 荷新

一日活現代劇臺本より

11111

MINIMUM OF

がまされるな 素人で 淋験見の種々の手段 が変見の種々の手段

を

見

淋漓には新

座

同

構

來,。

の(淋菌)が浮

これが

一家の自鵬車が周周近く

であた。 能かな夜の酸っなかでコ人々の 心は際く自分を反省するだけの落 かきを収返してみた。

そうさせたか

日は再が後子の死亡を抱いて

ての歴史」は魅力を持たない。

を使うてあるのだ。莫迦ペをしい 関りに腱が形を世間である、見て 関うに腱が形を世間である、見て

B

フッ

所專 在賣

地所

りあ者る賣を

「有田晉松鑑製」

發賣元 東京日本橋通三

なっちっての大きりも物はき

翁大阪內本町二

たのである

其時、既一其の女は死ん

るに至るのである

ったと、ちの人には母親としての母素には女性としての母菜としての母菜としての母菜としての母菜と だが出機能は同じやちな地命で

りよつたりの途を歩いて来た

ないである。 が触失きにつかへて楽て、とも すると其の塊りが彼女の常原を狂 すると其の塊りが彼女の常原を狂

心臓い女の散泣き

であた。 をそれでも既め据えるように眺めず日は、動かに、飲みある歌楽 て来てゐた。 き一思し青に傷つ DE 汉章

てあた、凝然……と夜の歌級がか 在本に、複数……と夜の歌級が人であた、複数……と夜の歌級が人であた、複数……と夜の歌級が人 ずには居られなかつた……o がには居られなかつた……o 落ちて行くような部けさである 誰が殺したのだ? 日は卒然と立上った。 に慌たいこく

(大阪市役所

るがそんな療法はまだ際思界では認められて居ないのだか ち注意せればならぬ。まづその薬効を知るのは小便の検査 の中に白い糸屑様のものや細いゴミの様なもの(淋菌)が浮 が取れない様では楽気はないのである。有田ドラツグの禁 が取れない様では楽気はないのである。有田ドラツグの禁 が取れない様では楽気はないのである。有田ドラツグの禁 を服用すれば其日から糸屑様のものや細いゴミの様なもの を服用すれば其日から糸屑様のものや細いゴミの様なもの を服用すれば其日から糸屑様のものや細いゴミの様なもの を服用すれば其日から糸屑様のものや細いゴミの様なもの を服用すれば其日から糸屑様のものや細いゴミの様なもの

所服業さして、密奏學上最 帝國醫科大學病院 帝國醫科大學病院

見せる時は分析料百円進品する時は分析料百円進品する時は分析料百円進品で 外省衛生試験所 はられついる

め始で本日







高砂工業 通信用トシテ最モ高評ナ

野 滿 総 代 理 店 餘 姓 進 商

小児科

募

弁醫院

大連紀伊町二七

電船六〇五〇番

交頭至便の地であります 教育玩具、文房具 常經機電車停留所前

月駒車電車御符合せ中に御立寄り下さい 常語ハハ三ハ番

全 島谷汽船連出

國際運輸離大連支店

天津迄溯統一

大連市山縣迅

午前十一時一家

① 大連汽船

取 版 店 丸 二一 玄

中党時出與 唐山丸 七月世日 中党時出與 唐山丸 七月世日 大阪商船 大 連 支 店 大阪商船 大 連 支 店 國際運輸株式會社國際運輸株式會社 胎基出朝

電話四七一一一 商會

阪 神航路事屬荷扱压(大浦

浸 日然心洗 地も傷まず 置 # 受店等にあります 電子の要店、百貨店、化粧品店、食料雑 最寄の要店、百貨店、化粧品店、食料雑 最寄の要店、百貨店、化粧品店、食料雑 のでは小太丸粉末石鹼と倒 のでは小太丸粉末石鹼と倒 のでは小太丸粉末石鹼と倒 御奥様方に御注意 雅出來る ず H す ば 大連市磐城町 100 木 大 丸 洋 行

船将御斷り

朝鮮郵船株式會社大連代理店 大連市山縣通電話 (三七三 日本或會量大陸出張

回朝鲜郵船

殿附行しりお

松浦汽船珠會社 於丸 七月 日兴 bi 即克 七月二日兴 bi 即克 七月二日兴 bi 長沙文 八月十八日 出建文 八月十八日

關東丸 七月廿二日

. ||日本

高の . Br 16 最新の味 さわやかなかほりな肌のような泡立ち

ひたすらに後子の冷たい體を拘ぎ に何んの心掛りも感ぜず……たよ 中央脚珠和大連支部⊪譜 ・中央脚珠和大連支部⊪譜 ・中央脚珠和大連支部⊪譜 ・中央脚珠和大連支部⊪譜 ・中央脚珠和大連支部⊪譜 ・中央脚珠和大連支部⊪譜 ・中央脚珠和大連支部⊪譜 ・中央脚珠和大連支部⊪譜 接斜宿泊落として開放する動は、墨生、青年間、 町木内嵌丸 會商グツラド田有

號五

すと千日の現在の叛!!的な感

彼女は、此の野家を悩みしげに かれな嫌き聴さへ関れてゐる。

歌門を取り壁んだ人職は突易に 本品はキリット唇の樹みしめた

ぬが、またしても其のカマ首をも

れ、二宮三宮低い絵でぶつぶつとれ、二宮三宮低い絵でぶつぶつと

が殺したのだ!

滿日聯珠誦信戰公司 鞍山赤城町 洋街

鉄嶺敷島町 安東県市場通 四 哈爾賓傳家甸 開原新市街 平 街

常口永世街 旅順敦賀町

尖端 殺ル 縦メ

社スタイル

ユニオンビー

言ひ得ぬよい気分

ボッ矢サイダー

金線サイダー

製造元 日本麥酒號